



TITLE:

資料編 「千一問」 試訳

AUTHOR(S):

CITATION:

資料編 「千一問」 試訳. CIAS discussion paper No.62: 「カラム」 の時代 VII --コラム 「千一問」 にみるマレー・ムスリムの宗教実践 2016, 62: 43-95

ISSUE DATE:

2016-03

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/228700>

RIGHT:

© Center for Integrated Area Studies (CIAS), Kyoto University

資料編「千一問」試訳

本編は、『カラム』の第1号から第25号までに掲載された「千一問」の質問(Q)とそれに対する回答(A)を日本語訳し、掲載順に配列したものである。質問冒頭のQ.xxx(yyy-zz)という表記(x, y, zは数字)は、xが通し番号(全体のなかで掲載された順番)、yは『カラム』の号数、zはその号のなかで掲載された順番を指す。資料の出典は、号ごとにまとめて付した。

- 訳文中の()は原文に現れる表現、[]は原文にはないが日本語訳において補った表現を指す。
- 回答において聖典コーランが引用されている部分は、訳文はマレー語からの直訳として、注にコーランの日本語訳(井筒俊彦訳『コーラン(上中下)』岩波文庫、1957)の該当部分を示した。
- マレー語、アラビア語などの原語をそのまま表記する場合、必要に応じて注釈を付した。注釈は、初出の箇所のみにし、2回目以降は省略したが、その場合下線を付して前の箇所に注釈を入れたことがわかるようにした(一つの質疑応答の中でのみ複数回出てくる語は除く)。複数の質問に登場する語とその注釈は以下の通り(五十音順、最後の数字は初出箇所の質問の通し番号)。

- アウラ[露出してはいけない身体の部分、28]
- アスナフ[施しを受ける権利のある集団、2]
- アミール[喜捨を徴収する役人、35]
- イバーダート[信仰行為、42]
- イマーム[イスラム教の宗教指導者、13]
- ウドゥー[礼拝のための浄め、143]
- エッジ[待婚期間、119]
- カウル[先人たちの見解・格言、77]
- カディ[イスラム法の裁判官、10]
- グスル[大汚を落とすための全身の浄め、全身沐浴、147]
- サイイド[預言者ムハンマドの子孫の尊称、152]
- サダカ[自発的な喜捨や慈善行為、2]
- ザカート・ハルタ[財産に応じた喜捨、2]
- ザカート・フィトラ[義務的な喜捨、6]
- ジェマ・アルダツワ・アルイスラミア[全マラヤ・ムスリム布教協会、2]
- ジャーヒリーヤ[イスラム以前の無明時代、157]
- ジュバ[袖や裾が長い衣装、32]
- スンナ[ムハンマドの慣例・習慣、147]
- ズィクル[神の名を唱えることで神を賛美すること、210]
- ズフルの礼拝[正午過ぎの礼拝、120]
- タラーク[夫が妻に行う離婚宣言、119]
- チナ・ブタ[盲目の華人、119]
- ハリラヤ[祝祭、断食明けの祝祭を指すことが多い、2]
- ビドア[逸脱、221]
- ファトワ[法学者が信徒の質問などに対して、イスラム法に基づいて判断を下す法学裁定、11]
- フィトラ[喜捨、6]
- ムハリル[合法な人、認められた人、119]
- ムフティ[ファトワと呼ばれるイスラム法の法学裁定を出すことができるイスラム法学者、10]

■『カラム』第1号 [Qalam 1950.7-8: 24]

※以下、『カラム』は省略し、号数のみ表記

Q.1 (001-01)

自動車のような車は各車輪の大きさが同じですが、なぜ四輪牛車の車輪は前方二輪が小さく、後方二輪が大きいのですか。

A.1

狭い場所では自動車だとバックしてから前進し、再びバックしてやっと方向転換できるが、四輪牛車はそのような場所でも方向転換できるようにわざと前方二輪が小さく、後方二輪が大きく作られている。インド

ネシアの中部ジャワ、とりわけジョグジャカルタとスラカルタ地方では、アンドン(Andung)と呼ばれる前輪が小さく、後輪が大きい四輪馬車がある。二輪馬車はデルマン(Delman)とアムコ(Amko)と名付けられている。

■第2号 [Qalam 1950.9: 31-33]

Q.2 (002-01)

この間シンガポールのセラングーン通りの「アルラビタ・アルアラビヤ」にて行われたハリラヤ[祝祭、断食明けの祝祭を指すことが多い]の集会にて、アルサイ

ド・イブラヒム・ビン・オマル・アルサゴフ氏が以下の意味の発言をされていました。「私の理解によれば、ハナフィー学派では、裕福なイスラム教徒はザカート・ハルタ[財産に応じた喜捨]を払う必要はない。なぜならば、彼らは既に所得税を課されており、所得税は社会福祉局に納められるからである。それは、その税による利益が貧しい人にも還元されることを意味する」。発言は概ねこのような主旨でした。そこでこの問題について、真のイスラムの教えに基づいたご説明を頂ければと思います。なぜならば、私が知る限り、八つのアスナフ[施しを受ける権利のある集団]はおろか、貧しいイスラム教徒の1%しか社会福祉局からの恩恵にあずかっていないからです。

A.2

この質問に答える前に、まずアルサイド・イブラヒム・ビン・オマル・アルサゴフについて紹介しなければならない。彼はジェマ・アルダッワ・アルイスラミア[the All-Malaya Muslim Missionary Society: 全マラヤ・ムスリム布教協会]の会長を結成時から昨年までの数年間務めており、政府のムスリム諮問委員会の議長にも就任している。彼は有名な資産家であり、またイスラムに関する高い知識を持つと見なされている。彼はハーフィズ[コーランを暗唱できる者]であり、子供のころメッカでも宗教教育を受けたという。

質問についてであるが、この問題は度々放置され、現在はその目的についてあまり注目されていないため、それがたびたびザカートの支払い義務、とりわけザカート・ハルタに関してその責任から逃げるための口実となってしまっている。

この質問者の述べていることが正しいとすれば、アルサイド・イブラヒムはおそらく以下のハナフィー学派の例をもとにしたのではないと思われる。「残忍な(イスラム教徒の)王が金持ちの人に対し、過剰で重い税を課するという残虐な行為を行ったとき、抑圧や虐待を受けた者は、その際払うはめになった財産をザカートの支払いとして見なすよう求めることができる」。

我々のこの推測が正しいとすれば、アルサイド・イブラヒムは責任を免れるためにシンガポール政府の徴収する所得税を残忍な方策と解釈したのだろうか。ここで言う残忍とは非イスラム政府においても一般的なのだろうか。この二つの質問に対しアルサイド・イブラヒム自身もちろん簡単に答えられるだろう。しかし我々の考えでは、彼の発言は的外れなものであ

る。なぜならば今日施行されている所得税法において、イスラム教徒はザカート・ハルタを支払い、そのザカート・ハルタの支払いを固定の経費、つまり必要経費として計算することが認められているからである。贈与ではなく、そこに所得税が課されるものでもないということだ。

自分がとても大事にしているものは、その心に逆らえず、人にあげたくないと思うのが人間ならば当然であり、それが命令の執行としてなされるのならなおさらである。しかし一部には、命じられたわけではなく、ただ自分の満足のために、サダカ[自発的な喜捨や慈善行為]とも、ましてザカートとも見なされないにも関わらず、食事のふるまいに多額の出費を惜しまない人たちもいる。

加えて、所得税は純利益、すなわち全ての資本金及び所有物を引いた額を元に徴収されるもので、一年分の十分な蓄えがあるかどうかという資産状況によって判断されるザカート・ハルタとは異なる。ザカートは、資産の純利益を計算されずに課される。従って、アルサイド・イブラヒムが語った考えを裏付ける理由がひとつもないことは明白である。宗教の事柄について高い知識を持つ人物として、公の会議の場で、とりわけ裕福なアラブ人達が参列する前で意見を述べたということは、まるでその集団にザカートの義務を軽視するよう奨励するかのようだ。ザカートの一部しか払っていない彼らに、所得税を払ったということを根拠に、今度は全く払わなくてもいいと促すかのごとくである。このことは、もし自分自身だけで行うのであれば話題にされることはなかっただろう。しかし公の会議の場で話をしたのであり、宗教の原則とザカートに関して望ましいとされる事実に反する問題を打ち出したと見なすことができる。

ザカートは支払う者にとっては義務であり、受け取る者も定められている。ザカートは、とりわけ極貧者を対象に、イスラム教徒の社会の向上を目的としている。使徒ムハンマドが神の啓示を受けた後、ヒジュラ暦2年にザカートの徴収が始まったが、当初は極貧者と貧者のみに分配されていた。しばらくはこのような形で行われていたが、コーランの「アル・タウバ(悔悛)」の章の第60節が記されたヒジュラ暦9年、知られているような8つの集団にザカートの分配先が決まった。しかし、その章が記された後も、完全に8つの集団に分けられたわけではなく、使徒ムハンマドはザカートの受け取りがより不可欠と見なされる集団に最優先

で分配した。ウラマーの大部分が、極貧者の状況が救済されるまでの間はザカート・ハルタを他の者よりもまず先に彼らにのみ与えるのがよいと強く求めるのはこうした理由による。

マレー半島のいくつかの州政府がザカートの徴収を施行しているが、極貧者にザカートを分配することに重きを置いた使徒ムハンマドの措置を重視するよう、我々は州政府の注意を喚起したい。それは、将来ザカートを彼らを援助するため支出するよう促すためである。このため、ザカートの支給は63歳までの彼らの負担を軽減することが望ましい。従って、彼らの一部に20か30セン与えるという現行の分配方法は、とくに八つのアスナフに含まれない孤児などの子供たちに全体として分配する場合、明らかに先ほどの規定に違反している。

一部の人間は、経済的困窮よりも教育の貧困の方がより深刻な状況だとして、ザカートは教育の整備などに使い、その後に資金の一部をモスクやその他の事に使うと決定した。しかしながら、前述のように使徒ムハンマドが生きていた時代には貧困者が一切忘れられることはなかったことを忘れてはならない。それぞれの貧困者が救済された時、それが社会の助けとなり、イスラム教徒の経済的な弱さも防ぐことが期待できる。過去と同じように貧困者を援助するのは、貧困という名から彼らを解放するということである。よって、現代の状況に合わせ、産業を興してイスラム教徒を解放し、その経済的な弱さに対処することは当然なのである。

実のところザカートの問題に関して言及すべきことは沢山ある。しかし、それに関わる時間がなくなってしまったので、近い将来この責任の問題に関して近々より深い議論をしたいと思う。ここでは、自ら規範となり、望ましいザカートの義務の遂行を奨励すべき資産家のイスラム教徒が、なぜ逆に当然の義務であるザカートからの「逃げ口実」を探し、そこに友人を誘い入れるかのような発言をしたのかという問題についてのみ扱った。

■第3号 [Qalam 1950.10: 32-34]

Q.3(003-01)

手を使って射精したら法的にはどうなりますか。

A.3

これはやましく卑しい行為である。この行為を男性が行った場合はジャラカまたはヤラッド・アミラ[男性の自慰]と呼ばれ、女性の場合アル・タフ[女性の自慰]と

言う。このような行為は、成人した若者や独身者によりしばしば行われる。衛生上の観点からすると、このような状況は性交渉の増加よりも危険である。なぜなら、この行為により四肢、脳、血管、関節を痛めてしまうからだ。行為に及んだ者はしばしば痙攣を起こし、また精神異常をきたす可能性がある。こうした危険性を鑑み、預言者ムハンマドがこの行為を禁止事項として定めたのは当然のことであった。

イマーム・シャーフィイーは、アッラーの以下のお告げに依りこれを禁止と定めた。「配偶者と彼らの奴隷に対して以外自分の陰部を守る者は幸福である。配偶者や奴隷との行為により咎められることはないが、誰であれそれ以外の方法を為す者は境界線を越えることになる(コーラン「信仰者」章の第5節～第8節)」¹⁾。

イマーム・シャーフィイーの考えによると、この節は配偶者や女性の奴隷以外との行為による射精の禁止を意味する。なぜならその行為はアッラーが定めた境界線を越えることになるからだ。アナス・ビン・マリクが伝える預言者ムハンマドのハディース[預言者の言行録]の中にこの行為に及んだ人間に対する警告では、上記の説明がさらに強調されている。預言者ムハンマドは以下のようにおっしゃった。「最後の審判の日、アッラーが見たくない者、悔やむことをせず、慈善を行う者たちと共に召集もされない7人の人間は、悔い改めた者以外地獄に落ちる。アッラーは悔い改める者には誰にでも許しを与える。彼らとはすなわち、自慰を行う者、男性同士で行為を行う者、いつも酒を飲む者、助けを叫ばれるほど自分の両親を殴りつける者、そして呪われるほど隣人を迫害する者、隣人の妻と姦通する者である」。

ここから明らかなように、手であろうと何であろうとそれを使って射精する行為は禁止されているだけでなく健康にも害を及ぼすものであり、この卑しい行為は将来病気をもたらし自分自身を危険にさらすことになる。

Q.4(003-02)

UMNOやその支部のような協会の組織において、委員会の中に反対派を組織するべきでしょうか。

A.4

各協会もしくは団体における委員会の中に反対派を

1) 「自分の性器はこれを抑え、己が妻や、右手の所有にかかるものを相手にするときだけに使う。この方は何も悪いことはない、ただむやみにそれ以上のことをしたがる(神の掟に)そむくことになる」(井筒俊彦訳『コーラン』(中)第23章「信仰者」第5節～第7節)。

組織することは必須ではないと考える。なぜなら、協会または団体の政策目的は同じであり、委員は協会または団体の政策や目的を共有した会員や成員から選ばれ、任命されるためである。

委員はその協会または団体の会員の一部、またはその一派だけを代表しているのではなく、協会やその会員全てを代表する。したがって、徒党を組む必要はなく、協会やその会員にとってよろしいと思われる如何なる事も提案・支持できるし、また非合理的でよろしくないと思った事に対して反対することができる。

Q.5 (003-03)

英国議会における「野党」はどのような状況か、ご意見を下さい。

A.5

英国議会の野党は、与党と異なる政策や政治目的を持つ人たちが構成されている。現在は労働党が政権を握っており、長老派(保守党)が野党となっている。すなわち、保守党の政策目的は与党である労働党とは異なるのだ。

Q.6 (003-04)

なぜハリラヤのお祈りの前に、フィトラ[喜捨]が義務づけられているのですか。

A.6

ハリラヤのお祈り前に義務付けられたフィトラの施しは、隠れた祝福と崇高な目的に満ちている。周知の通り、ザカート・フィトラ[義務的な喜捨]を受けとることができる人びとは、以下の8種類である。

1. 極貧者
2. 貧者
3. ザカートとフィトラの徴収に従事する者
4. イスラム教に改宗した者
5. 奴隷を解放するため
6. 債務を支払うため
7. アッラーの道のため
8. 旅人

上記の人たちは、援助を必要としている人で貧しい人たちでもある。彼らやその家族のための買い物や特に必要としているときにはなおさらのこと、彼らに援助や支援を届けることで共に祝い、共に崇高なハリラヤを迎えることができるからだ。

これにより、同じイスラムの全ての階層と社会集団が等しく愛を受け取れるのである。

Q.7 (003-05)

黒、白、黄色など、なぜ人間の肌の色は違うのですか。

A.7

人間の肌の色が互いに違うのは、空気と気候が異なる地域に住んでいるからだ。空気と気候の違いは肌の色に影響する。

Q.8 (003-06)

インドネシアの名前の由来は何ですか。

A.8

インドネシアとは、かつてオランダ領東インドと呼ばれたマレー諸島全域を指す名称として定められた。

Q.9 (003-07)

誰が初めにその名前を付けたのですか。

A.9

インドネシアという言葉はドイツ語に由来する。INDUSとNESOSという2つの語から成り立っていて、INDUSはインド洋へと流れるインドの川のこと、NESOSは島々を意味する。つまり、インドネシアという単語の起源は、インダス川の河口に広がった島々という意味である。

この名前が全インドネシア民族の統一にとって合理的かつ相応しいと考えられたため、インドネシアの指導者たちは、その名を引き続き受け入れ、インドネシア政府のもとに入った島々を指す公式な名称とした。

Q.10 (003-08)

シンガポールの主席カディ[イスラム法の裁判官。シンガポールでは婚姻登録官の下でムスリムの婚姻や離婚の登録を行うために任命される役職だった]は政府によって任命されるのでしょうか。それとも民衆によってですか。

A.10

主席カディは政府によって任命されるわけではなく、またこの国の公式な役職ではない。この役職について第57章のムスリム 条例では全く言及されていない。ここにはカディ以外の役職としてあるのはムフティ[ファトワと呼ばれるイスラム法の法学裁定を出すことができるイスラム法学者。シンガポールでは官職として任命規定が設けられていた]のみである。しかし、今日までムフティの役職は埋まっていない。また、任命について官報で公示されたことはない。

Q.11 (003-09)

この[主席カディ]の役職は政府の官報で公示されますか。

A.11

このため、我々の意見では、正式な公示がないため、法律または公式のファトワ[法学者が信徒の質問などに対して、イスラム法に基づいて判断を下す法学裁定]により定められる事案において、主席カディの名で下されたいかなる判決も使用することはできない。

Q.12 (003-10)

主席カディの称号はどこで授与されるのですか。

A.12

我々が知る限り、彼らの仲間内だけで集まりその内の一人を主席カディに任命する。公式なものではないので、回答できるのはここまでである。

■第4号 [Qalam 1950.11: 38-40]**Q.13 (004-01)**

サファール月[ヒジュラ暦2月]が近づきました。多くの人がサファールの日がくるのを待っています。この日には多くの男女が混じってサファールの沐浴やピクニックをします。このサファールの沐浴は法的にはどうなりますか。

A.13

サファールの沐浴は、サファール月の最終水曜日、都市でも海岸や浜辺における郊外のピクニックでも、よく行われている。この日彼らは厄よけを意味する言葉が書かれているお椀や水に浸した紙、あるいは葉っぱで水を飲む。一部の場所ではお祭りや余興が行われ、またこの日は家に閉じ籠っていた娘が外に出て、若者同士知り合いになる機会が与えられる。この件について、以下2つに分けて回答する。

1) このようなサファールの沐浴は使徒ムハンマドによって行われたことはなく、命令または許可されたこともない。彼の教友たちも行ったことがなく、高名な4人のイマーム[イスラム教の宗教指導者]のような、イスラム法学者であるウラマーたちも皆行ったことがない。この簡単な説明からも、サファールの沐浴は罪深い行為であることが分かる。この罪深くやましい行為は全く行うべきではない。この事柄については以前新聞に多く取り上げられ、議論がなされた。

2) マラッカやクランタン州のパンタイ・ブラヒのような場所では、とりわけ禁じられた背教行為が行われ、

明らかな罪惡がもたらされている。したがって、もしあなたがアッラーの法を畏れるならばこのような行動を避けなさい。

Q.14 (004-02)

慣習は宗教より大きな意味を持ちますか。

A.14

慣習は宗教より大きな意味を持たないが、良き慣習で宗教的要求に反しないものは歓迎される。過去の時代の社会には広くて大きな意味を持つ慣習が多くあり、メッカ巡礼のようにイスラム教の善行となったものもある。

Q.15 (004-03)

イスラムの相続権という観点からすると、アダット・ブルパティ[母系制の慣習]はイスラム教に反するものですか。

A.15

母系制の慣習の中には社会にとって良い事柄が多くあるが、相続権という観点や分野からするとイスラム法に反する。

Q.16 (004-04)

もし反するものであるとすれば、その慣習法を適用するウラマーたちはそれが違反だと知っているのですか。彼らは法的にはどうなりますか。

A.16

ウラマーたちであればもちろんこの事情について知っているだろうが、誤解してはいけないのは、母系制慣習に則り娘が遺産を受け継ぐという習慣は、ヌグリ・スンビラン州の州法になっているということだ。

Q.17 (004-05)

非イスラムの政府がイスラムに関する統治を行うことはできますか。

A.17

その施策がイスラムの法と規則に則っている限り、イスラムの国を治める非イスラムの政府が宗教に関する統治を行うことができる。

Q.18 (004-06)

イスラムでない国で婚姻締結の儀式をするイスラム教徒がいない場合、イスラム教徒が非イスラム教徒の女性と結婚するにはどのような方法がありますか。

A.18

そのイスラム教徒は、女性をイスラム教に改宗させ、その後にその国の慣習や規則に従って結婚すればよい。イスラム教徒でない人たちにも彼らの規則ややり方に則った結婚というものがある。

Q.19 (004-07)

「ニカ・ガントン (nikah gantung)」とは、どのようなものですか。

A.19

「ニカ・ガントン」とは、婚約後に両者の取り決めに従い、夫婦が一緒になる時期をある一定期間延期することを言う。1ヶ月、2ヶ月、3ヶ月、4ヶ月、一年もしくはそれ以上となることもある。

Q.20 (004-08)

「ニカ・ガントン」という呼称は誰がつけたのですか。

A.20

「ニカ・ガントン」という言葉を誰が使い始めたかは定かではないが、尊敬する我が預言者ムハンマドがアーイシャと結婚する時にこの取り決めが初めてなされたと言われている。その時アーイシャは7歳になったばかりで、その後数年経ってから一緒になった。

Q.21 (004-09)

既婚者で自分の家庭を持っていない男性にとって、どちらがいいと思いますか。1) 男性が義理の親と住む、2) 妻を夫の両親と住まわせる。

A.21

この事に関して、「胸をたたき願望を尋ねる」という諺がある。すなわち、自分の頭を使って自答せよという意味で、もし義理の親の家に住んでいて心地よく感じるならそこに住めばいいし、そうでないなら妻を自分の親の家に連れてくればいい。しかし、妻の気持ちも考えなければならない。義理の親と住む彼女の気持ちも尋ねる方がよい。最善の道は、あつち駄目こっちも駄目とお互い避け合うのではなく、両者の友情の絆をより強めることである。

Q.22 (004-10)

インド、エジプト、アラブのイスラム教徒は、結婚したら男性は(我々がよくするように)義理の親と住みますか。それとも妻を自分の両親の家に連れてきますか。

A.22

どこの人であろうとその状況は同じである。それぞれの状況に応じて、持てる人たちは家族の人数が増えることをきっと好むだろうし、持たざる人たちは断念せざるを得ない。

Q.23 (004-11)

イスラム教徒の間の「離婚」件数を減らすためのイスラム法に則った手段はありますか。

A.23

夫婦間の離婚を防ぐため、イスラム教は信者に様々な規則や導きを与えている。

イスラムは我々に対立を引き起こすような事柄に対し譲歩の姿勢を取ることを説いている。イスラムはいかなることやいかなる人に対しても良き態度を取ることを教えている。イスラムはいかなることやいかなる人に対しても公平であるよう命じている。イスラムは妻に対して善い行いをし、また彼女らを尊敬し、逆に妻は夫を尊敬し忠実であるよう説いている。もしこれら全ての教えに真面目に従えば、離婚件数は確実に減少するだろう。

■第5号 [Qalam 1950.12: 9-10]

Q.24 (005-01)

人との友情を長続きさせるにはどのような方法がありますか。

A.24

人との友情の絆を強めるにあたって一番いいアドバイスは、良き振る舞い、礼儀正しき、丁寧に話すことである。歩み寄り、譲歩し、思いやることである。

Q.25 (005-02)

同じ歳ではない人と友達になるのはいい事ですか。

A.25

自分より年長の人と友人になることは若者にとっていいことである。なぜなら年長者の良き人生経験からメリットが得られるからだ。一方、年長者も自分の良き人生経験が若者を良い方向へと導くことができるよう、若者と友人になるのはいい。その目的以上のメリットはない。

Q.26 (005-03)

アフマドはカマリアという華人の養子を育てました。充分な年齢に達したカマリアはアフマドの息子と結

婚しましたが、その際にワリ・ハキム〔花嫁の婚姻を締結する父、祖父などの男性の身内が花嫁側にいない時に、イスラム法で定められた法定代理人〕が婚姻を締結しました。これは法的にはどうなりますか。

A.26

コーランの「女」の章第23節によると、結婚することが禁じられている相手が13例挙げられている。すなわち、1. 父親の元妻(父親の未亡人)、2. 生みの母親、3. 自分の子供、4. 自分の兄妹、5. 母親の兄妹(母方のおじ・おば)、6. 父親の兄妹(父方のおじ・おば)、7. 兄弟の息子(姪)、8. 姉妹の娘(姪)、9. 授乳をしてくれた女性(乳母)、12. 自分の息子の妻(義理の娘)、13. まだ妻と関係を持っている場合に限り、妻の姉妹(義理の姉妹)。

このように、この養子の結婚は上記の禁止項目に含まれていないので、その結婚は許されていることはあなたも理解できるだろう。ワリ・ハキムについては、このような養子の場合にはよくあることだ。なぜなら、そうした女性は自身の結婚のための代理人をたてられるからである。

Q.27(005-04)

1. ラマダン〔断食〕月の日中に姦通をすると法的にはどうなりますか。 2. このような場合罰が科せられますか。

A.27

ここではこの質問に対して一つにまとめて回答する。姦通者は宗教上厳格に禁止された行為に及んでいる。これを為す者はアッラーにより悲しい報いを受ける。この姦通が断食月に為された場合、更なる重大な違反、すなわち姦通の禁止及び断食中の性交渉の禁止という二つの禁止を破ることになる。断食中に性交渉に及んだ者に与えられる罰は、三ヶ月間連続の断食である。このような罪深い行動を避けなさい。そして、禁止された行為を避けることでアッラーに対して敬虔でありなさい。

Q.28(005-05)

出産の際、女性が目の前で裸になった状態でドクン〔呪術医〕あるいは近親者でない男性の医師にお赤ちゃんを取り上げてもらうと法的にはどうなりますか。

A.28

回答する前に、ここではコーランの「光り」の章の中の一節について説明したい。この節の主旨は次の通りで

ある。すなわち、女性は近親者でない男性に視線を向けてはならない。そして、彼女たちは名誉を守り、また通常外から見える部分、つまり顔と手首までの両手を除いては自分の身体を見せてはならない。以上はコーランの解釈にあたる学者の解釈であるが、その節の内容は次の通りである。「イスラム教徒の女性に視線を下げるよう伝えなさい。また名誉を守り、外から明らかに見える部分を除いては身体を見られないようにしなさい」²⁾。

以上のことは、使徒ムハンマドの言行によって次のように強調されている。「女兒が十分な年齢に達したら、顔と手首までの両手以外見られてはならない。」これはアブー・ダウードによって伝えられた文言である。このハディースは脆弱かもしれないが、コーランのこの節の中でははっきりしなかった境界線について説明するため取り上げた。さらに、使徒は次のようにおっしゃった。「男性は男性のアウラ〔露出してはいけない身体の部分〕を見てはならない。女性は女性のアウラを見てはならない」。これはムスリムによって伝えられた真正なハディースである。以上の説明から次のように判断できる。

すなわち、女性のアウラは他の男性に見せてはならないだけでなく、女性同士でも見せ合ってはならないのである。同様に男性同士も禁止されている。このような禁止事項はやむを得ない場合を例外としている。なぜなら、アッラーは次のようなお告げをされているからだ。「やむを得ない如何なる者、故意に望むわけではなく、または境界を越えなければ彼らに罪はない」³⁾。

さて、上記の質問に関しては出産する女性の状況を考えることが重要であり、ドクンがきちんと取り扱うことが不可欠である。秩序正しさとは、次の通りである。1. 夫婦間にはアウラがないと言われているので、女性は自分の夫に面倒をみてもらうのがよい。2. 夫がドクンもしくは医師ではない場合、女性のドクンや女医を探すことができる。女性のドクンや女医は、必須でない限り女性のアウラを開いてはならない、3. もし女性のドクンや女医がいない場合、もしくは女性のドクンや女医がいても仕事ができ

2)「それから女の信仰者にも言っておやり、慎みぶかく目を下げて、陰部は大事に守っておき、外部に出ている部分はしかたがないが、そのほかの美しいところは人に見せぬよう」井筒俊彦訳『コーラン』(中)第24章「光り」第31節)。

3)「それとても、自分から食い気を起こしたり、わざと(神命に)そむこうとの心からではなくて、やむなく(食べた)場合には、別に罪にはなりはせぬ」(井筒俊彦訳『コーラン』(上)第2章「牝牛」第173節)。

ない場合は、男性のドクンや男性医師を呼ぶことができる。

どうしても必要な時のみを除いて、ドクンや医師は女性のアウラを開かないこと。このやり方は、注意を喚起し、男女共に全く同じ意味を持つはずのアウラを、男同士または女同士ならば互いに見せてもいいと思うことを防ぐ、最善の策なのだ。

■第6号 [Qalam 1951.1: 32-33]

Q.29 (006-01)

ゲリラ活動のニュース報道に関して、新聞やラジオ・マラヤの放送では、なぜ以前のように事件の起こった場所を明らかにせず、今は州の名前しか報道しなくなったのですか。

A.29

それらのニュースは、その問題を管轄する政府当局によって発表されている。彼らの処置には、人々利益にかかわる問題が含まれているはずである。政府は民衆の利益や福祉のためにならないような事は行わない。

Q.30 (006-02)

2、3ヶ月のニカ・ガントンの期間中、一緒になる前の二人が抱き合ったり愛し合ったりしてもいいのでしょうか。

A.30

もしニカ・ガントンの期間中に二人が抱き合ったり愛し合ったりしてもいいのなら、それはもはやニカ・ガントンと呼べる状態ではない。もしその様な事をしたのなら、直ぐに結婚してしまう方がよい。そうすれば、もはや誰も心配しなくて済む！

Q.31 (006-03)

口頭または書面をもって、現世と来世における兄弟関係を断つと法的にはどうなりますか。

A.31

兄弟関係(宗教上の兄弟関係もしくは血縁関係)を断つということ、すなわちムスリムという兄弟の間柄、もしくは親族関係を否認するということは、イスラムの教義上好ましくない。なぜなら、イスラムは我々皆が兄弟であり、アッラー(コーラン)との絆を遵守するよう求めており、各々がばらばらに別れることのないよう望んでいるからだ。したがって、口頭や文書によって兄弟関係を断つということは、イスラムの教えに反することになる。

Q.32 (006-04)

国土に砂漠が多く、暑い気候にもかかわらず、なぜアラブの人々はジュバ[袖や裾が長い衣装]や厚手の服を着ているのですか。

A.32

アラブの人々がジュバを着ているのは、それが彼らの衣装だからである。ジュバは強い日光による猛暑から身体を遮蔽または保護する役目がある。また、汗をかいたとき、服の内部が常に湿っていることによって身体を冷やす役目もある。さらに、アラブや他の砂漠地帯では決まって砂嵐が起こるが、その時吹き込んでくる砂から身体を守るためにも、ジュバやその知恵が多く利用されている。

Q.33 (006-05)

雨季や大雨の日は沢山のカエルが喜んで跳ね回っていますが、乾季になったらカエルはどこへ行くのでしょうか。

A.33

カエルはとても雨や水を好む。乾季になると、カエルは水のある場所を求めて行き、そこに住みつく。

Q.34 (006-06)

ある女性が男性との姦通によって妊娠が確認され、恥を隠すためその後に彼らが結婚した場合、その結婚は合法ですか。

A.34

その結婚は合法である。

Q.35 (006-07)

フィトラをアミール[喜捨を徴収する役人]が集めるのと、受け取る人に自分自身で渡すのでは、どちらがよいですか。

A.35

集められるフィトラをイスラム法が求めるやり方に従って運営するならば、アミールによって収集される方がよりよい。

Q.36 (006-08)

タッリーク(taklik: 婚姻の際に交わされた離婚条件などの契約)は、法的にはどうなりますか。

A.36

れたことはない。また彼の教友や昔のウラマーたちによっても行われていない。それは後世になってから現

れた方法である。

Q.37 (006-09)

ザカートを政府に支払うのと、極貧者に施すのでは、どちらがより有益ですか。

A.37

ザカートは、受け取る権利のある8種の人々に与えられるのが望ましい。この種類については既刊の『カラム』の中で言及した。

Q.38 (006-10)

カーバ神殿はいつ建造されたのですか。

A.38

カーバ神殿は神がこの世を創られる以前から存在していたとも、この世と同時に創られたとも言われている。コーランの中では、カーバ神殿は当初人間が住む家として建てられと記されている。

Q.39 (006-11)

他人に尊敬されるにはどうしたらよいですか。

A.39

他人を尊敬しなさい。そうすれば自分も人から尊敬される。人に対して礼儀正しくあれば、人も自分に対して礼儀正しくなる。

Q.40 (006-12)

女性が高度な知識を学ぶ意義は何ですか。

A.40

知識の探究は男性だけに限られたものではない。知識の探究は男女共に義務付けられている。女性が高度な知識を学ぶことが義務付けられているのは、礼節を重んじる母親となり、その子供がまた礼儀正しくなるよう教育するためである。

■第7号 [Qalam 1951.2: 39-42]

Q.41 (007-01)

イスラム教徒がネクタイを着用することは宗教の観点からすると正しいですか。

A.41

イスラム教は平和で幸福な宗教であり、革新的で崇高な宗教である。イスラム教は、信徒の肉体と精神を、善良さ、モラルの高さ、さらに志と感情の清らかさへと形作る宗教である。心身に纏うものが、モラルの高さや清らかな志と感情をもたらし、あるいはそれを

損なわないものであれば禁じられていない。

Q.42 (007-02)

イスラム教徒はモスクに入るのに事前に許可を取る必要がありますか。

A.42

モスクはイバーダート[信仰行為]のための施設であり、イバーダートのためにモスクに入る者は皆許可を取る必要はない。

Q.43 (007-03)

霊魂とはどのような意味で、生きている間と死んだ後はどこに存在しているのですか。

A.43

霊魂とは命であり、体内にあるが、人が生きている間、どこに存在するのかは特定できない。ある時、使徒ムハンマド(彼に神の祝福と平安あれ)は霊魂について尋ねられ、それに対し次のようなアッラーの啓示が降りた。「(ムハンマドよ)言ってやりなさい。霊魂は主によって与えられたもので、おまえたちが授けられた知識はわずかなものにすぎない」⁴⁾。人の死後、霊魂はバルザク、すなわち死者の霊魂が集まる場所に集まる。

Q.44 (007-04)

洗濯業者はどのように各人の服を見分けているのですか。

A.44

洗濯業者は人が持ち込んだ洗濯物に特別な印やマークを付けている。

Q.45 (007-05)

スラニ(Serani)とは誰のことで、どこの国の人ですか。

A.45

スラニという語はアラビア語のナスラニ(Nasrani)から由来していて、キリスト教徒のことを指す。しかし、現在のマレー人の用法に従えば、ユーラシアン、すなわち父親がヨーロッパ人で母親がアジア人、もしくは母親がヨーロッパ人で父親がアジア人であり、キリスト教を信仰する人々を意味する。

Q.46 (007-06)

なぜ月は、月暦の2、3、4日に三日月の形になり、14、

4)「こう言ってやるがよい、「霊は主の御言から(生ずる)もの。お前たちが元来授かっておる知識はまことに些少なものと」(井筒俊彦訳『コーラン』(中)第17章「夜の旅」85節)。

15、16日は満月になるのですか。

A.46

月は地球、太陽、星などと同じ世界にあり、太陽は強い光を放つが、月は放たない。月は鏡のような状態にある。太陽から光を受け、地球に反射している。周知の通り、地球は動き、太陽の周りを回っており、それゆえ地球には昼と夜、季節が巡るのである。月も動いており、太陽もまた動いていると言う人もいる。

太陽の周囲をまわっている過程で月の光は遮られる。なぜならば、まわる過程で太陽と月のまさに真中を通過するからである。月の闇の部分の影である。

Q.47 (007-07)

潮が引くと海水はどこへ移動するのですか。

A.47

潮が引くと海水は別の場所、すなわち潮が満ちる場所へ移動する。このように行ったり来たりの状態となる。

Q.48 (007-08)

女性はいつ結婚するのが最も良いですか。

A.48

イスラム法では、女性は成人した時、すなわち十分な年齢に達した時、結婚してもいいとされている。女性が月経を迎えた時、それが成人した証である。私の意見としては、女性が妻としての義務を十分理解するようになってから結婚するのが、一番望ましい。

Q.49 (007-09)

ジェマ・アルダッワ・アルイスラミアの政策と目的を教えてください。

A.49

ジェマ・アルダッワ・アルイスラミアとは、イスラム布教協会という意味である。知る限り、その政策と目的は、イスラムの布教やイスラム教の事情の理解、イスラム教徒の利益のために尽力することであり、その目的は非常に崇高なものである。この組織は約20年前にサヒーブ・アルファディラ・マウラナ・アブドゥル・アリム・アズシディキによって設立され、自らの建物を有する当地で一番大きなイスラム協会と言える。その大きな目的は人々の注目的になっているが、その政策を実現するための事業が成功するかどうかは、協会自体の努力にかかっている。

Q.50 (007-10)

子供をととても欲しがっている女性が夫の同意を得た上で、夫でない男性の精子をその女性の子宮内に注入し、その結果子供が出来た場合、法的にはどうなりますか。

A.50

まず、本質的に精子一方だけでは子供はできない。夫婦の卵子と精子の両者が交わる必要がある。ゆえに、男性の精子を女性の子宮内に注入しただけで女性の卵子が排出されなければならぬにも生まれない。

Q.51 (007-11)

そのようなやり方[Q.50参照]で生まれた子供は法的にはどうなりますか。

A.51

それは法的には姦通行為であり、そのような方法で子供が生まれたと知れば、その子供も姦通児である。

Q.52 (007-12)

国連の会議に参加する各国の代表は何人いますか。

A.52

国連に加盟する国にはそれぞれ一票の権利が与えられているため、各国の代表は一人となる。しかし、各代表には顧問と通訳の一行が随行している。

Q.53 (007-13)

その会議において使用される言語は何ですか。

A.53

一般に使用される言語は英語であるが、各国の代表は自身の言語で話し、自分たちの通訳官がそれを翻訳する。

Q.54 (007-14)

60カ国が国連に参加しています。各加盟国は、国連軍の一員として朝鮮戦争の戦地へ兵を派遣していますか。

A.54

加盟国のなかには国連軍として朝鮮に派兵しない国やまだしていない国もある。既に兵を派遣している国はアメリカ、イギリス、オーストラリア、ニュージーランド及びトルコである。ソ連とその友好国は派兵に反対している。

Q.55 (007-15)

毒を飲んで死亡したイスラム教徒は法的にはどうなりますか。

A.55

毒を飲んで死亡したイスラム教徒は、法的には来世では殉教として扱われる。すなわち、殉教者と同じようにあの世で報われることになる。現世においては通常の死者として扱われる。すなわち、遺体のお清めをし、布で包み、祈りを捧げる。

Q.56 (007-16)

毒を与えた者は法的にはどうなりますか。

A.56

毒を与えた者には殺人罪が適用される。

Q.57 (007-17)

夫婦が冗談を言い合っているとき、ふざけた夫が気まぐれに妻の胸部を触りました。これは法的にはどうなりますか。

A.57

法的には何でもない。

Q.58 (007-18)

ある男性が美しい女性を見かけ、帰宅してからもまだその女性の姿が頭に浮かんできました。彼は妻との性交渉を持ちましたが、そのとき先ほどの美人女性との性交を妄想しながら事に及んでいました。これは法的にはどうなりますか。

A.58

それはイスラム法によって禁止されている。なぜなら、そのような行為は性交渉のマナーに触れるか、破ることになるからだ。

Q.59 (007-19)

女性が生理中のため礼拝の義務が果たせなくても、後から行うようにとは命じられていませんが、断食の義務は後から行うよう命じられています。その理由と正当性は何ですか。

A.59

お祈りは頻繁に行うもの、つまり一日5回行うイバードートであり、断食は年に一回行うイバードートである。女性が生理中に断食を免れたとしても、まだ先一年あるわけだから、後から行うよう命じられているのである。

Q.60 (007-20)

イスラム教の四法学派はどのようにして発祥したの

ですか。

A.60

四法学派とは、シャーフイー派、ハナフィー派、マールク派、ハンバル派のことである。

四法学派ともその起源は一つ、すなわちコーランと預言者のハディースである。その起源は、4人のムジュタヒド[イジュティハードの資格のある法学者]がそれぞれのイジュティハード[コーランなどに明文化されていない問題に関して、法の範囲内で独自に法規範を発見する「努力」]と解釈に従って預言者の教友たちの伝承を選択したことにあるが、彼らはお互いのイジュティハードと解釈を否定しているわけではない。四法学派はヒジュラ暦2世紀に端を発し、最初の学派はハナフィー派であった。その半世紀後、シャーフイー派、マールク派、ハンバル派が現れ、こうしてスンナ派の四法学派が誕生した。

Q.61 (007-21)

ニカ・バティン[nikah batin:「隠れた結婚」]。通常は、婚姻を締結する女性側の後見人と証人の立ち合いが必要だが、その法に従わず新郎・新婦の二人だけで隠れて行うこと]とはどのようなものですか。

A.61

ニカ・バティンはイスラム法には存在しない。諸条件や諸原則に則っていない結婚は違法である。結婚の諸条件や諸原則とは、明らかな事項であり、隠れたものは存在しない。

Q.62 (007-22)

ムハンマド以外の預言者たちは、神の預言者アダム、神の預言者モーセ、神の預言者イエスなどのように「神の預言者」と呼ばれているのに、なぜ預言者ムハンマドは「神の預言者ムハンマド」と呼ばれないのですか。

A.62

預言者たちは皆等しく同じであるが、その地位はそれぞれ異なる。他の預言者たちは皆遠い昔の人たちであるため神の預言者とよばれるが、預言者ムハンマドは新しい預言者であり、彼によって我々が崇拝する宗教がもたらされた。ゆえに、我々が崇拝する名称として彼の事を単に預言者ムハンマドと呼ぶのである。

Q.63 (007-23)

至高の神アッラーは、イスラム教徒が礼拝、断食、喜捨

などを行う際には「アッラー」と唱えることを命じていませんが、メッカ巡礼に先立っては「アッラーの御ため」(「この聖殿への巡礼は、そこに旅する能力のあるかぎり、人々にとって義務である」)と唱えるよう命じています。その理由と正当性はなんですか。

A.63

メッカ巡礼は、条件、すなわちいくつかの決まり事にもとづく人の能力と義務に則って行うよう命じられている。

■第8号 [Qalam 1951.3: 15-18]

Q.64 (008-01)

宗教書から学んだ善行やイバーダートを、著者や指導者からの許可を得ずに実践することは合法、もしくは認められていますか。

A.64

商務に関する書物であれば合法である。

Q.65 (008-02)

礼拝の推奨行為を行わずに礼拝の義務を行うことは合法、もしくは認められていますか。

A.65

合法である。

Q.66 (008-03)

シンガポールの墓所はなぜビダダリと呼ばれているのですか。

A.66

聞いたところでは、ビダダリという地域は昔、ジョホール州のスルタン故アブ・バカールの王宮があった場所だった。王妃スランゴンもそこに住われていた。スランゴン王妃の物語によると、当時彼女は絶世の美女であった。そこで地元の人々が彼女のことを「ビダダリ(天女)」と称するようになり、それが由来で今日にいたるまでその地域のことをビダダリと呼んでいる。

Q.67 (008-04)

ネクタイ、帽子や膝の見えるズボンを着用した場合、法的にはどうなりますか。

A.67

ネクタイ、帽子やズボンを着用することは違法ではない。しかし、膝の見えるズボンを履くことは、アウラを見せることになるため間違っている。膝から臍までが男性のアウラである。

Q.68 (008-05)

「人の真似(tashabbaha)をする人はそれらの一部となる」という言葉はハディース[預言者の言行録]ですか。“tashabbaha”とはどういう意味ですか。

A.68

「人の真似をする人はそれらの一部となる」という言葉や、それと類似の句は預言者ムハンマドのハディースである。“tashabbaha”とは模倣を意味し、ここでは衣服ではなく、イバーダートの実践上のことを意味している。しかし、現在一部のウラマーは、模倣という言葉やイバーダートのうえだけでなく、一般的な観念と理解している。その理解によれば、例えば西洋の衣服を着ると今までとは違った感覚を抱き、一方イスラム教徒の普段の衣装を着れば自身にその感覚をもたらす。詳細に調べると、このようにして模倣という観念が生じるのである。以上のことは世俗に関することであるが、イバーダートにおいても一般的に言えるだろう。

Q.69 (008-06)

キリスト教徒の男性がイスラム教徒の女性を妻とし、各人自分たちの宗教を信仰していました。もし子供ができた場合、その子はどちらの信徒として見なされるのでしょうか。

A.69

アッラーは次のような啓示をなされた。「啓典を授けられた人たち(ユダヤ教徒とキリスト教徒)の食べ物は汝らにも許されており、汝らの食べ物も彼らに許されている。アッラーを信仰する貞節な女も、汝らより以前に啓典を授けられた人々の中の貞節な女も(汝らの妻として許されている)」⁵⁾。上記の啓示に従うと、ユダヤ教徒やキリスト教徒の女性がイスラム教に改宗しなくても、イスラム教徒の男性は実際その女性と結婚していいことになる。預言者の教友の一人、フザイファ・ビン・アルヤマーンはユダヤ教徒の女性と結婚した。その結婚は使徒も誰も禁じなかったが、現代人の考え方によれば、現代の啓典の民の信徒たちはかつてのような宗教心を持っておらず、彼らの信心がすでに変わってしまったのだから、そのような結婚は合

5)「また聖典を戴いた人たち(ユダヤ教徒とキリスト教徒)の食物は汝らにも許されており、汝らの食物も彼らに許されている。また(嫁取りについても同様で)、回教信者の操正しい女も、汝らが(『コーラン』の啓示を受ける)以前に聖典を戴いた人たち(ユダヤ人とキリスト教徒)の中の操正しい女も(全く同資格で汝らの妻にしてよろしい)」(井筒俊彦訳「コーラン」(上)第5章「食卓」第7(5)節)。

法とは見なされない。イスラム教徒の女性が異教徒の男性と結婚することに関しては、コーランの中にそれを許可する文言はなく、ハディースにおいても言及されておらず、預言者ムハンマドの教友たちも経験したことがない。したがって、その状態で生まれた子は、イスラム法に照らして違法な子であるのは明らかだ。

Q.70 (008-07)

姦通によって生まれた子供が大きくなり、敬虔な信徒となりました。その敬虔な行いによりその人は来世での成功が得られますか。

A.70

「人は他人の罪を背負うことはない」。姦通を犯しているのは両親であり、その姦通によってその子供は生まれた。姦通の罪はそれを犯した者自身が背負うものであり、自分が背負うものではない。子供はそのことで罰せられることはない。何を徳るかは自分自身の努力次第である。邪悪であれば邪悪な報いを受けるし、善い行いをすれば善き報いを受ける。なぜなら、アッラーは次のような啓示をされているからだ。「神は男女の善き行いを本当に無視されたりしない」⁶⁾。

Q.71 (008-08)

礼拝中に別のことに気を取られず、集中して行うにはどうしたらいいですか。

A.71

気が散り、注意力が散漫になることは、ムスリムにとってひとつの試練である。我々が崇拝する預言者ムハンマドは例外で、彼はそのような散漫さに陥ることはなかった。ハディースの中で次のようにおっしゃっている。「あたかも目の前に見えるかのように神を崇めなさい。たとえ汝が神を見なくても、神は必ず汝を見るであろう。」

神を目の前にしているかのような状態であれば、気持ちがあちこち散ることはなく、一心に神と向き合うだろう。ひとつの事を為す時も同様に無我夢中で打ち込むだろう。神を畏れるがゆえに、我々は行動に専念できる。

このような散漫さを超越した精神世界は、預言者や使徒たちだけが達する場所である。

6)「汝らの中の働き者(信仰にもとづいて善を為す者の意)がなしとげたことをわしは決して無にしたりはしない。男も女も分けへだてはしない」(井筒俊彦訳『コーラン』(上)第3章「イムラーン一家」第193(195)節)。

Q.72 (008-09)

男性は自分より年上の女性と結婚してもいいでしょうか。

A.72

自分より年上または年下の女性を妻にするかどうかは、各人の気持ち次第である。しかし、妻となる人物として一番理想的な女性とは、心は信仰心で溢れ、体は尊い礼儀正しさに溢れた態度、すなわち称賛すべき態度と、すばらしい礼節を持ち合わせた女性である。

Q.73 (008-10)

夫が妻の母乳を飲んだり、目薬に使用したりした場合、法的にはどうなりますか。

A.73

それは違反ではない。ただし、母乳は、2歳になるまでの乳幼児に一日少なくとも5回、満腹になるよう摂取させるためのものである。

Q.74 (008-11)

義理の母親を妻にするのは合法ですか。別の言い方をすると、義理の親と結婚することはできますか。

A.74

絶対にしてはならない。それは永久に禁止されている。

Q.75 (008-12)

イスラム教徒がタウケ[華人の店主]の経営する質屋で給与をもらって働いた場合、法的にはどうなりますか。

A.75

生計を立てるためにそれは許されている。

Q.76 (008-13)

快楽を得るため、または欲望を高めるために、男性が男性に、または女性が女性にキスすることは罪ですか。

A.76

もしそのキスが性欲を伴ったものであれば違法行為である。アラブの人々の通常の習慣として、彼らは生活の中で男性同士または女性同士の友人に会った時、愛情表現としてそれぞれの頬にキスをすることがあるが、これは上記の違法事項には含まれない。

Q.77 (008-14)

ある女性の夫が死に、別の男性と結婚しました。女性が死んだら、来世で彼女はどちらの夫に付き従うのですか。

A.77

その女性は、死んだ時に一緒だった夫に付き従うことになる。最初の夫は、アッラーによって彼女とそっくりな女性があてがわれる。これは、最終的なカウル[先人たちの見解・格言]による。

Q.78 (008-15)

妻や夫がいまま死んだ人はどのような状況になりますか。来世は誰が伴侶になるのですか。

A.78

来世での伴侶は、現世で行われた慈善の功績によって決まる。

Q.79 (008-16)

薬などを使って故意にお腹の子供をおろすした場合、法的にはどうなりますか。

A.79

大きな罪である。通常子宮内に魂が宿るとされる妊娠5ヶ月目以降に墮胎したのなら、それは命ある者を殺すことと同じ禁止行為である。

Q.80 (008-17)

イスラム教の四法学派はどこで発祥したのですか。

A.80

法学派は既に預言者ムハンマドの教友たちの時代から存在していた。預言者のハディースのある部分について一部の教友たちには知られていても、他の教友たちには知られていなかったことがあったからである。これが法学派、すなわち見解や解釈の相違を生んだ。

スンナ派が承認し、実践する四法学派はここから起こった。この者たちは法学意見を書き記すことはしなかった。しかし、彼らの考えはムジュタヒドの法学者らによって体系化され、四法学派(シャーフイー派、ハナフィー派、マーリク派、ハンバル派)が起こった。そしてイスラム法学者が認めるスンナ派の法学派となったのである。タウヒード論[神の唯一性を論理的に証明し、一神教の概念を説明する神学理論の中心部分]についての法学派は二派のみで、アブ・ハサン・アシャリー派とアブ・マンスール・マトゥリディー派である。

もしより詳しく知りたいならば、イスラム法の歴史に関する本を調べてみるといい。

Q.81 (008-18)

ラジオ・マラヤのオスマンさんはなぜ私の質問に答えて

てくれないのですか。彼は地位をみて、つまり有名人の質問に対してしか回答しないのですか。

A.81

私はオスマンさんに会いに行き、この質問について回答を求めた。彼はただ微笑み、なぜ子供たちの質問に答えないのかという抗議の手紙が自分の元に沢山届いていると語った。彼のもとに寄せられた手紙を彼は見せてくれた。手紙は全て整理され、100通ずつ一つに束ねて縛ってあった。また、それらは全て届いた日付が記されていた。現在回答している質問は6ヶ月前に届いたものと彼は語った。届いた質問の中には、以前回答したことのあるものや、混乱しすぎてラジオ放送上ふさわしくないものもあると言う。毎日少なくとも20通、1週間で120通の手紙が彼に届く。その内回答できるのは14通から16通である。残りの104通は回答を先延ばしにしている状態となっており、毎週ごとにその数は増えている。回答が遅れているのはこのような理由による。身分や社会的地位を見て回答をしているわけではない。スランゴール州のスルタンの王子トゥンク・アズマンの質問に対しても最近になってやっと回答したが、その手紙がオスマンさんに届いたのは去る1950年5月である。オスマンさんのこのような経験は、同じくこの「1001問」においても共通している。私に寄せられる手紙の数は日に日に増えているが、多くの質問者が自分への回答を見る機会を与えられるようにしているため、このコラムの枠が足りなくなっている。次号からは各質問者につきひとつの質問にのみ答えることにする。

■第9号 [Qalam 1951.4: 27-29]**Q.82 (009-01)**

一部のマレー映画に出てくる火を崇める行為は法的にはどうなりますか。

Q.83 (009-02)

一部の「マレー」映画の中で偶像を崇拝する行為が演じられていますが、法的にはどうなりますか。

Q.84 (009-03)

「マレー」映画の中で役者が演じている偶像崇拝などの行為は法的にはどうなりますか。背教行為と見なされますか。

A.82-84

この問題に関するコーランやハディースの句についてきちんと答える前に、アッラーに対する信仰の条件について上記3人の質問者に説明をしたい。その条件

とは三つ、心の内なる信仰を認め、言葉を唱え、そして勤めを行うことである。この三つを果たさなければ、アッラーに対するイーマーンは完璧ではない。ここで明らかなのは、役者たちは意図的に偶像や火への崇拝を演じたわけではないとしても、彼らの言動は信心深い人たちからみれば多神崇拝であるということだ。なぜなら、アッラーは明らかに御自分以外を崇拝することを禁じておられるからだ。

預言者らや使徒ムハンマドが現れる以前、アードの民とサムードの民、そしてイスラム以前の民は単なる媒介として偶像もしくは火を崇拝していた。しかし、これはアッラーが禁止されている事項に該当する多神教を信仰する行為であり、次の通り明記されている。「アッラーは御自分以外の神を崇拝してはならないと義務付けている」。アッラー以外の神への崇拝を禁止するような句は他にも沢山ある。

アッラーを他の偶像と一緒にするような行為は、たとえ意図せずしたことであっても、イスラムの視点から言えば大罪である。アッラーと並べて他の神を同等に崇めるとする罪は、それを捨て去らない(悔い改めない)限り、アッラーはお赦しにならない。このことは、コーランの「女」の章第49節の中ではっきりと述べられている。「アッラーはご自身が他の偶像と併置されることを赦したまわらない。これ以外のことであれば、御心にかなう者を赦したもう。アッラーに仲間を認める者は誰でも、大罪を犯したことになる」⁷⁾。

以上の説明から分かるように、上記の映画における行為は多神崇拝にあたり、そのような行為は避けなければならない。多神崇拝はイバーダート上大きな違反であり、そうした人びとはハディースの中で預言者ムハンマドが述べておられるような(イバーダートにおいて)他の集団の一員になると見なされる。

そのハディースの節とは次の通りである。「人の真似をする人はそれらの一部となる」。

Q.85 (009-04)

私は英語学校に通いたいと思っているのですが、例えば、預言者イエスの母マリアなどの黄金像を毎朝拝まなければ先生に受け入れてもらえません。もし心の中では信仰せず、表向きに拝むとしたら法的にはどうな

7)「アッラーは、御自身が他の(偶像と)一緒にならべられたら絶対にお赦しにはならない。だがそれより手前のことなら気のお向きになった者には赦して下さりましょう。アッラーに仲間を認めるような者はまことに恐るべき罪を犯したことになるぞ」(井筒俊彦訳『コーラン』(上)第4章「女」第51(48)節)。

りますか。もしイスラム法に違反するならば、背教行為を犯さずに英語を学べるような方法がありますか。

A.85

アッラー以外を崇拝することに関しては先ほど[A82-84参照]回答した。別の場所で英語を学ぶ工夫をするようあなたに助言したい。なぜなら、イスラム法により知識を求めるのは人の義務となっているが、そのような多神崇拝的行為は宗教の原則を損なうからだ。多神崇拝するような事態から自分を救うためにも、英語を学ぶ別の場所を探すがいい。このような多神崇拝を避けるようにしよう！

Q.86 (009-05)

亡くなった人の礼拝や断食のフィドヤは、法的にはどうなりますか。

A.86

シャーフイー派の法によれば、死亡した者のための断食のフィドヤも認められている。その条件は、その者が生前衰弱していたためフィドヤを払うことができない、または後から日を改めて断食を行うことができない場合である。意図的に断食を怠った者に関しては、遺言を残したとしても認められていない。死者の礼拝のフィドヤに関しては全く言及がない。

通常、フィドヤとは年老いて断食する力がない者、子供に授乳中あるいは妊娠中の者、病気の者、または過去に断食を行うことで重篤な病気になってしまった者などが、条件に従って貧しい人に一日の食事を与えることである。

一方で、死者のフィドヤに対して異議を唱えるカウルがある。それによると、死んでしまったらフィドヤをすることはできない。なぜなら、人が死んだ時、それまでの行為は中断されるからだ。例外は、サダカ、彼らのために祈る品行方正な子供、役に立つ知識、すなわち彼ら自身の努力による賜物である。また、「人は自分が努力したこと以外、何も得ることはない」⁸⁾というコーランの章句もこの見解を補強している。

Q.87 (009-06)

血縁者と結婚した場合、後に出来た子供は愚かになると言われることについてどう思われますか。

A.87

それは憶測に過ぎず、事実ではない。愚かか利口かは

8)「人間はそれぞれ自分の努めた分だけが点になる」(井筒俊彦訳『コーラン』(下)第53章「星」第39(38)節)。

子供の性格次第である。

Q.88 (009-07)

トゥアंक(マウラナ)の称号を持つ人や盲目の人にザカートを施すことは合法ですか。

A.88

サラワクの方では、トゥアंकという言葉は預言者ムハンマドの血を引く人々、すなわちサイドの称号で知られている血統の人々に対して使われる。正当なザカートの受け取り手とは、1)極貧者、2)貧者、3)ザカートの徴収に従事する者、4)イスラム教に改宗した者、5)奴隷の解放、6)債務者、7)アッラーの道への奉仕、8)旅費の尽きた旅人である。これはウラマーの解釈に従った分類である。ザカートを8つの分類に含まれる人びとにそれぞれ均等に分け与えるべきだと考える人もいれば、8つの集団の内1つに与えればよいと考えるウラマーもいる。また、ザカートは必要を満たすために使われるべきというウラマーもいる。この意見によれば、必要不可欠な人々がまず最優先的にザカートが施されることになる。

昔、預言者ムハンマドの家族はザカートをもらっていなかった。なぜならば、彼らはバイトゥルマル[慈善基金]から分け前を貰っていたからである。しかし、現在はバイトゥルマルが存在しないため、上記のザカートを必要とせざるを得ない8つの集団に含まれる人たちは、それを受け取ってもよいとなっている。考慮すべきは、預言者ムハンマドとその教友らは極貧者と貧者の権利を優先したことである。このため、もし自身が上記の集団に含まれていないなら、それを拒否することが望ましい。また、盲目であったとしても、財産を持っているならばザカートを受け取ることができない。

Q.89 (009-08)

土地を肥沃にするために、あるいは稲が鼠に食われたり、病気になったりしないよう霊にお供えするために水牛の頭を埋めた場合、法的にはどうなりますか。

A.89

その水牛が崇拝行為として、あるいはお供えとして屠殺されたことは明らかである。アッラーのために行ったことではない以上、それは禁止にあたる。アッラー以外のために動物を屠殺することは禁止であり、アッラー以外のものを崇拝するのは多神崇拝にあたる。

Q.90 (009-09)

もし水が無い広い砂漠にいたとして、喉の渇きに耐えるための薬をもっていたとします。ある夜、居眠りをしながら性交する夢を見て夢精しました。このような時、水で清める決まりとなっていますが、水がない場合はどうしたらいいですか。

A.90

イスラム教は全ての場所や時間に適応した宗教である。洗浄は水でのみするものではなく、水のない場所ではタヤンムム[礼拝のために水の代わりに土で浄化すること]が可能である。タヤンムムの条件についてはイスラム法学書を勉強してたしかめるといい。

Q.91 (009-10)

あるイスラム教徒が、5回の礼拝は自分にとって義務ではないと信じていると言っていました。この人は死後、罰せられますか。

A.91

礼拝が義務であることに疑いの余地はない。これは、コーランの中にアッラーの啓示として記されており、重要なイスラムの勤行となっている。アッラーの聖典を信じない、あるいはコーランの中に記されたアッラーが定められた法を疑うのならば、その人は背教者と見なされる。

Q.92 (009-11)

四法学派の内一つの学派の判断にタクリドする[信徒がウラマーの見解に従う]ことを義務付けたのは誰ですか。アッラーですか、使徒ムハンマドですか、もしくはイマームら自身ですか。

A.92

タクリドとは元来「模倣」を意味し、宗教指導者が使っている意味としては、コーランやハディースの意味を理解しないまま、宗教に関してある人物の言葉や行動に従うことを言う。

我々が知る限り、タクリドはアッラーや預言者ムハンマドによって義務付けられておらず、教友らの時代にも行われたことがない。四法学派のイマームたち、とりわけイマーム・ハンバルは次のように述べている。「私やマーリク、シャーフィイーの判断に従ってはならない。そうではなく、彼らの引用源である宗教から引用しなさい。」引用源とはコーランやハディースのことである。

この件に関して二者の対立が起こった。タクリド

を(義務ではないが)許可している側は、イマームたちは膨大な量の調査を行い、幅広い知識をもつと見なされているのだから、彼らに従ってもよいと考えている。タクリードを禁止する人々は、この意見に反対している。すなわち、タクリードは、実際には(彼らが提示している)コーランやハディースにより禁じられているだけでなく、イマーム・シャーフィイーが「私の意見がコーランやハディースに反していると思ったなら、それを捨てよ」と述べたように、イマームら自身によっても禁止されている。この問題はより長い説明を必要とする大きな問題である。しかし、両者の解釈をコーランやハディースの節と合わせてより深く、より明らかに説明できないのが残念である。今のところはまずこれで説明が足りることを願いたい。

Q.93(009-12)

ある男性がある娘と結婚し、7ヶ月間一緒に暮らしていました。そしてその娘は子供を一人生みました。この子供は姦通によって出来た子供となってしまうのでしょうか、または夫自身の子供でしょうか。なぜなら、子供が生まれるまでの期間は通常9ヶ月だからです。

A.93

子供が生まれるまでに9ヶ月かかるとは限らない。妊娠7ヶ月目で出産することもよくある。それどころか、4ヶ月目で出産する人もいる。よって、もしその女性が夫と結婚する前に悪い行いをしていなければ、おそらく夫の子供だろう。

■第10号 [Qalam 1951.5: 36-38]

Q.94(010-01)

ラマダン月の夜明け前に妻と性交した者が、沐浴が遅くなり昼間になってしまった場合、その断食は有効ですか。

A.94

ラマダン月の夜に妻と性交した者は、大汚[性交の後、月経や産後の出血が終わった後など、全身の浄めを義務とする状態]の状態では朝を迎えるが、その者の断食は無効ではない。コーランの「牝牛」の章第183節の中に次のようなアッラーの啓示が記されている。「断食の夜に妻と交わることは許されている」⁹⁾。

また、ウンム・サラマは次のように伝えている。「使徒ムハンマドは、夢精ではなく性交による不浄の状態

で朝を迎えられましても、断食をなさいました。その断食を他の日に行くこともなさいませんでした」(ブハーリーとムスリムによる伝承)。

沐浴の時間に関しては、宗教上制限されていない。夜もしくは夜明け前の早朝であればいつ沐浴してもよい。また、起きるのがたまたま夜明け後になってしまった場合は、夜明け後に沐浴しても問題はないが、急いで洗浄を行うことが最も重要である。

Q.95(010-02)

一夜に2、3回続けて妻と性交した者が1回しか沐浴をしなかった場合、法的にはどうなりますか。

A.95

この場合も、上述[A.94参照]した決まりに従って沐浴をすればよい。また、性交の度に毎回沐浴するようにとは命じられていない。

(警告: おそらく一部の人はこのような質問を扱ったことを非難するだろう。しかし、時々人々はこうした問題に関して無知であるにも関わらず、大半の人が遠慮してこのような事を教師に質問できずにいる。したがって、宗教の問題に無知な人々にとって有益であることを願い、とりわけこのような繊細な問題に関する質問に応じることにしたのである)。

Q.96(010-05)

もしある人物の収入が自分の妻子を養うのに十分ではなく、退職や昇給を願いでることもできない場合、その人物はどうしたらいいですか。

A.96

自分の生活は自分の収入で賄わなければならない。アッラーの救いを祈願しつつ、あなた自身が努力すれば、あなた方夫妻は欠乏を補うための他の工夫がきっとあるはずである。それぞれの不足分は工夫すれば補うことができるが、妻に対する責任を放棄してはならない。妻に対する責任は義務となっており、その義務によってあなたは物事に責任を持つことを教えられている。もしあなたが責任を持とうとしないなら、より重大な問題に対しても責任を持てないだろう。

Q.97(010-06)

庶民がトゥンク[マレー人王族の称号]やシャリフア[ムハンマドの子孫の女性の尊称]を妻に娶った場合、法的にはどうなりますか。

9)「断食の夜、汝らが妻と交わることは許してやろうぞ」(井筒俊彦訳『コーラン』(上)第2章「牝牛」第182(187)節)。

A.97

これは「カファー〔婚姻における対等性〕」の問題である。シャーフィイー派では、一般人と身分の高い人の結婚は対等ではないという議論がある（このカファーの問題について詳しくはシャーフィイー派の法学書を調べるとよい）が、この見解は別の学派から反論されている。その根拠は、そのような行為は同じイスラム教徒の分裂もたらし、使徒ムハンマド（彼に神の祝福と平安あれ）やイスラム教によって先導された連帯の原則を崩すからである。それは、イスラム教はタクワ〔神への崇敬〕以外、信徒の間に格差はないというものである。

加えて、歴史上には、サイーディナ・ビラルとザイド・ビン・ハリサがいる。二人はクライシュ族でないどころか奴隷であったが、クライシュ族出身者と結婚して解放された。コーランの「女」の章の第22、23節に、結婚が禁止されている相手として14種の相手が挙げられているが、その中にはトゥンクやシャリファなど血統に由来する階層は含まれておらず、それどころか節の最後は次のように続いている。「これ以外の者との結婚は合法である」¹⁰⁾。こうしたことから、彼らは次のように考えた。強制ではなく合意にもとづくものならば、結婚を禁止したり、違法とする根拠は存在しない。

上記のような問題は、大論争を引き起こしたことにも触れておくべきだろう。血統を維持したい者たちは譲ろうとせず、真実を追究しようとし、自分たちの理屈を意地でも固守し、イスラム同胞間の絆を強めるという宗教のより広い目的について関心を払おうとしない。このため、まるでイスラム教のなかに高低があるようだ。

Q.98 (010-07)

宝くじで得たお金をハラルにするにはどのような方法がありますか。

A.98

禁止なものはあくまでも禁止であり、それをハラルにする口実はない。例外は食糧や薬であり、緊急事態でやむを得ない場合、その場をしのぐ分だけ許される。宝くじの禁止については、本号（1951年5月、10号）でエドルス氏が論じているので、より詳しくはその記事を見るよう勧めたい。

10) 日本語版に該当箇所なし。

Q.99 (010-08)

宗学校で勉強している時や会議などの集会の際に、男性が女性と交わることは可能ですか。

A.99

この問題は詳しく説明すべき問題であるが、本誌の女性に関するコラムを担当しているウム・ムフシン氏がコラムで書き始めたようなので、この問題に関するより詳しい議論はそちらを見てもらえればと思う。

Q.100 (010-09)

女性の生んだ子供が父親似の時もあれば、母親似の時もあるのはなぜですか。

A.100

私が知る限り、子供がどちらに似るかは夫婦の間での血統と欲求の強さに左右される。もし夫の血統や欲求が強い場合は、父親似の容姿になる。これは自然なことである。

Q.101 (010-10)

年齢が40歳以上で、既に閉経している女性との結婚あるいは離婚は合法ですか。

A.101

合法である。

Q.102 (010-11)

許されないやり方、つまり姦通によってできた子供は法的にはどうなりますか。

A.102

その子供は、両親の姦通の結果出来た姦通児である。したがって、姦通の罪は両親が背負うものだが、侮辱の重荷はその不幸な子供に降りかかることになるだろう。

Q.103 (010-12)

「塵より低く」または「靴より低く」とはどういう意味ですか。また、ニックやワン〔Nik, Wan: 主にクランタン地域のマレー人貴族の称号〕、あるいはエンチック〔Encik: 一般成人男性への敬称〕という単語はどういう意味からきているのですか。

A.103

「塵より低く」とは、足下より低くという意味、「靴より低く」とは、寝床より低くという意味で、これらの言葉は自らをへりくだる言葉である。ニックやワンあるいはエンチックはある一族の階級を区別する言葉であ

る。例えば、彼はニックの家系出身、ワンの家系出身、またはエンチックの家系出身である、といったように使われる。

Q.104(010-13)

4人の公正な証人がいなくても、写真を証拠として姦通した者を法のもとにおくことはできますか。

A.104

法律上は4人の公正な証人がいなくてはならず、そこで初めて某氏が姦通したと主張できる。写真についてはその後である。写真はねつ造や偽造ができるため、混乱を引き起こしかねないものもある。例えば、メルールさんの写真を取り、彼女と体格がまるで同じ別人が裸になっている等々の写真を用意する。次に、メルールさんの首元の部分の写真をきれいに切り取り、別の女性の写真も同じように首のところで切り取る。そしてメルールさんの頭の写真と別の女性の身体の写真を繋ぎ合わせ、写真のブロックを作る。鋭く見ない限り、メルールさんがあたかも裸になっている等々の写真に見えるのだ。

このような理由により、証拠となるのは、現像前のネガの状態の写真である。

Q.105(010-14)

宗教とは何ですか。また、アッラーのみもとの宗教は何ですか。

A.105

簡潔に言うと、宗教とは生活上の規則や法であり、それに従えば、現世と来世で平穏無事な生活を送ることができる。

アッラー（至高なる讃えられるべきお方）のみもとの宗教は、啓示されているようにイスラム教である。「アッラーのみもとの宗教はただ一つ、イスラムである」¹¹⁾。

Q.106(010-15)

ムハンマドは、オスマンによりしく伝えるよう頼みました。オマルがムハンマドの挨拶をオスマンに伝えた際、オスマンは「ワライコム・アルサラーム(wa‘alaykumu al-salām: あなたに平安あれ)」と返事しました。この返事は正しいですか。

11)「アッラーの御目よりすれば、真の宗教はただ一つイスラム（神に対する絶対無条件的服従を意味する）あるのみ」(『コーラン』上第3章「イムラーン一家」第17(19)節)。

A.106

オスマンはまず、オスマンの挨拶を伝えた者に返事をし、その後に挨拶を頼んだ者に対する返事をするべきである。返事の仕方は次の通りである。「ワライカ・ワライ・アルサラーム(Wa‘alayka wa‘alayhi al-salam)」または「ワライコム・ワライ・アルサラーム(Wa‘alaykum wa‘alayhi al-salam: あなたと彼に平穏あれ)」。

Q.107(010-16)

金曜の礼拝や祝祭の際に、この地のウラマーが裾のとても長いジュバを着て、きつく張ったターバンを巻いていたことに驚きました。インドネシアのウラマーは単なる普段着を着ており、一部の人はネクタイを絞めています。ジュバとターバンを着用した方が、より礼拝のご利益がありますか。

A.107

宗教は、あれやこれやの服装を着させたり、命じたりしていない。服装とは、アウラを隠し、清潔さを保つためのものである。このため、ジュバやきつく張ったターバンを着用して礼拝したからといってより多くのご利益があるわけではない。考慮に入れるべきは、真剣に、また誠実に神と向き合うことである。

■第11号 [Qalam 1951.6: 16-18]

Q.108(011-01)

男性はいつ妻を娶ることが望ましいですか。

A.108

復活、運、生死、出会いと縁は誰にも分からない。よって、男性がいつ女性と結婚すればいいのか判断するのは難しい。しかし、社会的見地からすると、二十歳の境を過ぎたくらいがいいだろう。25歳以上がより望ましいが、もう一人扶養するだけの力が既になければならない。

もし扶養能力がまだないとすると、慣習的には結婚は少し難しいが、宗教的には神から金運がもたらされる。しかし、もし能力があり、精力的で、沢山の努力をすれば、多いか少ないかに関係なく、必ずや金運は得られるだろう。

Q.109(011-02)

両親を喜ばせるためにはどうしたらいいですか。

A.109

両親を喜ばせる方法は、良い行いをし、礼儀正しくあり、両親や他の人に対して優しくすることである。ま

た熱心に勉強をして、学業や学究において優秀な成績を取ることも両親を喜ばせることになる。

両親を喜ばせることは宗教、社会や慣習による使命である。なぜなら、母親のお腹にいる時から大人に至るまでの間、育ててくれた両親の恩に報いることができる子供はいないからである。わずかではあるが恩返しとしてできることは、とりわけ両親が年老いた時に喜ばせることである。両親が年老いた時、子供は両親に対する哀れみの翼を広げなくてはならない。彼らに対して怒って舌打ちをしたり、怒鳴って叱りつけたりすることは絶対にせず、優しくすることがイスラムの教えである。

Q.110(011-03)

ザカートを紙幣で払うことは義務ですか。

A.110

ザカートを払うことは義務である。紙幣は金や銀の貨幣よりも優勢である。発行量の点からすると、紙幣と同等の値段的価値がある金や銀の貨幣と比べて、紙幣の方が優勢なのである。

Q.111(011-04)

郵便で手紙を送るという手法を最初に始めたのは誰ですか。

A.111

郵便で手紙を送るという手法は、昔からあった。昔のイスラム帝国の時代における手紙を送る方法は、賃金や報酬を貰った人が数マイルの距離を走り、人から人へと引き継ぎを繰り返しながら目的地に手紙を届けるというものであった。リレー競争と同じ状況である。

その後、より早い方法、すなわち馬に乗る手法が編み出された。馬から馬へと引き継ぎながら手紙を届けるのだ。

その後、切手を貼る方法がイギリスのウィリアム・フィル、後のサー・ウィリアム・フィルにより生み出された。切手が考案された理由は次のような経緯による。当初、手紙の郵送料は手紙を出した人ではなく、受け取った人が払うことになっていた。手紙が長い場合郵送料は高くなり、短ければ安く、もし手紙に何も書かれていなければ郵送料は無料であった。このようなシステムにより、多くの人が策を弄するようになった。自分が元気な場合には白紙の手紙を送ることを事前に示し合わせておくというようなことである。

このような酷い行為が多発し、郵便局に損害を与えていた。この状況の中、サー・ウィリアム・フィルは切手を考案したのである。現在のように、手紙を送りたい人は切手を買って封筒に貼らなくてはならなくなった。つまり、希望の届け先までの送料は、送り手が払うことになったのである。

Q.112(011-05)

新聞の各記事の末尾に書かれている「ロイター」という言葉はどういう意味ですか。

A.112

ロイターとは、大きく有名な通信社のことである。この通信社は世界中に代理人があり、ニュースを探し、収集し、それを支局あるいはロンドンの本社に電報で送る。そのニュースが重要であった場合、世界中の全ての支局に送信され、支局はそれを編集し、記事を書く。その後、新聞や実業家などの購読者へと配信されるのだ。

ロイターとは人の名前で、彼はドイツ人であったが後にイギリスの国籍を取得した。特に貿易に関するニュースを伝書鳩を用いていち早く届ける方法を最初に編み出したのがロイターであった。鳩の足に手紙を結び付けて放すと、鳩はまっすぐ巣へ飛んで行く。

その鳩を捕まえ、足に結んである手紙を回収する。このような伝書鳩を用いた方法により、地域の大きい町と港との間の距離が数十あるいは数百マイル離れていたとしても、両所の貿易に関するニュースをいち早く届けることができたのである。その後電話線と電信施設を使用することにより、ロイターは事業をより拡大し、より高速化することができた。ロイターという名前は、彼の死後も社名として採用され、現在まで残っている。

Q.113(011-06)

人から愛される主催者あるいは指導者になるにはどうしたらいいですか。

A.113

イスラム教であれ他であれ、何かしらの歴史書を読めば、主催者あるいは指導者が誠実に主催あるいは指導したとしても、彼らは愛されもするし憎まれもするのが世の常であることがきっと理解できるだろう。多くの人に好かれ、愛される人は、それと同じくらい人から憎まれ、嫌悪されることは明らかである。

あなたもご存知だと思うが、具体的な例を挙げる

と、我らが崇拜する預言者ムハンマド(彼に神の祝福と平安あれ)は、罪がなく、信頼でき、正直で公正なる御方で、23年間イスラムの光を世界中に拡大した方である。しかし、彼にも敵がいれば、嫌う者もいた。

したがって、もしあなたが主催者や指導者になりたいならば、人からの侮辱、中傷や裏切りは一つの試練として見なすべきである。さらに、正直で信頼でき、忍耐強く聡明でなければならない。この性質こそが主催者あるいは指導者の条件であり、生きている間に名声を得ることができなくても、神の御心ならば、あなたの死後、きっと世界のあちこちで名が知られることだろう。

Q.114(011-07)

命ある限りにおいて、永遠に愛される女性の美しさとは何ですか。

A.114

人間には二つの系統、すなわち心と身体がある。心の美しさは永続しうる。心の美しさとは、モラルの高さ、礼儀正しさ、尊敬すべき振る舞い、優しい言葉遣いである。このような女性を愛したなら、その愛がともなう心の美しさは不滅である。逆に、身体の美しさは年老いると衰え、枯れてしまう。よって、見た目の美しさに惚れた人は、その愛もいずれ衰え、枯れてしまうだろう。見た目が良く、美しい人が他にいたならなおさらである。しかし、心の美しさは特別であり、作ったり、取り繕ったり、真似たりできるものではない。見た目の美しさはそれが可能である。

したがって、あなたは心の美しさを愛すべきである。そうすれば、あなたはいつも安心と喜びを得ることができる。

Q.115(011-08)

イスラム教徒が酔わない程度にほどほどにビールを飲むのは合法ですか。

A.115

量に関係なく、たとえ酔わなかったとしても、酔いをもたらす液体を飲むことは明らかに禁止である。一般に、ビールを初めて飲んだ者は、少し飲んだだけでも酔っぱらう。ウラマーもビールは禁止だと合意している。したがって、酔うかどうかに関わらず、ビールを飲むことは禁止である。

Q.116(011-09)

預言者ムハンマドの教友らは、コーランの章句または

さまざまな絵をお守りにしたことがありますか。

A.116

お守りにしたことはない。それどころか、お守りを持つことは禁止されている。

Q.117(011-10)

鶏は卵から生まれ、卵は鶏から生まれます。では、どちらが先に生まれたのですか。

A.117

どちらが先でどちらが後かを特定できる人は誰もいない。なぜなら、それはアッラーの力を指し示すものだからだ。

Q.118(011-11)

もし妻の祖母に触ったら、礼拝前の水による洗浄は無効ですか。

A.118

無効ではない。

Q.119(011-12)

チナ・ブタ[cina buta:盲目の華人]という言葉の語源はなんですか。その意味はどのようなものですか。そのような名前と呼ばれているのは誰ですか。

A.119

チナ・ブタという呼び名は、ムハリル[muhallil:合法な人、認められた人]というアラビア語からきている。それは3回の離婚、もしくはいわゆる3度のタラク[夫が妻に行う離婚宣言]により夫から離婚された女性とその夜のうちに離婚するという条件で結婚してお金をもらう男性のことを指す。大抵その男性は障害者である。一部の場所でよくあることだが、結婚立会人、あるいはカディが彼らを家で預かり、特別な部屋を一室用意する。チナ・ブタとの婚姻を望む女性が来ると、カディは家に預かっている男性に報酬を払い、その女性と婚姻させる。その後、用意された一室にふたり一緒に入る。しばらくしてからふたりは部屋から出て来て、一緒になったと認める。次に、チナ・ブタとなった男性に女性と離婚するよう命じる。その後女性は3ヶ月のエッダ[待婚期間]を待ち、最初の夫と再婚する。このような方法は、いくつかの場所でよく行われている。

質問者はこの婚姻に関する法について尋ねてはいないが、重要だと思うので説明したい。このような行為は法律上明らかに違法である。なぜなら、彼らが結婚というものを弄んでいるように見えるからだ。アッ

ラーはこのようなムハリルの行為を呪い、その職業は厳しく非難される。

■第12号 [Qalam 1951.7: 29-30, 64-65]

Q.120 (012-01)

シンガポールに来たばかりのインドネシア人の友人が、金曜の集団礼拝を終えてマスジド・スルタンから出てきた時、人々が金曜の集団礼拝の後にズフルの礼拝[正午過ぎの礼拝]も行っており、ズフルの礼拝をしている人たちの目の前を多くの人たちが横切っているのを目にして驚きました。そこで、次のような質問をしたいと思います。

礼拝中の人の目の前を横切することは禁止されていますか。もしそうなら、金曜の集団礼拝の後にズフルの礼拝を行うことは、人々にモスクで罪を犯すことを促すことになりませんか。

A.120

シンガポールの多くのモスクでは、シャーフィイー学派に従って礼拝を行っている。シャーフィイー学派の判断では、金曜の集団礼拝を行うモスクはひとつの国の中に一カ所のみ認められている。しかし、この考え方に反対する教友らもいる。都市部の住民にとって、金曜の集団礼拝のモスクが一カ所だけだと、通うのが難しいからだ。

このような意見を受け、一部では複数の場所で金曜の集団礼拝を行うことを認めたが、彼らも金曜の集団礼拝の目的をないがしろにしている。その目的とは、みんなで考え、議論すべき重要な出来事に関して助言を聞くために、イスラム教徒たちが集まるということである。それゆえ、ひとつの地域に金曜の集団礼拝を行うモスクが多数存在することを「複数の金曜礼拝」と言う。こうした礼拝を使徒ムハンマドは行ったことがない(但し禁止はされていない)。既存の指定された一カ所のみが金曜礼拝のモスクとして有効であり、その他のモスクで行うことは無効であるという見解を持つウラマーもいる。別のモスクで行う礼拝の有効性に疑念を持つゆえに、金曜礼拝の後にさらにズフルの礼拝を行うのである。ここで明らかなことは、別のモスクで金曜礼拝を行う人たちは、そこで行った礼拝の有効性に疑念を抱いており、有効性に疑いのあるイバーダートを行ってはならないということである。

一方、現在では様々な場所での金曜礼拝を許可する意見がある。その理由は、モスクにおける説教が大衆に利益をもたらさない場合があるからだ。それゆえ、

上述した目的を果たすため、その時代に合った説教を行う別の金曜礼拝を行うのである。彼らの意見では、マスジド・ジャメ[金曜礼拝を行うことが認められた既存の大規模なモスク]は、金曜礼拝の宗教的要求と原則を果たしていないという。それは、我々が知るマスジド・ジャメのカティブ[金曜礼拝で説教を行う人]の説教は、たとえマレー語に訳されて我々が理解できたとしても、そのマレー語は墓に入るようなものだからである。金曜礼拝が目的と要求を果たし、利益をもたらすようになれば、彼らはズフルの礼拝を止め、別の場所での金曜礼拝を喜んで中止するつもりでいる。

端的に言うと、金曜礼拝の後に行うズフルの礼拝は使徒ムハンマドによって行われたことはなく、彼の教友や4人のイマームらによっても行われたことがない。つまり、この礼拝は単にウラマーの解釈や考えに従って行われたものなのである。

さて、今度は礼拝中の人の前を横切ることについて見てみよう。使徒ムハンマドのハディースによると、礼拝中の人の前を横切るとは大変な拷問であり、横切ろうとする者がいたら阻止せねばならない。もし阻止されるのを嫌がるようであれば、強硬な手段を行使してもよい。無知ゆえに礼拝中の人の前を横切るとはどこのモスクでも起こっていると言える。特に金曜礼拝後のズフルの礼拝中に非常に頻発する。なぜなら、金曜礼拝の時間が終わると、アザーンや礼拝の最中に人々がモスクから出てきて、思わずズフルの礼拝中の人の前を通ってしまうからだ。こうした事態を鑑み、そのシンガポールのウラマーは次のことを考えなければならない。すなわち、(1)このようなイバーダートを使徒ムハンマドが強く禁じたこと犯しながら続けるのか。宗教上根拠のないイバーダートを作り上げることは、禁止事項に該当する行為とならないだろうか。

Q.121 (012-02)

あるハジ[メッカ巡礼をした男性]が載せた新聞広告を見ました。その広告は、何百人もの人が助けをもらったなどと、彼お手製のお守りがいかに効能があるかを唱っていて、そのお守りを是非注文するよう人々を促していました。お守りをつけることで宗教上のご利益はありますか。

A.121

お守りをつけることは宗教によって禁止されている。お守りによってご利益を得たり、災難から解放されたりするなど信じている人たちは、明らかに多神教徒

である。

使徒ムハンマドは以下のようにおっしゃった。「護符を下げる者は誰でも多神教徒になる」。アーマッドの伝承によるハディース。

お守りを使うことを禁止するハディースはまだ数多くあり、我々の考えでは、そのような行いは、例えハジであろうと誰であろうと、人を多神崇拝の道へ導くことになる。

Q.122(012-03)

私はいつも老人たちに、ハリラヤ、とりわけハリラヤ・ハジ[巡礼祭、犠牲祭]の夜は夫婦が交わってはいけなと説かれます。この禁止事項についての説明はどのようなものですか。

A.122

この事について分析している宗教学者によると、ハリラヤの夜に夫婦が交わることを禁止とするコーランあるいはハディースの説明はひとつもない。そのように言っているウラマーも誰一人いない。これに対する禁止はひとつも見当たらないので、おそらく老人たちの説明は、推測からきているものだろう。

Q.123(012-04)

女性がカツラをつけたら法的にはどうなりますか。

A.123

カツラとは、髪の毛あるいは髪の毛に似たようなもので、髪が無かったり少なかったりする女性が添えたり、または髪に付けることで髪の毛をより多く見せるためのものである。現代では、カツラは輪状に作られていて、外から見て髪が丸い束に見えるようになっている。

この件に関して、禁止するハディースが数多くある。その内のひとつは次の通りである。「アッラーは、カツラを添える、または添えることを望む女性、あるいは刺青を入れる女性、または入れたいと願う女性を呪う」。刺青とは、手に針を刺して絵を入れることである。

ハディースをもうひとつ挙げる。「アーイシャは伝えている。アンサール[メッカからの移住者を受け入れ、聖遷後に改宗したメディナのイスラム教徒]の若い女性が結婚後、病気を患って髪が抜け落ちてしまった。(近親者たちは)彼女の頭にカツラを添えようとした。そこで、このことを使徒ムハンマドに尋ねた。すると使徒は次のようにおっしゃった。「アッラーは、カツラを添える、または添えることを望む女性を呪う」。

前述したように、この件に関するハディースは数多

くあり、禁止であることは実際明らかであるが、これに関してはウラマーによって様々な解釈の差がある。その解釈は次の通りである。

- 1) たとえカツラの毛が女性あるいは男性のもの、または近親者あるいは夫のものなどであったとしても、人間の髪でできたカツラをつけることは禁止である。なぜなら、ハディースの中で一般に禁止されているからである。
- 2) 不浄の動物の毛、すなわち死体の毛、食してはならない動物の毛でできたカツラをつけることは違法である。また、礼拝やその他のことに故意に不浄を持ち込むことになるため、男性であろうが、既婚あるいは未婚の女性であろうが、カツラを添えることは禁止である。
- 3) 未婚の女性が不浄の動物の毛でできたカツラをつけることは禁止である。
- 4) 清浄な動物の毛でできたカツラを女性がつけることは、それが夫の許可を得ていれば禁止ではない。
- 5) マーリクやサブラニなど何人かのイマームたちは、頭髪や体毛、あるいは布や糸でできたものであっても、カツラをつけることは禁止だと述べている。
- 6) イマーム・イリヤスは、頭髪でできたカツラは禁止だが、体毛、布または糸でできたカツラは構わないと述べている。
- 7) イマーム・アルマディーは、毛あるいは羊の毛でできたカツラを女性がつけることは禁止ではないと述べている。
- 8) ハドウィーヤ学派の学者は、女性が近親者の頭髪からできたカツラをつけることは違法ではないと述べている。

上記八つの中でも、ハディースによって許されているという説明はひとつもなく、さらにイマーム・マーリクやイマーム・サブラニなど何人かのイマームたちは、頭髪や体毛、あるいは布や糸でできたものであってもカツラをつけることは禁止だと明確に述べている。それゆえ、ハディースの説明を根拠に、若いか年配か、結婚しているか否かに関わらず、全ての女性にとってカツラをつけることは禁止であると判断できる。イスラム教に従ったアウラに関する法に則れば、人々にとってカツラをつけることは重要ではない。なぜなら、イスラム教は髪の毛を女性のアウラとしており、女性は髪を隠しており長いか短いかは分からないはずだからである。カツラが欲しくてたまらない女性

は、コーランの「女」の章の中ではっきりと述べられているアウラを定めた法を犯しており、アッラーによる禁止事項に該当しているのだ。

Q.124 (012-05)

多くの女性が、ヤシの葉のように眉毛を細くしていることに私は目を引かれました。これは宗教上許されていますか。

A.124

イブン・マスードは伝えている。「私は、使徒ムハンマドが女性が眉毛を抜いたり、歯と歯の間を開けたりするのを禁じると言ったのを聞いた」。すなわち眉毛を抜いたり、また歯と歯の間を人為的に開けるというアッラーにより生み出されたものを変えてしまう女性の行為を呪うハディースの記述はいくつかある。こうした行為は明らかに禁止であり、使徒ムハンマドによって禁止され、呪われる。それゆえ、将来社会の一員となる「女学生」が、眉毛を抜く、または整えるといった明らかな禁止事項を行わないことを願う。

Q.125 (012-06)

マラヤにおける州参事会の長は誰ですか。

A.125

マレー諸州の州立法参事会の長は州首相であり、海峡植民地の各地では常駐弁務官が長を務める。また連邦参事会の長は高等弁務官である。マレー統治者立法参事会はスルタンの内一人が輪番制で長を務める。シンガポール立法参事会は知事が長となる。

Q.126 (012-07)

メッカ巡礼の義務を果たした人がハジを称さなくてもいいですか。

A.126

メッカ巡礼の義務を果たした人がハジを称さなければならないと命じる人は誰もいない。また、称してはならないと禁止する人も誰一人いない。

■第13号 [Qalam 1951.8: 39-40]

Q.127 (013-01)

マレー人が商業を発展させるにはどのようにしたらいいですか。

A.127

他の人たちが発展したのと同じように、信念、信頼、誠実さ、忍耐強さ、勤勉さ、努力があればマレー人も商業

を発展させることができる。また、コンセンサス、相互扶助、相互理解と儉約が必要である。その他にも、多少の商売の知識があり、既に発展を成し得た人たちの努力をいつも注意深く観察することが必要である。

マレー人が商業を発展させることができると私は信じている。我々が事業を始めるべき場所は村落である。村落には多くのマレー人が住んでおり、まずはここで商売や事業を起すべきである。独りで立ち上げるのが難しい場合は集団で行い、会社のやり方に従い、すべての売買を行わなくてはならない。なぜなら、他の人をあてにして自分たちの商業や事業を発展させることはできないからである。我々自身の力で発展させなければならない。

村落での事業が成功し発展したら、今度は町で、全員で会社を作り、事業経営を試みる。村落の商業や事業の店舗は、その全ての目的と意志を、今度は町の会社店舗に集中するのである。

この方法に従えば、今度は都市部で事業を拡大することができる。そして都市部から今度は海外へと事業の翼を広げることができるだろう。

このような事業を行うことは簡単ではないが、コンセンサス、相互協力と相互扶助をもってすれば、急速で安定した成功を得ることが可能だと信じている。

有力者から地位のある人、大衆、そして特に宗教教師に至るまで、我が民族の各階層が常に協力の精神をもち、相互協力、相互扶助を我々の心に落とし込めばよい。

我々マレー人の商業や事業の発展の秘訣はここに隠されている。

Q.128 (013-02)

ペナン島は当初英語で何と呼ばれていましたか。また、初めてその島に上陸したイギリス人は誰ですか。

A.128

名前は「Prince of Wales island」であり、中心都市はジョージ・タウンである。初めて島に上陸したイギリス人はフランシス・ライト船長である。

Q.129 (013-03)

なぜ大都市に住むマレー人児童はあまり成績がよくないのですか。

A.129

都市部に住む全てのマレー人児童の成績が悪いわけ

ではない。しかし、8年生や9年生に進級する頃、大部分の児童は勉強があまり進まなくなると言える。専門家の意見によると、その理由は、都市部のマレー人児童たちが学校教育や勉強に対する責務を疎かにする、あるいは迷わすような様々な試練に出くわすからである。

その試練は過度の放任状態により生じており、一部には両親からの管理を受けていない児童もいる。試練があまりに多いため、学童としての責務を強く自覚している子供を除き、学校に通うよう管理しなければ逸脱する子供はなくなる。

Q.130(013-04)

ハリラヤの間、多くの女性がお墓参りをします。その際花束を持って来ることが習慣となっていますが、これは法的にどうなりますか。

A.130

墓参りは男女にとっての推奨行為である。なぜなら、ブハーリーとムスリムのサヒーフ集で伝承されたハディースの中で、男女の墓参りは推奨行為として示されているからである。しかし、墓参りの目的は、次のようなことではないと理解しなければならない。すなわち、埋葬者に願い事をするため、あるいは自分の希望をアッラーに届けてもらえるよう埋葬者にお願いするためではない。また神の「祝福」を得るためでもない。また、墓地に花をたむけ、安息香を焚くためでもなく、「タウケ・クブール」の霊に賽銭するなどといったためでもない。人々がイスラム教徒の墓に参る目的は、埋葬者がアッラーの祝福と罪の赦しを得られるよう祈るためである。くわえて、来世について考え、人は死後どこへ行くのか認識し、ありとあらゆる邪悪を避け、親切な行いや神の命令を喜んで実行するよう自覚するためである。

Q.131(013-05)

シンガポールのモスクでは金曜の礼拝の後にズフルの礼拝を行っていますが、これはアッラーや使徒ムハンマドの命令に従ったものではないのですか。

A.131

この問題に関しては、私は以前マスジド・スルタンに関する質問の中で回答した。金曜の礼拝後にズフルの礼拝を行うことを許可するはっきりした説明はない。その上、イマーム・シャーフィイーはこの礼拝を行ったことがなく、ましてや使徒ムハンマドやその教友ら

も行ったことがない。

Q.132(013-06)

イスラム教徒の女性がパーマをかけたら法的にはどうなりますか。

A.132

昔はパーマをかけるという方法は存在しなかったため、それは単に化粧のひとつとして見なすことができる。しかし、パーマをかける理由が人に見せるため、つまり、より美しくなったことを人前にさらすためであれば、それは明らかにイスラム教が禁じた行為である。なぜならば、髪の毛は女性のアウラであり、近親者以外の人に見せたり見られたりしてはならないからである。

Q.133(013-07)

家に掛かっている天馬ブランクの絵は祝福をもたらすのでしょうか。また、実際に絵のような姿をしていたのでしょうか。

A.133

絵は単なる人間の創作であり、何も祝福をもたらさない。それどころか、報いから逃れるために助けになるものは自分の力や努力以外は何一つないことは覚えておかねばならない。

Q.134(013-08)

以前の号で護符に関して回答したところ、コーランの節や小型のコーランをお守りにするのは合法ですかという質問が多数寄せられた。

A.134

アッラーによってもたらされた聖典コーランはお守りではなく、現世と来世に幸福をもたらすための導きである。使徒ムハンマド自身、戦場で怪我をして血を流したことがある。もしコーランが護符となるならば、使徒ムハンマドは不死身の人間となり、武器を食らうことはなかっただろう。使徒ムハンマドの時代のイスラム軍は、ウフドや「フナイン」の戦いで苦杯をなめた。もしコーランがお守りになるならば、彼らは戦いに負けることはなく、各戦場でずっと勝利し続けただろう。

■第14号 [Qalam 1951.9: 39-40]

Q.135(014-01)

学校で同じクラス的女子を見つめたら、法的にはどうなりますか。イスラム法では顔と両手首以外、男女が

見つめ合うことは禁止されていますが、英語学校では多くのイスラム教徒の男女が、半裸と見なされるような服装をしています。

A.135

イスラム法は、成人した男女のアウラを定めており、男女が交際することや見つめ合うことを禁止していることは明らかである。なぜなら、たとえ両者がアウラを隠していても、中傷を引き起こすからである。この禁止の結果について、我々自身が災難を見てきており、どのようにしてその不幸な出来事が起こったか、ひとつひとつ言及する必要はないだろう。

Q.136 (014-02)

もし華人の娘がマレー人の若い男性と恋に落ちて、その娘が自分はイスラム教徒だと認めたら、マレー人男性は彼女と結婚できますか。

A.136

結婚できる。異教徒の女性がイスラム教に改宗し、自身の家族との関係を断ち、またその結婚に同意したならば、イスラム教徒の男性と結婚するにあたって何も支障はない。しかし、小さい頃から自分を育ててくれた両親の苦勞に敬意を表して、まず両親の同意を得る方法を模索することが和解のためには大変望ましいだろう。

Q.137 (014-03)

普通の映画を上映する映画館を建てることは法的にはどうなりますか。その映画館で得た収益はハラルですか、禁止でしょうか。

A.137

映画館を建てることは、家を建てるのと同じように法的には何も禁止されていない。許されるかどうかは、上映する映画の種類による。例えば、メッカ巡礼を伝道する映画は法律として許可されているだけでなく、メッカ巡礼のイバーダートを奨励するため、むしろ求められている。また、歴史に基づく映画など、モラルを損なうようなシーンがなければ、全て許される。モラルを損なうような猥褻な映画の上映に関しては禁止であり、そこから得た収益も同様である。

Q.138 (014-04)

ある人物が大きくなったら妻とする目的で華人の女児を買いました。結婚契約を執り行わなかった場合、将来の結婚は合法ですか。

A.138

結婚は、女性自身の同意を求めて契約を結ばねばならない。もし女性が同意しなければ、その契約は無効であり、ましてや契約をしないのは明らかに禁止である。

Q.139 (014-05)

なぜマレー人の王たちの中で、五行の一つであるメッカ巡礼の義務を果たした人がいないのですか。それは義務ではないのですか。

A.139

メッカ巡礼は、それを果たせる年齢に達した者にとって義務である。巡礼を果たす能力のあるムスリムがそれを怠ったら、誰でも罪を負うことになる。巡礼に行くかどうかは、その人物の信仰と宗教に対する熱心さにかかっている。宗教に熱心な王であれば、メッカ巡礼の義務を果たすはずである。私の知る限りでは、この20年以上の間、統治者であるマレー人の王のなかでメッカ巡礼を果たしたのはただ一人、ブルネイのスルタンである。彼はイスラム教に大変熱心な暮らしを送っている。

Q.140 (014-06)

男性の女装、あるいは女性の男装は法的にはどうなりますか。

A.140

禁止である。

Q.141 (014-07)

病気などの理由で血液が足りなくなった妻に輸血するため、夫が献血することは法的にはどうなりますか。可能でしょうか。

A.141

可能である。輸血は自分の妻や家族だけに許されたものではない。輸血が不可欠な状況で、かつ自分自身に危険が及ばないなら、命を救うためイスラム教徒でない人たちにも自分の血をあげるべきである。医学上、ある状況下において血液は救助の上でとても重要となる。十分健康な人に対し、いつも各国で献血が呼びかけられているのはこうした理由による。その血液は保存され、事故または病気などにより輸血が必要な人たちの救うために使われる。

エジプトのアズハル大学の学長シェイク・アブドゥル・マジッド・サリムは、次のように助言している。すなわち、緊急事態により異教徒を助けるため血液が必

要不可欠となった場合、その血液が異教徒のものであろうとイスラム教徒のものであろうと、彼らのために使われるべきである。

Q.142(014-08)

なぜ現在のイスラム教は遅れをとってしまったのですか。

A.142

昔から現在まで、イスラム教の教えはずっと変わらない。後退しているのは信徒である。昔であれば、イスラム教徒は幸運を祈った。彼らはただ座って手をひろげるだけでなく、その願い事が叶うように努力や工夫をした。もしムスリムが、各々パレスチナの解放を祈り、その土地を守る抜く努力をしていれば、ユダヤの手に落ちることはなかっただろう。衰退が起こった理由は、他でもなく信徒が、イスラム教の教えの目的を理解していないからである。その目的とは、ひとりひとりが現世の発展を模索し、来世の平穏をもたらすための努力をすることである。

■第15号 [Qalam 1951.10: 38-40]

Q.143(015-01)

丘の上に小さな水路があり、そこから小さな井戸を作り、2つの水槽にしました。水路から水を引くことになるわけですが、その水を使って手足などを清めるウドゥー[礼拝のための浄め]を行うことは合法ですか。

A.143

合法である。清めのための水の条件は、味、色、匂いの3つである。この3つに変化がなければ、その水は清浄である。

Q.144(015-02)

村落に住む人々は、金曜の夜に死者の霊や天使が家に訪れると信じ、その日の夜、釜に米を少量残しておく習慣があります。彼らの想像や信仰は正しいでしょうか。

A.144

それは単なる迷信である。コーランやハディースの章句は存在せず、教友たちもしくは4人のイマームや有名なウラマーたちも行ったことがない。我々の考えでは、そのような習慣はヒンドゥー教や仏教の慣習に従ったものである。

Q.145(015-03)

ある人物が公判で、コーランを片手に次のような宣誓

をしましたが、これは法的にはどうなりますか。

「私、フラン・ビン・フランは、この審理において供述したことは全て真実であることを誓って認めます。真実以外何もありません」。

もし彼がこの誓いに反する証言をしたとすれば、神への誓いを破ることになりますか。

A.145

宗教で認められている神への誓いは、アッラーの御名の下に行われたものだけである。例えば、「私はアッラーに誓って真実を述べます」と認め、もし彼がそれに反したり、真実でないことを言ったならば、それは違反行為になる。コーランを手に宣誓することはイスラムにおいて行われたことはない。これは後に追加されたものである。イスラム教徒は言葉によって自らの名誉を守り、供述に対する承認や誓約を遵守せねばならない。

Q.146(015-04)

姦通によって生まれた子供がその後イスラム法に忠実に実践していたとしたら、法的にはどうなりますか。

A.146

その人物が実践した善行に左右される。出生に対する責任は、自身ではなく世に生まれる原因を作った者にある。この質問に対するより明確な回答は、『カラム』第8号のコラムを読んで頂きたい。

Q.147(015-05)

大汚[性交の後、月経や産後の出血が終わった後など]の状態にあるイスラム教徒の女性が、沐浴の際、水泡で髪型が崩れるないように一本たりとも髪の毛を濡らさなかったとしたら、法的にはどうなりますか。

A.147

大汚を清めるための沐浴で水を被らないことは違法である。髪を洗うことに関しては、イスラム法学者の間で二つのグループに分かれている。第一のグループは、大汚の状態の女性は髪の毛を一本も残さず水で濡らすべきとしている。第二のグループは、髪の毛全てを濡らす義務はないとしている。ただ頭に三回水を掛けるだけでよく、束ねた髪を解く必要もないとしている。

一つ目のグループは、月経や出産後の出血などといった大汚の状態を清める沐浴の際は髪の毛を濡らさなくてはならないとしているが、それはアブー・ダウードとイブン・マージャの伝承による次のような預言者

ムハンマドのハディースを根拠としている。

「アリー・ビン・アブー・ターリブは伝えている。私は使徒ムハンマドが次のようにおっしゃったのを聞きました。『大汚の状態で髪の毛を一本も水で濡らさないでいる者は皆、アッラーによって地獄で拷問にかけられる』そこでアリーは言った。『だから私は髪を切りました』」

もうひとつハディースを挙げる。

「アブー・フライハは伝えている。使徒ムハンマドはおっしゃった。『髪の毛は全て大汚の状態にある。ゆえに、髪を濡らし、肌を清めなさい』」

これら二つのハディースはイスラム教徒の男女に、大汚の沐浴をする時は髪の毛を一本も残さず水で濡らさなければならないと命じている。そうすれば、初めに挙げたハディースで言われるようなアッラーの脅威から助かることができる。女性に関しては、結った髪を解き、髪を濡らさなければならない。アル＝ダクトニとバイハキによって伝承された次のハディースを見てみよう。

「アナスは伝えている。使徒ムハンマドはおっしゃった。『月経の女性が沐浴をする際は束ねた髪を全て解き、カトミやイシュナン[石けんの代わりに頭や体を洗うための植物]で洗わなければならない』」

上記の見解に異論を唱える第二のグループは、上記に挙げたハディースにおけるスンナ[ムハンマドの慣行・慣習]は純粹ではないと主張する。第二のグループが論拠としているハディースがいくつかあるが、その内のひとつはムスリムの伝承による真正ハディースである。

「ウンム・サラマは使徒ムハンマドに質問をした。『私は髪を結っております。グスル[大汚を落とすための全身の浄め]をする際は髪を解かなければならないでしょうか』使徒はおっしゃった。『その必要はない。頭に3回水を掛けるだけで十分である。それであなたは清浄になれる』」

もう一つ、アーマッドとムスリムの伝承による真正ハディースを挙げる。

「ウバイド・ビン・ウマイルはこう伝えている。アブドッラー・ビン・ウマルが女性の束ねた髪を解くよう女性たちに命じたことがアーイシャに伝えられた。アーイシャはこれに関し、『イブン・ウマルが女性たちに沐浴の際、髪を解くよう命ずるとは奇妙なことです。(それほど言うなら)どうして彼は、彼女たちに髪を剃ってしまうよう命じないのでしょうか。私と神の

御使いは一つのたらいで沐浴しましたが、私はただ頭に三杯の水を掛けるだけで、それ以上何もしなくてよかったのです』と語った」

他にも第二のグループの根拠を強固にする文言は数多くあるが、そうした論拠の中でも髪を濡らさなくてよいとするものはない。第二のグループの見解は、大浄の際は三杯の水を頭に掛けるだけでよいと言っているに過ぎず、したがって水で髪を濡らさないことは禁止されていることは明らかである。

Q.148(015-06)

もし両親の言動に過ちがあった場合、我々はどう行動することが望ましいですか。子供は親の過ちに対して異議を唱えたり、それを厳しく禁じたりしてもいいでしょうか。もしそのような行動を子供がとった場合、それは宗教に反した行為になりませんか。

A.148

両親が過ちを犯した場合、子供はその過ちを物柔らかに指摘することが望ましい。イスラム教は、子供が両親に対して怒鳴ったり叱責したり、さらには両親を殴るような暴力行為を厳しく禁止している。両親を敬うことは義務である。両親がいなければ我々はこの世に存在せず、両親は重大な責任を担いながら小さい頃から我々を育ててくれた。ゆえに、我々は両親に対して乱暴を働いてはならない。もし両親が乱暴な言葉を吐いたり、あるいは逆上したりする状況に遭遇したら、彼らの怒りが落ち着くまでの少しの間、その場を離れるのがよい。これにより両親を裏切るような行動を回避することができる。獰猛な虎でも自分の子供は食わない。これを認識することである。

Q.149(015-07)

甥や姪が叔父・叔母にフィトラを与えたり、逆に叔父・叔母が甥・姪に与えたりすることは合法ですか、それとも罪になりますか。

A.149

ブハーリーとムスリムやイブン・マージャなどの伝承による真正ハディースに次のような言及がある。

「アブドッラーの妻ザイナブは伝えている。私はアッラーの使徒ムハンマドに、夫や面倒を見ている孤児に施しを与えることは合法かどうか尋ねました。すると使徒ムハンマドは次のようにお答えになりました。『そのような行いをした女性は二つの報酬が得られる。サダカの報酬と家族を助けた報酬である』」

また、預言者ムハンマドはイブン・マスードの妻ザイナブに次のようにおっしゃった。

「あなたの夫と子供にまずあなたの装飾品を施さない」

他にも、施しを家族に与えることは、義務や推奨ではないが、禁止でもないことを示す文言がある。しかし、宗教が定めた境界を越えないことが条件であり、施しを受け取る者ことができる者とは、貧者、困窮者、喜捨の徴収・管理者、改宗者、奴隷(解放のための身代金など)、負債者、アッラーの道に奉仕する者、旅費の尽きた旅行者である。もし受け取る家族が裕福であれば、それは上記の条件に反することになる。よって、この件に関してはより理解を深める必要がある。

■第16号 [Qalam 1951.11: 35-37]

Q.150(016-01)

私の給与は月に200ドルしかありません。時々それより多かったり少なかったりします。私には16人もの扶養家族がおり、借家に住み、学校に通う子供たちもいます。日々の出費は最低でも600ドル、たまにそれ以上かかることがあります。これは衣料費を含めない額です。物価が何もかも高い中で、出費を最低限に抑えるようにしています。この悲惨な状況から逃れる方法について何か助言を頂けますでしょうか。

A.150

最善かつ賢明な策は、収入に出費をつりあわせることである。忍耐強くそのような状況に対処しつつ、願わくはアッラーから豪勢な金運や恵みがもたらされるよう祈り、祈りながら努力を怠らないようにすることである。なぜなら、努力なしに願いは叶えられないからである。その努力から得られる収入についてはアッラーに委ねなさい。神の御心ならば、努力することでその苦難の状況から抜け出せることだろう。

Q.151(016-02)

ブカム[頭部や身体の一部を切り、カップ状のものを逆さにして汚い血を吸い出す施術]をする人は法的にはどうなりますか。

A.151

ブカムが推奨行為かどうかについては真正ハディースの中で言及がない。4人のイマームらもそのようなスナについて言及したことがない。ゆえに、単なる慣習に過ぎないだろう。医師の見解では、身体から血を吸い出す施術はイスラム法に依拠したものではないという。

Q.152(016-03)

集会で挨拶や講演をするのにあがり症を克服するための手段はありますか。集会にはトゥンク、サイイド[預言者ムハンマドの子孫の尊称]、トゥアン[目上の人への敬称]などの称号を持つ偉い人たちが参列するからです。何か適切なアドバイスを頂けますでしょうか。

A.152

ここでのあがり症とは、大勢の人の前で話す経験がないゆえ、言葉や考えが口から出てこなくなってしまうからである。あがり症の人がそのような状況に立たされた時は、話す前に、目の前にいる人たちも自分と同じ状況にあり、彼らができることは自分にもできないはずがないと心に念じればよい。これを心に1、2回念じて、怯んでしまう気持ちはまだ治まらないだろうが、念じることを止めてはならない。そうすれば、震える気持ちはやがて自然に収まってくるだろう。「毒が負けた、習慣になっていたので(困難なことも慣れてしまえばこなせるようになる)」と諺にあるように。

Q.153(016-04)

ある女性がグスルをした後で、陰部から再び何かが出てきた場合、再度沐浴をする必要はありますか。

A.153

男性も女性も、性交後は沐浴するよう命じられている。命じられた通り沐浴を行ったならば、義務は果たしたと言える。もしグスルの後にまた液などが陰部から出てきた場合、沐浴を再度やり直す必要はない。なぜなら、そのような指示は存在しないからである。明確に命じられていることは、夢精や精液、月経や出産時の血液を洗いながすことにくわえて、その女性が陰部や肛門の二か所から出てくるもののためにウドゥーを行うということだけである。これらは「小汚」と見なされる。小汚の状態にある者が身を清めるにはウドゥーを行う必要がある。

我々の見解としては、質問にあるような状況の女性(また男性)にとって沐浴は義務ではなく、ただウドゥーを行えばよい。この件に関する明確な説明は存在しないが、ハディースがひとつだけある。このスナナは純粹ではないが、タブラニが以下に伝承しているように、この状況の説明としてふさわしいものである。「ハキム・ビン・ウマルは伝えている。使徒ムハンマドはおっしゃった。『沐浴した後に誤って陰部から何かが出てきてしまった場合、その者はウドゥーをしなくてはならない』」

Q.154(016-05)

知識人たちは、この混沌とした状況にある我々民族と祖国をいつになったら率いることができますか。

A.154

それは各々の心情や憂慮する気持ちにかかっている。勉学によってではなく、各々の精神と心によって自覚は生じるのである。自分の民族が嘆かわしい状況にあるのを目の当たりにして初めて、自らの享楽や贅沢を全て犠牲にする覚悟ができるのである。「非道は自覚の基盤である」というマウラナ・アブドゥル・カラム・アズハドが語った言葉に間違いはない。我々は抑圧されない限り認識や自覚をすることはない。なぜなら、あらゆる欲望の原因となる目先の享楽や贅沢に皆我を失ってしまうからである。

Q.155(016-06)

一般人が州の有力者やサイイドの家系、あるいは宗教指導者などと握手する際に、彼らの手に口づけをしたら、法的にはどうなりますか。

A.155

これは単に慣習として行われているに過ぎない。我々だけでなく、西欧の人たちも、とりわけキリスト教の聖職者たちも握手する際、手に口づけをする習慣がある。しかし、これにはよくない影響がある。なぜなら、そのような敬意の表し方は度を越したものであり、また人間同士の優劣感情を生じさせるからである。アッラーの創造物である人間は皆平等であり、格差は存在しないのである。一部の人間の中には、握手する際持っていた香水をわざと手に塗り付け、まだ握手していない人の鼻先に自分の手を近づける者もいる。敬意の表し方にも限度があるということを覚えておかななくてはならない。

Q.156(016-07)

社会の発展と宗教の発展、どちらがより重要ですか。

A.156

もしあなたが宗教(イスラム教)を重視すれば、あなたは社会にも責任を持つことになるだろう。なぜなら、イスラム教とは、個人や家庭など日々の生活全般を網羅する宗教だからである。イスラムの教えでは、各人はまず自らに対して責任を持ち、次に妻や家族に対して責任を持つ。続いて自分の村落社会に、そして初めて一般社会に対し責任を持つのである。よって、もし社会に属する個人個人が完璧でなかったとしたら、あ

なたを取り巻く環境で生じた各々の責任は、あなたがアッラーに対して負うことになる。それこそが社会というものだ。したがってあなたにとって一番重要なのは宗教である。なぜなら、信仰においてあなた自身が社会に対して義務を負っており、それはイスラム教徒にとって無視できない義務だからである。

Q.157(016-08)

ここマレー半島はマレー人のもので権利を持っており、イスラムを宗教とする国で、非イスラム政府の保護下にあります。ある集団が混合した一つの民族のもとでマラヤの政治、社会、経済的な権利を平等化しようとした場合、それは(イスラム法からみて)合法ですか。

A.157

イスラム法にしたがえば、民族をつくることは禁じられている。預言者ムハンマドは次のようにおっしゃった。

「人々に部族意識を煽る者は我が共同体の一員ではない」(アブー・ダウードによる伝承)

ムスリムによって伝承された真正ハディースにも次のように記されている。

「部族意識を煽り、またはそれを支持して無分別な集団の下で戦って殺された者は、ジャーヒリーヤ[イスラム以前の無明時代]の死に方をしたのである」

これら二つのハディースから分かるように、マラヤにおいて混合した民族をつくることは禁止である。なぜなら、イスラムの教えでは、非イスラム教徒に対して敬意を示しつつ、同じイスラム教徒同士の団結や兄弟関係を築くべきとされているからである。したがって、そうした集団をつくるというそのやり方は明らかに宗教により禁じられている(より詳しくは『カラム』第15号の「イスラム、政治、民族主義」を読んで頂きたい)。

Q.158(016-09)

今我々は何をすべきでしょうか。独立のための知識の追求か、あるいは敬虔な善行を実践するための知識の追求でしょうか。

A.158

敬虔な善行とは、一部の人間が思っているような、単にイバーダートを行い、昼夜アッラーへの称赞文句を座って唱えることだけを言うのではない。敬虔な善行とは、アッラーの命令や使徒ムハンマドのスンナを忠実に守り、罪深きことや禁止事項をあまねく避けることを言う。善行の中には、イスラム教徒たちをまとめ、

指導する責任も含まれる。もしあなたが敬虔な善行を追求し、それを実践したなら、あなた自身は独立することができる。あなたが母親のお腹から自由に生まれ出たのと同じように、誰かに支配されることはなく、ただアッラーの命令に服従するのみである。あなたの行うべき敬虔な善行とはこのようなものである。

Q.159(016-10)

結婚していたとしても、自分の妻の肌に触れるとウドゥーが無効になるのはなぜですか。

A.159

シャーフィイー学派の判断では、妻に触れたら礼拝前のお浄めは無効となる。しかし、一部のウラマーは以下のシティー・アーイシャに伝承された使徒ムハンマドのハディースを根拠として無効ではないとしている。「シティー・アーイシャは伝えている。『預言者ムハンマドは妻に口づけした後で礼拝をされましたが、再度ウドゥーをなさりませんでした』」(アブー・ダウードによる伝承)

このハディースは弱いかもしれないが、ハディースを研究するウラマーが言うには、このようなシティー・アーイシャの伝承がいくつかあるため、その弱さは解消できるという。ハフィーズ・ビン・ハジャールが言うには、そうした上流階級のハディースの伝承は10種類あるという。

ハディースの伝承をもう一つ挙げる。

「アーイシャは次のように伝えている。『私はある夜、神の御使いが寝床からいなくなっていることに気づきました。そこで手探りで御使いを捜したところ、私の手が彼の足の裏に触れました。その時彼は平伏礼の最中で、二つの足の裏は直立していました』」(ムスリムの伝承による真正ハディース)

このハディースの内容と同じようなハディースは他にもいくつかある。

この問題には意見の対立があるが、我々の意見としては、夫婦同士が触れてしまってもウドゥーは無効ではない。

■第17号 [Qalam 1951.12: 39-41]

Q.160(017-01)

私には12人近く子供がいます。これ以上増えない方法を模索するつもりです。「産児制限」または「家族計画」の勧めや知識に従うことはできますか。

A.160

この質問に答える前に、まずは産児制限あるいは家族計画の目的について考えたい。我々が目にした報道によると、行政がこの計画を奨励する一番の意図は次の通りである。すなわち、特にここシンガポールのような大都市では、人口はどんどん増加しており、人口増加に伴い、より広大で快適な土地が必要となり、また食料の供給量も増やす必要がある。このため、いくつかの宗教による強い反対がない限り、人びとにこの目的を実行させるための法律が制定されることになるに違いない。もう一つの目的は、子供の人数が多いと当然子供の教育に対する親の負担は大きくなり、もしその子供らが教育を受けることができなければ、将来社会の役に立つ人間として成長するができないということに関心をひくことである。それゆえ、行政の意見としては子供は少ない方がよく、完全な教育を施すには夫婦一組につき子供二人が望ましいとしている。

宗教関係者らの意見によれば、子供はアッラーからの授かり物で、人間が創造できるものではない。時折、どうしても子供が欲しくてたまらない人が、子供欲しさにあれやこれやの呪術医に助けを乞うといった多神教的行為に及んでしまうことがある。一方、毎年一人ずつ子供が生まれ、しまいには子供が数十人に膨れ上がり、育てるのが大変でうんざりしている人たちもいる。それゆえ、イスラム教関係者の間で二つの見解が生じた。一つ目は、信徒の数が増えるという意見、二つ目は、無益なうわべだけのイスラム教徒ならば、その数を増やすメリットはないという意見である。

一つ目の見解では、子供は全能の神アッラーの授かり物であるとする。お恵みを与えて下さり、子供を見守って下さるのはアッラーであり、両親は単なる仲介人として子供の利益のために力を尽くす存在とする。

二つ目の見解では、全ての物事を与えて下さるのはアッラーであるが、そのために尽力する役目を担うのは父母であり、よって抑制しなければならないとする。つまり、この後者の問題は、まだ胎児が完全な形になる前の状態、すなわち女性の子宮にダメージを与えない状態であれば、産児制限を行うことを認めていることである。しかし、このような行為はアッラーの決定を拒絶するものであり、お恵みを人間に与えて下さるアッラー（至高なる讃えられるべきお方）の意思をあたかも信じないかのような行為だとして異議が唱えられている。

我々の見解では、産児制限のやり方は宗教上禁止

されていることに疑いの余地はない。もし産児制限をしたいならば、アラブの国に住むベドウィンの人々が行っているような、子供が2歳になるまでは妻と交わらないとするなど、妻に対する思いやりを持てば良いのである。この方法で欲望や性欲をコントロールし、アッラーの創造物を壊すことのないようにすべきである。

Q.161 (017-02)

「チナ・ブタ」の言葉の由来は何ですか。また、そのような呼称は使徒ムハンマドの時代から存在していたか。

A.161

「チナ・ブタ」という言葉の由来は不明だが、それは「ムハリル」というアラビア語の意味からきている。おそらくこれは、改宗した華人が、イスラム法に関する理解がないゆえに進んで結婚を弄ぶ道具にされてしまうことを喩えた言葉だろう。この言葉は使徒ムハンマドの時代には存在しなかった。

Q.162 (017-03)

SEA銀行に預金をし、1リンギットにつき年3パーセントの金利を得ることは許されますか、許されませんか。

A.162

禁止である。利子を得ることは宗教で禁止されている。

Q.163 (017-04)

イスラム教徒に育てられた華人の子供が3歳に満たずして死亡した場合、イスラム教徒の墓地に埋葬することはできますか。

A.163

その子供はイスラム式に埋葬し、管理してもよい。使徒ムハンマドは次のようにおっしゃった。

「子供はそれぞれ本然の姿をもって生まれてくる。その両親が子供をユダヤ教徒やゾロアスター教徒にしてしまうのである」(アルタブラニとバイハキの伝承による真正ハディース)。

このハディースが言わんとしていることは、ムスリムであろうと異教徒であろうと、子供は各々フイトラ、すなわち神聖で汚れない状態で生まれてくるが、両親が誤った方向へと導くということである。両親は子供が成人になるまで彼らをユダヤ教、キリスト教あるいはゾロアスター教の信者にすることはできない。イスラム教徒に引き取られた子供は、イスラム教徒か

ら生まれた、イスラム教徒の子供という扱いになる。

預言者ムハンマドの時代には、アリー、イブン・ザイド、ザイド・ビン・ハリサなど、成人前にイスラム教に帰依した異教徒の子供がたくさんいた。また、間違いがなければ、イスラム教徒に引き取られた、あるいは育てられた異教徒の子供が成人前に死亡してイスラム式に埋葬された事例はなかったが、上記のような人が預言者とともにあって成人前に死亡した場合、異教徒により埋葬されるか、イスラム教徒の墓地に埋葬することが許されないか、使徒ムハンマドの判断に委ねただろうか。

預言者の時代、イスラム教徒に育てられた異教徒の子供が死んだら異教徒に管理と埋葬を任せるだろうか。我々はそういった事実を聞いたことがない。したがって、その子供はイスラム式に管理されるべきだと考える。

Q.164 (017-05)

イスラム教徒がヨーロッパ人の靴を磨いて生計を立てることとどうなりますか。

A.164

それは認められている。許された手段、すなわち体力と努力による仕事で生計を立てるのはむしろ尊敬すべきである。宗教上卑しいとされることは、窃盗、詐欺、虐待そして人の権利の剥奪である。

Q.165 (017-06)

もし病気に罹った時、聖者廟、神木や蟻塚に願掛けすることは許されるでしょうか。

A.165

死者や神木、あるいは蟻塚はなにもすることができないものであり、そのような願掛けは全く無意味な行為であるどころか、多神崇拝につながる信仰となるので、避けなければならない。教友らの時代の祈誓について耳にしたことがあるが、それは断食やサダカなどの際に直接アッラーに助けを乞うものであった。なぜなら、神の創造物と神の間を媒介するものは何一つ存在しないからである。

Q.166 (017-07)

初めての妊娠をした女性が、「マンディ・ティアン (mandi tian: 妊娠の沐浴)」を行うのは何故ですか。また、もしそれを行わなかったらどのような結果になりますか。

A.166

マンディ・ティアンとは、初産の時に行う沐浴である。それは慣習として行われているもので、夫婦と一緒にビンロウ樹の花のつぼみを浮かべて沐浴し、髪を洗う。イブン・ザヒルによると、その沐浴はヒンドゥー教から取り入れたものである。イスラム教にはそのような教えはなく、その沐浴を行わなかったとしても、何か悪い結果が起こるわけではない。それどころか、こうした行為の最中によく近親でない男女のふざけ合いや緊密な交遊が生じるが、それは宗教上の禁止事項に触れる結果をもたらす恐れがある。

Q.167(017-08)

回転しているのは地球ですか、それとも太陽あるいは月ですか。ウラマーの見解に従って、明確な解説をして頂けますか。

A.167

アッラーは次のような啓示をされている。

「汝らは山を見る。それを見て汝らは堅固に静止していると思うだろうが、雲のように流れている。それはすなわち万事をまっとうし給うた神の御業である」(コーラン「蟻」の章第88節)¹²⁾。

アッラーの啓示をもう一節挙げる。

「太陽は神が定めた軌道を回る」(コーラン「ヤー・スィーン」の章第38節)¹³⁾。さらにもう一節挙げる。

「月は我々が定めた軌道を回る」(コーラン「ヤー・スィーン」の章第39節)¹⁴⁾。

一番目のコーランの節から、地球は動いて(回って)いることが分かる。なぜなら、山は地面から離れて動くことはないで、山が動くということは(山が位置し)土台になっている地球と共に動いていることを意味する。二番目の節からは、太陽もまた動いて、もしくは回っていることが分かり、また三番目の節から月もまた回っていることが分かる。

天文学者の見解に照らし、我々はこうした節の内容を支持する。望遠鏡での観測や計算によって天文学者が導きだした説によると、月は地球の周りを公転し、

12)「押しても突いても動かぬように見えるあの山々が、なんとみるうちに飛雲のように目の前を流れて行く。これもみなかつて万物を見事に作りなし給うたアッラーの御業」(井筒俊彦訳『コーラン』(中)第27章「蟻」第90(88)節)。

13)「次に太陽。これは自分の宿まで走って行く」(井筒俊彦訳『コーラン』(下)第36章「ヤー・スィーン」第38節)。

14)「次に月。これは我々が順序よく天宮にふり当ててやったので、(全部一廻りすると)年経た椰子の枝のようになって帰ってくる」(井筒俊彦訳『コーラン』(下)第36章「ヤー・スィーン」第39節)。

その地球もまた太陽の周りを公転している。この前の説では、地球は公転していて、太陽は静止しているとする。この従来の説を元に、太陽も回っているとするコーランの節を否定する人もいるだろう。しかし、太陽の周りを公転する地球やその他の惑星と共に、太陽は銀河の中を回っているという新説がある。その他の事象についてはまだ判明していない。これで質問された方も状況についてははっきりと理解できたことだろう。

■第18号 [Qalam 1952.1: 35-38]

Q.168(018-01)

至高なるアッラーの恵みの世界に戻る前に、この世で若者が立てるべき功績は何ですか。

A.168

彼らが立てるべき功績とは、敬虔な善行である。敬虔な善行とは、礼拝、断食や喜捨などアッラーが啓示した命令をあまねく実行することだけではない。上記に加え、善行を積む仕事に従事し、現世についての公汎な知識の追究によってイスラムの地位と栄光を高めることである。全ての仕事はアッラーのためだけに行われるべきであり、誇示するためや名声を得たりするためではない。ただすべてを誠実に実行するだけである。

仕事を行う時には、何かを得ようとする、つまり何かの報いを期待するのではなく、ただアッラーのためだけに行い、仕事は果たすべき善行だと考えなくてはならない。名声や報いを得るために人助けをするのではなく、行うことができるならばそれは一つの義務であると心に留めなくてはならない。宗教で命令されている善行を一つ一つ積みなさい。アッラーの御心により、最も優れた善行を積んだ人間として報いて下さるだろう。このように、人を助けることは善行であるが、アッラーの教えに反した仕事に従事する人間の助けをしてはならない。それは神によって呪われる。

Q.169(018-02)

なぜ丘や山の麓の石は、波に打たれたかのようにゴツゴツしているのでしょうか。

A.169

石がゴツゴツしているのは、水が丘や山の上から麓に流れ落ちることで生じる。水は石のような固い物でも砕いてしまうという言葉は老人たちから聞いたことがないだろうか。

Q.170(018-03)

なぜマラヤには宗教教育の高等学校がないのでしょうか。

A.170

高等学校(イスラム・カレッジ)を設立する計画は既に進められていて、そのための寄付金も集められている。なぜなら、時代の状況に適したイスラムの高等学校を持つ必要性が感じられているからである。しかし残念なことに、この計画は進展しておらず、集まった寄付金はその目的を達成するためにはあまりにも不十分である。

宗教の高等教育を行う一方、より関心を向けるべき重要なことがある。マラヤ全土の宗教局が宗教教育の方法を統一し、同一化、整備を行うことである。現在地方で教育方法自体が各学校によってばらばらで、さらに各州の間においても統一が取れていない。これを統一することが不可欠であり、そこから各州により高い段階として高等学校が設置されるだろう。この目的を達成するには、高等学校の設立よりも重要なことがある。それは、普通学校の教師が同一の教育知識を持てるよう、師範教育を実施することである。現在一部の場所ではそのようなになっていない。教育の専門ではない人間が審査しただけで、宗教局は簡単に教師の資格を与えている。

Q.171(018-04)

アリーの息子たちにあたるムハンマド・アリ・ハナフィー、ハサン、フサインの中で誰が一番年上ですか。

A.171

一番年長なのはハサンで次にフサイン、その次にムハンマド・アリ・ハナフィーである。「ムハンマド・ハナフィ」と呼ばれる理由は、母がハニーファ族出身だからである。

Q.172(018-05)

バトミントン、ホッケー、フットボールの競技は禁止ですか。

A.172

それらの競技は禁止ではない。それらは運動のひとつである。禁止なのは、そういった競技の中でアウラを露出すること、また男女の交際である。

Q.173(018-06)

女性がエッダの間に二番目の夫とつき合うと法的に

はどうなりますか。

A.173

アッラーは次のような啓示をされている。

「離婚された女は、そのまま3回月経を見るまで(独身のままで)待たなければならない」¹⁵⁾(コーラン「牝牛」の章第227節)。

このコーランの節及びさらにいくつかのハディースから明らかなことは、夫から離婚された妻は3回の月経の後でなければ再婚してはならず、月経がこなかったとしても3ヶ月と10日、つまり月経期間に相当する日数を待たなければならない。イッダが終了する前に男性と交際したら、それは姦通罪にあたる。学者によると、3回の月経期間をおく理由は、前夫の子供の種を体内に宿していないと確証するためであり、もしその前に子供ができたならば、誰の子供を妊娠したか断定できるのである。

Q.174(018-07)

宗教学校の教師などイスラム教に関する役職につき、イスラム教に関する利益を得ると法的にはどうなりますか。

A.174

それは認められている。彼らは天使ではないのだから飲食が必要であり、その活動から利益を得られなければ仕事を続けることができない。その活動から利潤を得ても、とりわけ貧者や困窮者などといった特定の人々の権利である生徒からのフィトラやザカート・ハルタを遠慮なく受け取りながら裕福で稲田を数多く所有している教師やルバイ[モスクの職員]とは違って、人々の権利を奪うことにはならない。そのような行為は上記の人びとの権利を奪うことになる。それは禁じられているが、学校の教師が生活のために教育を行い、給与を得るぶんには違反していない。

Q.175(018-08)

村落に住むマレー人の多くは宗教の教えを知りません。そういった彼らが屠殺した肉を食べることはできますか(ハラルですか)。

A.175

屠殺の条件は、アッラーの名のもとに鋭利な刃物で喉元の筋を切り落とすことである。この方法に従えば、その肉はハラルである。

15)「さて離婚された女の方では、三回だけ月経を見るまでは独身のままで待たねばならぬ」(井筒俊彦訳『コーラン』(上) 第2章「牝牛」第228節)。

Q.176(018-09)

妻がモダン・ジョゲット[ボルトガル起源の軽快なリズムのマレー舞踊。男女で踊る]を踊り、夫がチケットを売ったら法的にはどうなりますか。

A.176

周知の通り、一般的にジョゲットは教えに対する背信行為と見なされ禁じられている。妻は背信行為を行っているが、夫については妻の禁止行為を見過ごす責任を除けば、法的にはあいまいである。

Q.177(018-10)

ハラルな鳥を射ち落とし、屠殺前に死んでしまった場合、法的にはどうなりますか。

A.177

使徒ムハンマドは次のようにおっしゃった。

「あなたがミアラード(矢のような狩りの道具)を投げて、それが獲物に突き刺さったなら、それを食してもよい。もし突き刺さなかった場合は、それを食してはならない」(ブハーリーとムスリムの伝承による真正ハディース)

このハディースの意味は、動物を狩る時に投げたミアラードの先端が動物に命中したなら、それを食べることが許される。しかし、まずミアラードの本体が当たって倒れ、その後獲物が死んだなら、それを食べることは違法である(ミアラードとは、先端が尖り、真ん中が太くなっている、杖のような棒のことである。物に向かって投げれば、多くの場合先端が命中する)。

使徒ムハンマドは次のようにもおっしゃった。

「『アッラーの御名において』と唱えながら狩り道具を投げて獲物を倒すことができたなら、それを食べてもよい。もし倒すことができなければ、それを食してはならない。そして、ミアラードを投げて倒した獲物は、屠殺しない限りこれを食してはならない。また、固い石を投げて倒した獲物は、屠殺しない限りこれを食してはならない」(アーマッドの伝承によるハディース)

この二つのハディースから、以下のことが分かる。それは、いかなる狩猟道具であろうと、自分の道具で射止めて死んだのであれば、ハラルの動物を食すことは許される。また、先端が尖った道具を使った場合、その先端で獲物を倒すことができなければ、死んでしまう前にこれを屠殺できない限り食してはならない。

弾丸を撃って倒した獲物を食すことはハラルと言える。これは上記のハディースから教訓を得た学者の判断である。その根拠は、弾丸は先端が鋭利な武器で、

その先端で獲物を倒し、血を抜くことができるからである。

Q.178(018-11)

なぜ月食・日食は毎月起こらないのでしょうか。

A.178

常識では、太陽と月と公転が会った時に「食」は起こる。しかし、月・地球の公転周期はそれぞれ異なるため、たまたま重なった時を除き、毎月起こることはない。「食」がいつ起こるかは、学者の計算によって予測ができる。

Q.179(018-12)

東西の対立のなかで、250万人いる我が民族はどのような立ち位置に在るべきでしょうか。

A.179

この質問はあまり明確ではない。何の対立について聞いているのだろうか。しかし、我々が現在直面している東西の交流と習慣における対立を意味していると解釈できる。我々の考えでは、イスラムの教えに従うことが安全かつ最善である。なぜなら、イスラム教によって政治的にも文化的にもこの世が救われることを、賢い人なら自覚できるからである。もし国家間の対立、すなわち西洋諸国の支配からの独立を要求する東洋の人たちについて質問が向けられているのなら、我々の置かれている状況からすると、風に従わざるを得ない。なぜなら、自分たちの上に立つ人間は誰かを知っているからである。要するに、様々な状況下で今我々が置かれている立場は、彼らの間で対立が起こった場合、次の諺にあるような状態にある。「象と象が喧嘩すれば、真ん中にいる子鹿は死んでしまう」。我々がいるのはまさに真ん中である。団結していないと、我々は単なる道具となってしまうだろう。

Q.180(018-13)

結婚式でよく行われているブルサンディン[新郎新婦が台座に並んで座り、お披露目する]は、法的にはどうなりますか。

A.180

本誌の「女性の権利と自由」のコラムの中で、近親ではない男女同士の交遊に関する法について何度も取り上げている。比べてみると、これは確実に禁止事項に触れるものである。ブルサンディンのように深く根付いた慣習のなかには、しばしばヒンドゥーの慣習を模

範としたものがあり、それらはイスラムの教えには存在しない。

Q.181 (018-14)

結婚前に名誉を傷つけたり[処女を喪失したり]、妊娠したりするイギリス人の娘や西欧の都市部にいる新婦がいるとすれば、その数はどれ位いますか。その原因はなんですか。

A.181

結婚前に名誉を傷つけたり、妊娠したりする娘や新婦の数は、記録がないため断定できない。そのような事態の要因は、他でもなく男女の交際の自由にある。イスラムの教えではそのような男女交際は禁止されており、近親者が同伴しない限り、近親でない男女が会うことは禁止されている。なぜなら、中傷を引き起こす恐れがあるからだ。互いに惹かれ合った男女の否定することのできない自然な欲望から中傷が起り、そのようなことを引き起こす。こうした交際が日を増すごとに危険になり、大事にしていない彼らの名誉を傷つけてしまっても驚くべきことではない。

Q.182 (018-15)

ザカートを紙幣で払うことは末代にいたるまで義務ですか。

A.182

紙幣は金貨の代わりであり、各紙幣は額面にしるされている金銀の価値に等しいと保証している。

■第19号 [Qalam 1952.2: 30-32]

Q.183 (019-01)

宗教を軽視したがるイスラム教徒のマレー民族の指導者は、法的にはどうなりますか。

A.183

とりわけ宗教を無視したり軽視したりする者は、誰であれ宗教の法に違反することになり、その人物は背教者に数えられる。

Q.184 (019-02)

イスラム教に入信した実の兄弟たち全員に、イスラムの真の教えに従うよう促すにはどのような方法がありますか。

A.184

真のイスラムの教えとは、正常で聡明な人が受容できるような合理的かつ明瞭な説明を十分に備えてい

る教えである。最も重要なことは、明白な根拠をもとに、真のイスラムの導きや教え一つ一つを彼らに明確に理解させることである。それがうまくいかなかったとしたら、あなたの責任は放棄したことになり、それどころか彼らとの兄弟関係も絶たれることになる。なぜなら、預言者ノアは、自分の子供と一緒に箱舟に乗るまで世界が沈んでしまうことを待ってもらようアッラーに乞うたが、アッラーは「あれは汝の子供ではない」とおっしゃったではないか。あなたが責任を放棄し、兄弟関係を絶つ決断をする前に、宗教とは訓示であることを思い起こしながら、兄弟に対し明確かつ誠実に教え諭さなければならない。

Q.185 (019-03)

私は雇用労働者で、朝出勤し、午後に帰宅します。周知の通り雇われの身なので、礼拝ができないことが時々あります。仕事のせいで礼拝をする時間が取れないからです。

A.185

ここシンガポールという忙しい都市で雇用労働者として働いている人々が、礼拝の時間が取れない状況というのは皆同じである。しかし、忠実に義務を果たす人々は、どの時間帯の礼拝も余す事なく果たす。昼食をとるため外出した際も、食前あるいは食後だろうとズフルの礼拝を行い、退勤後にアサールの礼拝[物の影が本体と同じ長さになった時から日没までに行う礼拝]をする。礼拝は必ずしもモスクで行う必要はなく、職場でもどこでも行うことに問題はない。また、非イスラム教徒の雇い主は、普通相手の宗教に対する信心深さを尊重する。この質問に関しては、その人自身が置かれている状況にもよるだろうが、たとえ時間的余裕がなかったとしても礼拝は5分とかかからないのだから、時間を作ることができるはずである。

Q.186 (019-04)

芝居を上演し、その芝居の料金を徴収したら、法的にはどうなりますか。

A.186

芝居自体は禁止ではない。禁止なのは、よく芝居の中で見受けられるように、芝居のなかで信仰を持つ者たちがいつも男女で交わり、また女性が男装をし、男性が女装をし、それを大勢の観客に見られることである。使徒ムハンマドは次のようにおっしゃった。

「アッラーと来世を信じる者(男)は誰であれ、近親者

が同伴していない女と二人きりになってはならない。そこには3人目として悪魔がくる」(アーマッドの伝承による真正ハディース)

アッラーは次のような啓示をされている。
「男の信者に(女性から)目を伏せて陰部を守るように言ってやりなさい。女の信者にも言ってやりなさい。(男性から)目を伏せて陰部を守り、露出している部分の他は、体を見せてはならないと」¹⁶⁾。

これに関する文言は他にもいくつかあり、芝居の状況を見ると次のことが言える。芝居では美しい女性を目にしまうことは避けられず、演じている信者たちは近親者ではない。よって、コーランやハディースに明記された禁止事項に抵触することになる。そこから得た金は、反逆によって得た収入、すなわち禁止された行為によって得た収入である。

Q.187(019-05)

マレー語の書き言葉として雑誌や新聞の中で使われるジャウィ文字の綴り方が統一されていないのはなぜですか。

A.187

昔のマレー語の書き言葉の綴りは大抵同じだった。なぜなら、書く時に符号として線を付していたからである。しかし、その後現在のような方法に変化し、人々が各々符号の文字を足すようになったが、それらはまちまちであった。綴りを統一できないもう一つの大きな要因は、ここマレー半島において綴りの教え方が統一されておらず、学ぶ人たちにそれが広がったからである。綴り方の本を出版する学者らもいたが、そうした人びとの精を込めた仕事は関心を持たれなかった。

Q.188(019-06)

(事前に示し合わせて) 人々がフィトラを互いに施し合うことは合法ですか。

A.188

友人にフィトラを払い、その友人が今度は自分に払う、ということは往々にして起こることだと言われている。彼らはザカートの受け取りが許される人々ではな

い。コーランの「改悛」の章第60節¹⁷⁾に、神が定めたザカートを受け取ることが許される人々について記されている。それは、1)貧者、2)困窮者、3)喜捨を徴収して管理する者、4)改宗者、5)奴隷(解放のための身代金など)、6)負債者、7)アッラーの道に奉仕する者、8)旅行者である。

イブン・マージャの伝承によるハディースや、その他数多くのハディースの中で使徒ムハンマドは貧困者にザカートを最優先で与えると記されており、したがって、もしフィトラを受け取る人が上記の分類に含まれていないならば、そのザカートは違法である。加えて、人がフィトラを施す際に、受取手が与え手に施し返すことを約束する行為は当然違法であり、それはイスラムの教えを弄ぶ行為と見なすことができる。

Q.189(019-07)

スランゴール州のマス・カウイン[mas kahwin:結婚に際して、新郎が新婦に支払う婚資]の慣習では、初婚の花嫁に対しては44ドルで、未亡人に対しては22ドルですが、これは他の州でも同じですか。

A.189

婚資金に決まったレートがあるわけではない。使徒ムハンマドは、婚資金の代わりとして妻にコーランを教えるよう命じたことがあった。婚資金について、額を定める文言はない。よって、他の場所では事情が異なると思われる。

Q.190(019-08)

近頃は銃で鳥を撃つ人がとても多すぎるようですが、銃で撃ち落とした鳥がまだ生きている(羽をばたつかせている)うちに屠殺できた場合、それを食したら法的にはどうなりますか。

A.190

もし銃で撃ち落とした鳥がハラルの動物で、まだ生きている内に屠殺できたら、食してもよい。ウラマーらは次のような判断をしている。銃で鳥を射ち落とすことは、鋭利な武器で倒したと見なされ、「アッラーの御名において」と唱えながら撃ったならば、撃ち落とした鳥を食すことは許される。なぜなら、それは狩りの獲物と同じだからだ。

16)「お前(マホメット)男の信仰者たちに言うておやり、慎みぶかく目を下げて(女をじろじろ眺めない)、陰部は大事に守って置くよう(不倫な関係に使わぬよう)、と。[中略]それから女の信仰者にも言うておやり、慎みぶかく目を下げて、陰部は大事に守っておき、外部に出ている部分はしかたがないが、そのほかの美しいところは人に見せぬよう」(井筒俊彦訳『コーラン』(中)第24章「光り」第20節、第21節)。

17)「(集まった)喜捨の用途は、まず貧者に困窮者、それを徴収して廻る人、心を強調させた人、奴隷の身受け、負債で困っている人、それにアッラーの道(回教の伝播活動)、旅人、これだけに限る」(井筒俊彦訳『コーラン』(上)第9章「改悛」第60節)。

Q.191 (019-09)

コーランの中には「ミッラ」と「ディーン」のふたつの言葉が出てきますが、その違いは何ですか。

A.191

「ミッラ」と「ディーン」は両方とも「宗教」を意味する言葉である。しかし、わずかな違いがある。「ディーン（アル＝ディーン）」の方はより広い意味を持ち、慣習、法、道、統治、信心深さ、報いなどの意味がある。

Q.192 (019-10)

「あたかも永遠に生きるかの如くこの世は存在し、あたかも明日死ぬかの如く来世はやってくる」というハディースの意味は何ですか。

A.192

このハディースの意味と目的は以下の通りである。イスラムの教えでは信者に死ぬよう命じること是一切ないことは明白である。イスラムの教えは各々の信者に、一切手を抜いたり怠ることなく必死に現世の幸福を追求するよう命じている。なぜなら、現世での位の高さや収入は来世にも幸福をもたらすことになるからである。まるでゴールを目指すランニングのようである。最後の場所へと至るために、その道程で利益を追求しなければならない。すなわち、アッラーが創造したこの世界で、アッラーが与えし富を追求するために一生懸命働き、努力するのである。そしてその富によって同胞に善行を施し、来世の蓄えのために、来世まで恩恵が与えられる善行を手広く施さなければならない。それは来世においても永遠に救いをもたらす善行ある。アッラーから恵みを受け取ったら、明日にも死ぬかもしれぬことを自覚し、それによってアッラーを畏れなければならない。現世における努力によって得た収入は皆、単なる借り物に過ぎず、もし善行を施せば、その人物に利益がもたらされ、もし悪い行いをすれば、その人物に破壊がもたらされる。アッラーを除いては人間がいつ死ぬかは誰も知る由がない。ゆえに人はアッラーの僕となり、命令に忠実に従い、進んで善行を誠実に積んで恩恵を願うのである。なぜなら、死は今にも、あるいは明日にでも訪れる。いつか死ぬかは誰にも分からない。

Q.193 (019-11)

預言者のハディースでは、終末に預言者イエスが降臨するとされていますが、その後どうなるのでしょうか。コーランには、預言者ムハンマドが最後の預言者であ

り、その後に続く預言者または使徒は誰もいないと記されているからです。

A.193

彼の預言者や使徒としての地位は変わらないが、その時彼は自身の宗教をもたらすのではなく、単にイスラム教に帰依するだけである。聖なるコーランに記されているように、預言者ムハンマドの後に続く預言者や使徒は存在しない。これまでに、新しい宗教をもたらしたのは預言者や使徒らであるが、その高い位はアッラーによって任命された。

時折耳にするように、預言者ムハンマドの時代後に預言者を自認する者が現れる。彼らは皆サタンによって任命された者たちである。なぜなら、彼らは悪魔と同族だからである。

■第20号 [Qalam 1952.3: 39-40]

Q.194 (020-01)

異教徒の霊の冥福を祈ることは法的にどうなりますか。

A.194

アッラーは次のように啓示された。

「彼らのうち誰が死のうと、決して祈ってやってはならない。またその墓に付んではならない。なぜなら、異教徒はアッラーと使徒に背き、不信者として死んだのだから」(コーラン「改悛」の章第84節)¹⁸⁾。

この節から、上記のことは禁止に他ならないことが分かる。

Q.195 (020-02)

なぜ礼拝の捧げ方は、直立して、両手を膝に置き、前かがみの姿勢になり、そして座ってひれ伏すのですか。

A.195

そのような礼拝を捧げる動作は、天使ガブリエルが使徒ムハンマドに教えられた方法である。それはひとつのイバーダートであり、教えられたものから追加したり減じたりしてはならない。これに関していくつかの見解がある。こうした動作はアッラーがこの世界で創造し給うた人間の自然の姿に則った方法である。そして人間は完璧であるゆえ、礼拝を捧げる動作はその完璧さに従って行わなければならない、というものである。しかし、これはひとつの意見に過ぎない。礼拝の捧げ方を変更したり疑問を呈したりすることなく、使徒ム

18)「また、あの者どもの誰が死のうと、決してその冥福を祈ったりしてはならぬ。その者の墓に足を止めてもならぬ。彼らはアッラーと使徒に背き、不信心者として死んだのだから」(井筒俊彦訳『コーラン』(上)第9章「改悛」第85節)。

ハンマドが教わった通りに行わなければならない。このようなことは他の世俗に関する事柄と一致しない。

Q.196 (020-03)

なぜ我々マレー人は商売に対して意欲を持ってないのでしょうか。

A.196

大きな要因は、おそらく仕事を楽に行おうとするからである。彼らはあまり努力しようとせず、多くの人は自分の力と努力を信じようとしないし、意志が弱く自分の力に自信を持ってない。

Q.197 (020-04)

マレー人の女性がガウンを着たら法的にはどうなりますか。

A.197

イスラム教では着衣の種類や形に関する定めはない。しかし、イスラム教は時や場所に依拠して見せてもいい、あるいは隠すべきアウラを定めている。より詳しくは、『カラム』第10及び11号のコラム「女性の権利と自由」を読んで頂きたい。その中でより明確な回答を得られるだろう。

Q.198 (020-05)

ハラルの素材から作ったものとしても、酒がイスラム法で禁止されているのはなぜですか。

A.198

なぜ酒が禁止されているかという、酔いを引き起こし、それによって人は常識を失い、人間の性質を動物的に変えてしまうからである。人は抑えがきかなくなり、悪行に至るかもしれないと考えられる。それゆえ酒は全ての悪行の源と言われるのである。ハラルの材料から作られたとしてもその状態が変化するゆえ、禁止となるのである。

Q.199 (020-06)

金曜日にモスクで安息香やそれに似たようなものを焚くことは、使徒ムハンマドあるいは教友らの時代に行われていましたか。

A.199

我々が知る限りそのようなことは行われたことがない。金曜日に命じられていることは、礼拝の義務を果たすために清潔な服装にし、例えば玉ねぎのような食すと身体が臭くなる物を食べないことである。悪臭

は、金曜の礼拝を共に行っている仲間やモスクに集まる人たちに不快感を与えるからである。

Q.200 (020-07)

“Yang Maha Mulia” (最も高貴な) という言葉よりもっと高貴さを表す言葉はありますか。

A.200

“Yang Maha Mulia” という言葉は、とても高貴な、あるいは最も高貴な、という意味であり、最上級の言葉で、それより高貴な人はいないことを意味する。ゆえに、他にもないアッラー (至高なる讃えられるべきお方) に対してのみ使われるべき言葉だとする意見もある。一方で、英語で “Highest Highness” に相当する、王に対して使われる言葉と捉える意見もある。我々の意見では、“Yang Maha Mulia” よりもっと高貴さを表す言葉はない。しかし、イスラムの教えからすると、信心深さの優劣を除き、アッラーの前では信者の中に「より高貴な人」は存在しない。

Q.201 (020-08)

「サイイド」一族とは、どのような出自の人々ですか。

A.201

一般的に知られるところでは、昔はサイイドとはアリー・ビン・アブ・タリブの子孫で、その内使徒ムハンマドの娘ファティマとの間にできた子供の子孫のことであった。この家系は、一般的には現在まで途絶えることなく続く直系の系譜を持ち、したがってアラブの国の地域では、サイディーナ・アリーの子であるアルハサンとアルフサインの子孫として知られている。しかしその後、元々の単語の意味に従って「主人」という意味として使われるようになった。このため、とりわけインドネシアにおいて論争が巻き起こった。預言者ムハンマドの子孫ではない人たちが名前のサイイドの称号を使い始めたことで、サイイドをひとつの家系を示す言葉として位置づけることができなくなったのである。しかし、アリー・ビン・アブ・タリブの子孫であろうと人々の間に差別はない。なぜなら、イスラムは同胞関係を基礎としており、その関係性は平等を原則としている。よって、出自による「カースト」(優劣) は存在しない。神の前では、信心深さの度合いで人の優位性は決まる。信心深さとは、現世であれ来世であれ、アッラーの道への奉仕を意味する。高貴な血統の出身だとしても、悪行をなし、背信行為を行えば、他の人たちと変わらない罰がくだされる。逆もま

た然りである。

Q.202 (020-09)

カディなどの証人が不在の状態、異教徒が二つの信仰告白の言葉を唱える「改宗する」ことはイスラム的に合法ですか。

A.202

合法である。あなたのところへひとりの異教徒がやって来てイスラム教に入信したいと言ってきたら、あなたはそれを知った時点ですぐさまその人物に二つの信仰告白の言葉を唱えるよう教えなければならない。それにより、その人物は直ちにあなたの同胞となり、あなたの保護のもとに入る。あなたの新しい同胞が真のイスラム教徒になるよう、その人物にイスラムの教えを授けることはあなたの義務である。

■第21号 [Qalam 1952.4: 15-18]

Q.203 (021-01)

礼拝などのアッラーの命令を実行しない人に対してサダカを施すことは法的にはどうなりますか。

A.203

イスラム教徒にとって望ましいサダカとは、貧しい人や困っている人たちに施すことである。それにより、困窮者の生活に余裕ができ、楽しく喜ばしい生活を送れるようになる。イバーダートを行おうとなかろうと、どのような一族に対しても分け隔てなく、必要としている人たちにサダカを施すようイスラム教は命じている。いくつかのコーランの節やハディースの中で、我々信徒がサダカを施し、寛大な心を持つよう奨励しているが、イバーダートを行わない人に対するサダカを禁止するような文言はひとつもない。それを受け取ることで彼らがアッラーの有り難さを理解し、最終的にはアッラーへの命令に従って残された勤めを果たすよう心を動かすことを期待してのことである。

明らかに我々の敵になると思われる異教徒に対してもサダカを施すことは許されている。これに関して次のような伝承がある。

「預言者の幾人かの教友らが質問した。『我々と同じ宗教を信じない者に対してもサダカを施すことは許されますか』その時、次のようなアッラーの啓示が降りた。『彼らを(正道に)導くことは汝(使徒)の責任ではない。だが、アッラーは御心にかなう者を導き給う。汝らが施す良きものは自分のためになる。汝らが施しするのは、アッラーのお喜びを願うからである。汝らが

施したものは、完全に報いられる。決して不当に扱われることはない』(コーラン「牝牛」の章第272節)」¹⁹⁾。

この節から分かるように、異教徒を導くことは我々の義務ではない。なぜなら、それは我々の仕事ではないからだ。アッラーはただ、異教徒にアッラーの命令と禁止を伝えるよう命じているだけである。人に施しを与えるのは、我々自身の報いのためである。アッラーからの報酬を得るため以外は、施しをしてはならない。そうすれば、やがてイスラムに改宗することを期待して異教徒に施すサダカであろうと、どんな施しに対してもアッラーは当たり前のように報いて下さるだろう。

こうしたことから、ウラマーらは次のような解釈をしている。異教徒に対するサダカは推奨されるサダカであり、ザカート・フィトラやザカート・ハルタのような義務的なサダカではない。しかし、このウラマーの解釈の根拠となる明白な宗教上の文言はない。その上、イマーム・ハナフィーはザカート・フィトラを異教徒に施してはならないとしている。しかし、異教徒に対するサダカを明確に禁じる定めはない。だからといって、異教徒に対するサダカの方がより重要というわけではない。それは全く違う。我々は以下のことを自覚しなければならない。我々は貧しく、あらゆる点において欠乏している状況にある。世界に誇れるような発展をしておらず、それはイスラムの遅れを示している。他の誰かが自分を助けてくれるわけではない。よって、他の誰よりもまず先に我々に対してサダカを施すべきである。

Q.204 (021-02)

インドネシアやエジプトなどのイスラム諸国では、外国から使節が訪れた時、たいいていウェルカムドリンクを提供します。その際、どのような飲み物が出されますか。また、イスラム教においては法的にはどうなりますか。

A.204

外国人であろうと、来賓をもてなすことが望ましい。イスラム教徒にとって訪問者に敬意を表すことは義

19)「何もお前(マホメット)がー々みんなの手を引いてやることはない。アッラーが御心の向いたものを自由に導いて行き給う。とにかく汝ら(一般の信徒に向い)大切なものをひとに恵んでやれば、結局は自分の身のためになる。アッラーの(嘉し給う)御顔が見たいばかりに施しをするのであってみれば。そして汝らが自分の大切なものをひとに恵んでやれば、それだけ充分にお返しが来る。決してひどい目にあうようなことになりはしない」(井筒俊彦訳『コーラン』(上) 第2章「牝牛」第274(272)節)。

務である。使徒ムハンマド自身もユダヤ人が訪問した際、座っていた場所から立ち上がり、彼らを歓迎した。現在におけるイスラム教にもとづく諸国とは、おそらくパキスタン、サウジアラビア、そしてイエメンである。我々の知る限り、パキスタンでは外国人をもてなす飲み物として酒を出すことはない。インドネシアとエジプトは、その住民のほとんどがイスラム教徒であるが、イスラム教に基づいた政治を行っているわけではない。そのため、なにかが起ったとしても、イスラム国家の位置づけとしてそれを判断することはできない。

Q.205 (021-03)

アリは、もし自分の子供の病気がよくなったら、聖母マリアの家に一皿のブルット・クニン[黄色く色付けた糯米]と一羽の鶏を供えるつもりでいると言っていました。例えばもしそれを行う前に子供の病気が突然治ったとしたら、そう彼が信じていたことは法的にはどうなりますか。

A.205

アッラーは次のような啓示をされている。

「人々の中には、アッラーをさしおいて色々な偶像などを神として崇め、まるでアッラーにでも対するかのような愛を注ぐ者がいる。しかし、本当の信仰をもつ人たちのアッラーに対する愛は、はるかに熱烈である」(コーラン「牝牛」の章第165節)²⁰⁾。

コーランを解釈する学者によると、偶像とは、全てを与えるアッラー以外に祈願の対象となる人や物のことである。上記の節によれば、アッラーを信仰する者が他の対象に願い事をして、その者は多神教徒と見なされることはない。しかし、アッラー以外のものに祈願し、それだけを信じる者は多神教徒とみなされる。イスラム教の教えによれば、多神教徒とは、全てを与えるアッラーをさしおいて、病気を予防したり、喜びや幸せを得られるよう他の対象、すなわち墓、教師、神秘的な場所などに助けを求めるもののことである。

Q.206 (021-04)

マラヤやインドネシアの映画スターは礼拝や断食などといった宗教の道を厳守していますか。

20)「それなのに或る人々はアッラーをさし置いていろいろな偶像などをかつぎ出し、まるでアッラーにでも対するような愛をそれに注ぐ。しかし本当の信仰をもつ人たちのアッラーに対する愛ははるかに烈しい」(井筒俊彦訳『コーラン』(上)第2章「牝牛」第160(165)節)。

A.206

我々が知る限り、大半の映画スターはそのような事柄を厳守していない。いたとしても、我々の知る限り100人に1人である。それどころか、役者たちの仕事は、とりわけ男女の交際に関するイスラム法の重要な部分に違反している。

Q.207 (021-05)

もし金曜の集団礼拝を行う際にモスクに集まった人数が、例えば12人など、40人あるいは41人に満たない場合、40人未満で金曜礼拝を行うことはできますか。金曜礼拝の義務を果たしていますか。

A.207

金曜礼拝は40人以上で行うことが義務であると判断しているのは、シャーフイー学派だけである。あるハディースには次のように記されている。

「カーアブは伝えている。マーリク・ビン・アナスは言った。預言者ムハンマドが来る前、我々の中で初めて金曜の集団礼拝を行ったのは、メディナのナキー・アル＝ハドマ(メディナ近郊の町)において礼拝を行ったサアド・ビン・ザララであった。そこで私は尋ねた。『その時の人数はどれくらいでしたか』彼は答えた。『男性4人です』」

これは、アブー・ダウードやバイハキなどによる真正なイスナード(伝承経路)によるハディースである。この他にも、イブン・マージャやイブン・ヒッバーンによって伝承されている。しかし、このハディースは純粹ではないとする意見もある。他の意見では、上記のハディースは礼拝に何人参加したかという質問に対して40人と回答しただけ、つまり単なる問答に過ぎず、説明ではないという。

もうひとつ、ウマル・イブン・アルハッターブがバーリーンの住民に対し、彼らがいるどこの場所でも金曜の集団礼拝を行ってもよいとする手紙を書いたという伝承がある。この考えでは、コーランやハディースの中に定まった指針がないため、40人に満たなかったとしても金曜の集団礼拝を行ってよいとされる。

Q.208 (021-06)

オーストラリアより大きな国では開催されていないにも関わらず、なぜオーストラリアでスカウト・ジャンボリー[ボーイスカウトのキャンプ大会]、ガールスカウトが行われているのでしょうか。

A.208

我々が知る限り、スカウト・ジャンボリーは一カ所だけで行われているわけではなく、スカウト組織の会長たちの合意の下に、いつも違う開催地で行われている。

Q.209 (021-07)

メッカは発展しておらず、人間が暮らすにはあまり快適な場所ではありません。インドやパキスタンなどといった他の国の方がより肥沃で、より繁栄し、より快適ですが、メッカにカーバ神殿を建立された神の英知とは何ですか。

A.209

我々の判断では、使徒ムハンマドによってもたらされた歴史を見ると、その国でイスラムの啓示が降りた理由は、そのような最低限の状況に置かれた人間が実行すべき法を築くためである。例えば水の問題について、もし我々の国のような土地で水に関する法が築かれたら、メッカのような乾燥した国々ではどうなるのだろうか。このため、水の法のすべてをみれば、それがいかに完璧にできているかがわかる。他のことについてもみてみればよい。我々の見解では、それこそまさにそこにカーバ神殿が建立された神の英知である。

Q.210 (021-08)

例えば、ある人物が亡くなると、その日は埋葬するまでコーランを読みズィクル[神の名を唱えることで神を賛美すること]をし、料理を作り、話をしながら夜を待ちます。これはは預言者ムハンマドや教友らの時代に行われましたか。

A.210

伝承をみる限り、預言者ムハンマドによって行われたことは無い。生きている者が死者のためにズィクルやコーランを読み上げたとしても、それは死者には届かず、これは全く無駄な行為である。使徒ムハンマドは次のようにおっしゃった。

「人間が死んだ時、その善行は次の三つを除いて、そこで中断される。その一つ目は、宗教上の施し、二つ目は人の役に立つ善行、三つ目は死者のために祈りを捧げる品行方正な子供である」(アブー・ダウードの伝承による真正ハディース)。

このハディースの意味は、死亡した者は上記三つ、すなわち他人の努力によってではなく、自分の努力によって生じたこと以外は善行を積むことができないということである。

アッラーは次のような啓示をされている。「人間は自分が努力したこと以外、報酬を得ることはできない」(コーラン「星」の章第39節)²¹⁾。

アッラーの啓示をもうひとつ挙げる。「終末の日、拷問を少しでも受ける人間はいない。汝の行ったことの他は、報いを受けることはない」(コーラン「ヤー・スィーン」の章第45節)²²⁾。

こうした文言からはっきりしていることは、自分が努力したこと以外で得ることはできないということである。そして、自分の罪を他人に償ってもらうことを可能と示す言及はない。使徒ムハンマドや教友らがこうした行為を行ったとする文言や伝承も存在しない。また、例えばコーランの「開端」の章を繰り返し読み上げることによって自分の罪が消える、あるいは他人に赦しをもたらすという宗教的文言はない。

子供が父親のためにコーランを勉強すること、また生きている者が死者のために喜捨を施すことを許すハディースは存在するが、このハディースは真正ではないと見なされている。なぜなら、上記の様にコーランで十分に明示されている内容に反するからである。

Q.211 (021-09)

コカ・コーラとペプシ・コーラにはアルコールあるいは人を酔わす材料が混ざっているという噂ですが、これは本当ですか。

A.211

これは、これらの飲料に何が含まれているかを特定する当局による検査を必要とする問題である。もしこの飲料水の生産者に質問したとしても、上記の質問内容が本当かどうかを判断するための十分な回答を得ることはできないだろう。

コカ・コーラやペプシ・コーラがとても人気なエジプトにおいても、この問題は物議をかもしているようである。なかにはこの二つの飲料が豚の成分や酔わす液体が混ざっていると言うものもあり、この二つを禁止するウラマーたちまで出てくるに至っている。こうした事情により、アズハル大学ファトワ評議会に次から次へと質問が寄せられた。それにより、アズハル大学は次のようなファトワを出した。

「(全宇宙の支配者アッラーに讃えあれ。そして預言者、

21)「人間はそれぞれ自分の努めた分だけが点になる」(井筒俊彦訳『コーラン』(下)第53章「星」第40(39)節)。

22)「『さ、今日こそは、誰一人不当な扱いされる心配はない。お前らの受けるのは全部自分のしてきたことの報い』」(井筒俊彦訳『コーラン』(下)第36章「ヤー・スィーン」第54節)。

その家族、そして教友らに平安あらんことを)

アズハル大学のファトワ委員会には、ペプシ・コーラとコカ・コーラに関する多くの質問が寄せられた。彼ら質問者が言うには、既にこれらを禁止するファトワも出ていると主張する。なぜなら、ペプシ・コーラには豚から抽出したエキ스가含まれており、一方コカ・コーラには人を酔わす成分が混ざっているからだという。

これらの飲料の原材料に関する「保健省当局」の調査結果、すなわち当局による製造工場の検査結果を吟味するまでは、同委員会はファトワを出さないという判断を下した。その後、委員長が保健省の調査結果を受け取ったが、その内容は次の通りであった。『製造工場を調査した当局がコカ・コーラとペプシ・コーラの液体を分析したところ、次の見解に至った。それは、これら二つの飲料は人を酔わす液体あるいはアルコール、または豚から抽出した「ペプシン」を含有しておらず、また、人々の健康を損なう材料も含まれていないということである』。

この結果から、これら二つの飲み物の中に禁止となる要因が含まれていないことが明らかとなった。禁止になる要因とは、人を酔わせ感覚を失わせる、不浄もしくは人びとの健康を損なうものである。検査の結果、二つの飲料からは上記の成分は見つからず、豚から抽出した不浄な含有物存在しなかった。ここから分かるように、イスラム法の判断によればそれらは禁止ではない。

「こうした解説を受けて、委員会はコカ・コーラとペプシ・コーラは禁止ではないと判断した(アッラーが最もご存知である)」(アルファトワ委員会委員長ムハンマド・アブドゥル・ファッタ・アルアナニ、エジプト、イスラム暦1370年12月21日/西暦1951年12月23日)。

上記の解説で質問者、そして読者が満足できたことと思う。

■第22号 [Qalam 1952.5: 29-32]

Q.212(022-01)

共産主義思想に従うイスラム教徒は宗教をもたないとは本当でしょうか。

A.212

周知の通り、共産主義の思想と行動は単に物質主義に基づいたものであり、それ以外の信仰を持たない。彼らの規則では個人の権利は認められないが、イスラム教はそれを認めている。イスラム教は神の存在を原則としているが、共産主義者は神の存在を信じない。彼らの考えによれば、神とは人間がつくったものに過ぎない。よって、共産主義の思想に真に従う者は、イスラ

ム教徒ではなく、神の存在を否定する思想を持つ背教者である。

Q.213(022-02)

女性が礼拝の際に白いトゥルコン[イスラム教徒の女性が礼拝するときに身体を覆う着衣]を着るのはなぜでしょうか。違う色のものを着ることはできますか。

A.213

許される。何色を着るかは関係なく、礼拝の際に求められるのは、定められたアウラを隠すことである。

Q.214(022-03)

ムスリムの男女に対し知識の追究を義務とするハディースの意図について説明して下さい。追究すべきものとは、現世に存在するあらゆるものに関する知識でしょうか。もしくは来世につながる知識でしょうか。ムスリムの男女は、現世に関する知識だけ追究すれば、義務を果たしたことになりますか。

A.214

使徒ムハンマドはおっしゃった。

「あたかも永遠に生きるかのように、現世における生活の知識を追究しなさい。そしてあたかも明日死ぬかのように、来世のための知識を追究しなさい」

ここで明らかなように、人々は現世と来世の知識を学ぶことが求められる。現世では、人間が神から与えられた喜びを享受するためである。来世の幸福のための蓄えとして、現世において常に働き、努力するのである。働くにあたっては、アッラーの命令に忠実に従わなければならない。すなわち、来世まで利益をもたらず善行を行い、喜んでサダカをするなど、来世での幸福につながる善行を誠実に実行しなければならない。しかし、もし単に現世の知識のみを追究したならば、将来における現世の利益を忘れたことになる。それゆえ、イスラムでは両者の追求が求められており、我々の見解では、現世の知識のみを追究し、来世の知識を一切追究しないなら義務を果たしたとは言えない。

現世の生活と来世の重要性を理解する例として、エジプトの組織であるムスリム同胞団は団員に対する規則を作った。ムスリム同胞団の団長故シェイク・ハサン・アルバンナは次のような考えを提案した。まずは村落に出入りし、村民と共に過ごし、寝起きを共にする。そして夜中に彼らと共に起き、タハジュート[夜の礼拝。1日5回の定められた礼拝には含まれない]の祈りを行う(同じ真夜中の静寂の中、自分の創造主に

近づくため)。その後、夜明けの礼拝を行い、コーランを読む。そして夜が完全に明けたら、彼ら自身の健康のために運動をする。その後は、アッラーの創造したこの世界で、宗教を守るために稼ぐことに励む。なぜなら、もし来世のためだけに働くのであれば宗教は減びるからである。同様に、現世のためだけに働いたとしたら宗教は取り残される。それは、神の喜びを得ることを期待しながら現世の生活の中で、与えられた栄光に対し、神に感謝する時間が全くないことを意味するからである。

知識をもってそこへ向かわなければ、そのすべてを得ることができないし、完全なものにならない。

Q.215(022-04)

しばしば若い男性同士で陰部をもてあそぶ行為が見受けられますが、これは女性との姦通行為と同様の状況であり、性欲の解消を目的とした行為と言えます。よって、彼らのこうした行為は姦通罪と同様の法が適用されるでしょうか。

A.215

聖なるコーランの中でアッラーが啓示された歴史の伝承を注意深く読めば、それはアッラーによって呪われる行為であることが分かるだろう。また、男女間の姦通よりも邪悪で恥すべき行為である。預言者ロトの時代、使徒の信者たちが男性同士、女性同士がそのような行為を行っていた。それを呪ったアッラーは、彼らに大災難をもたらし、街ごと沈めるに至った。アッラーのこうした報復措置を見れば、そのような行為は激しく呪われ、厳しく禁じられていることが分かる。こうした行為は絶対に避けなければならない。

Q.216(022-05)

すべてのザカートをあらゆる橋や道路の修繕に使い、受け取ることができる人たちに払おうとしなかった場合、そのような行為は法的にはどうなりますか。

A.216

本誌でいつも言及しているように、ザカートを受け取る権利があるのは八つの集団である。それ以外は権利がない。使徒ムハンマドの時代、イスラム社会から貧困をなくすため、ザカートはまず貧者に優先的に分配された。なぜなら、多くの人が貧していると、その生活はますます悪化し、多くの彼らの感情や心がアッラーに対する信仰から離れてしまうからである。ゆえに、人間を悲惨な生活から解放する目的を満たすために

ザカートを整備することが非常に重要だということを、現在の人々は認識している。

道路や橋はその中に含まれておらず、もし人が(個人的に)割り当てられたザカートの支払いを道路や橋に充てたなら、我々の見解からすればそれは違法である。また、国内にまだザカートを必要としている八つの集団が存在する中で、もしザカートの徴収者がザカートの支払いをそこに費やすとしたら、その人は報いを受けることになる。なぜなら、国内の八つの集団、とりわけ貧者や困窮者の権利を奪うことになるからである。

また、我々の見解では、インド系の人々のように国外にザカートを送ったり、自分たちの祖国にザカートを送金し、自分が生活の糧を得ている場所で起きている貧困を放置することは違法である。彼らは国内の人々の権利を奪うことになる。

Q.217(022-06)

1951年2月9、10、11、12日にカラチで開催された世界イスラム会議において、代表者らの間では何語が使われていたのでしょうか。

A.217

我々の知る限り、彼らはそれぞれ自分たちの言語を使用した。インドネシアの代表はインドネシア語で話をし、それをアラビア語に通訳した。その他の国の代表もまた同様である。長い討論においてシンガポールの代表により、より密にまとまるために媒介言語をアラビア語のみにすることが提案された。この提案は広く受け入れられたが、現在の状況ではそれぞれの言語を尊重することとし、いずれアラビア語が媒介言語になることを期して各国が体制を整える努力をすることとなった。将来アラビア語のみが媒介言語となることが期待されている。

イスラム世界の共通言語をアラビア語とするために、パキスタンが最初に対策を講じた。パキスタン国内でアラビア語の使用が支援され、当地における英語のように、第二言語として各学校でアラビア語の教育がされている。

Q.218(022-07)

あるイスラム教徒が血液の不足により重病に陥り、医師が病院に保管されている血液を輸血せざるを得ない状況になりました。その際、輸血される血液はイスラム教徒のものでしょうか、あるいは異教徒のものでしょうか。

うか。患者は、善行を積む際、清浄な状態で行ったと見なされますか。

A.218

イスラムの教えでは病人の命を救うために尽力すべきとされている。もし命が危険な状態にあったなら、死の危機から救う方法を模索しなければならない。方法が他にない場合は、一定の条件のもとで不運に見舞われた者たちの命を救うために禁じられた食品を食べることをコーランが許していることに照らし、ウラマーは(医学的に認可されれば)必要としている患者に輸血することを許可している。異教徒の血を輸血されたとしても不浄をもたらされるわけではなく、またその人物が行ういかなる善行に対しても禁止事項はない。なぜなら、善行は人の心と誠実さからくるものだからである。

Q.219 (022-08)

イスラム教徒の女性が、キリスト教徒のユーラシアン男性と一緒にいました。彼らは結婚をせず、改宗せずにそれぞれの信仰を守りました。その女性が死亡した場合、イスラム式に埋葬をすることは可能ですか。

A.219

可能である。

Q.220 (022-09)

これは最近起こった事例ですが、あるイスラム教徒の女性が改宗するために裁判所を訪れ、裁判所はシャリア法廷[イスラム法に基づく裁判所]に問い合わせをしました。シャリア法廷はその女性が改宗していなければこの件の取消しを行うことはないという回答でした。この場合、シャリア法廷などの宗教を監督する人々は法的にはどうなりますか。

A.220

シャリア法廷の回答は適正である。なぜなら、イスラムの信仰を放棄(棄教)するのはその人自身が決めることだからである。信仰は個人の気持ち次第である。もし自ら望んで背教したならば、それは自分の判断次第であり、他が強要することではない。イスラム教は、アッラーの偉大さと平和を信じ、人類への手引きとして神が啓示したコーランとハディースを信じるよう、論理的な根拠に基づく説明と判断を信者やその他の者に示すだけである。全能の神アッラー(至高なる讃えられるべきお方)の存在の証を示すため、目の前に広がる出来事を自分の目で見て、自分の耳で聞き、自

分の五感で感じて考えるよう神は命じている。また、使徒ムハンマドが信徒に示した言動の全ては、正常な理性で考え、受容できるものである。

ここで明らかなのは、信仰するかどうかは各個人次第であり、信仰心を持ち、宗教に対して責任を感じる人々は、信徒やその他の人々に対し合理的で受容できるような方法で説かなければならない。例えば、なぜ礼拝が命じられているのか。その英知と利点は何か。ドア・イフティータ[礼拝開始の祈りの言葉]を読誦することを命じられているが、その指針はコーランとハディースのどこにあり、それに対する説明は何なのか。また、それに盲目的に従ってもならない。例えば、あれこれ読むよう命じられ、中にはビドア[逸脱]などが見受けられるにもかかわらず、それに対する問答もなく、また質問もできないというような状況であってはならない。人が信仰を放棄することを望む時、それを禁じる権限はどこにもない。できることはただ、合理的な説明を元に、宗教の有益さと完璧さを教え諭すことである。

Q.221 (022-10)

ある人物が会社に入社した際、その会社の株をある一定量購入することが決められています。例えば、その事業の損益に関わらず、一株を1,000ドルで購入し、そこから毎月200ドルの「配当金」を得ることが決められていたといたら、法的にはどうなりますか。そのお金は利子と見なされますか。

A.221

商業上の投資が、もし損益に関係なく上記のような方法で利益を得られたならば、それは商売とは呼べず、明らかに利子である。

Q.222 (022-11)

女性がコーラン学習の修了を迎えるときに月経中であつた場合、修了させるにはどうしたらいいですか。

A.222

多くのウラマーは、以下2つのハディースを根拠とし、月経中の女性がコーランを読むことを禁じている。

一つ目は次の通りである。

「イブン・ウマルは伝えている。預言者(彼に神の祝福と平安あれ)はおっしゃった。『大汚の状態の者、そして月経中の女性はコーランを読んではいならない』」(アブー・ダウード、ティルミズィー、イブン・マージャによる伝承)

二つ目は次の通りである。

「ジャバルは伝えている。使徒(彼に神の祝福と平安あれ)はおっしゃった。『月経または産後の出血中にある女性がコーランの一部分を読んだ』」(カトニによる伝承)

しかし、これら2つのハディースは弱いとして、これを否定するハディース学者もいる。1つ目のハディースを否定する理由は、そのイスナード[ハディースの伝承経路]の中にイスマイル・ビン・アッバスという名があり、また2つ目のハディースのイスナードの中にはムハンマド・ビン・ファドヒルという、偽のハディースをでっち上げることで有名な人物の名が含まれているからである。

該当する説明が存在しないため、このウラマーたちは月経や産後の出血中の女性がコーランを読むことを違法とすることに対して否定的な意見を持つ。

■第23号 [Qalam 1952.6: 15-18]

Q.223 (023-01)

なぜ我々イスラム教徒は[ラマダン月の]27日の夜になるとランプの火を灯し、家の内外を明るくするのでしょうか。イスラム法で定められているのでしょうか。昔、使徒ムハンマドの時代に行われていたのでしょうか。

A.223

そのような行為が昔行われていたという記述はない。暗い夜道やモスク、家を明るくするために毎夜ランプに火を灯すことは不可欠だが、必要以上に行うことを浪費と言う。すなわち、それは金の無駄遣いであり、無駄な消費は罪である。イスラム法はそのような行為を命じていないし、使徒ムハンマドも同様である。27日の夜、あるいは通常21日から30日の夜にかけて行くべく命じられていることは、よりいっそうイバーダートに励むことである。

Q.224 (023-02)

例えばシンガポールでは、普通金曜の集団礼拝を最寄りのモスクで行い、その後ズフルの礼拝を行います。金曜礼拝が終わった後、ズフルの礼拝をせずそのまま帰宅した場合、その人物は法的にはどうなりますか。(同じような質問は他にも数多く寄せられている—編者)

A.224

この質問に関しては、既に『カラム』第12号の中で詳し

く回答した。金曜の集団礼拝の後に続けてズフルの礼拝を行うことは明らかにビドアであり、それを果たさなかったとしても、何も罪はない。

Q.225 (023-03)

夫婦の離婚(タラーク)はイスラム教で許されていますが、至高なるアッラーはそれを憎まれます。何が問題なのでしょうか。

A.225

アッラーが夫婦の離婚(タラーク)を認めているのは、我々人間の理解に合わせたからである。人間の性質に従って、婚姻(生活の共有) 関係を緩め、解消することが許可されているが、関係を絶つことは軽蔑される。なぜなら、我々の見解では、それは自覚と忍耐が足りていないゆえの行為だからである。とりわけ夫婦が大きな責任を負っている場合、すなわち子供がいる場合は、離婚は子供たちの生活と環境に影響を与える。ゆえに、家庭での平和な生活を築くためにはお互い主張しすぎず、許容し合い、相手を喜ばすことが望ましい。もし独身でいたら陥るかもしれない悪行を未然に防ぐためにも、結婚が奨励されるのである。

Q.226 (023-04)

近親者でないマレー人の男女が握手することは宗教的には合法ですか。

A.226

使徒ムハンマドは次のようにおっしゃった。

「私は女性とは握手しない」(マリールク、ティルミズィーとナサーイによる伝承)

アーイシャは伝えている。

「使徒(彼に神の祝福と平安あれ) は、彼にとって許されていない女性の手は一切触れたことがない」(ブハーリーとムスリムによる伝承)

許されていない女性と握手すること禁止するハディースは他にもいくつかある。使徒ムハンマドが女性を交えたアンサールの教友らと約束を交わす際、女性に対しては男性のように手を握ることなく、言葉で「忠誠の誓い」を表明した。

Q.227 (023-05)

マレー人指導者が率いる3政党、すなわちUMNO(統一マレー国民組織)、マラヤ独立党、PAS(全マラヤ・イスラム党)のうち、どこに入党したらいいと思いますか。

A.227

この質問に回答する前に、ここでまず説明しておきたいのは、三党のうち、組織と統制がきちんとしているのはUMNOだけだと思われることである。UMNOの党員はマレー人で構成されており、党則に則ってマレー人の権利を勝ち取るために常に戦っている。ゆえに、UMNOが三党のなかで最も有名だと思われる。残りの二つのうち、一つの党に関しては、その支持者の大半はマレー人ではない。その証拠に、その党の指導者がインドから帰国した時に行った公式演説の際、聴衆のほぼ100パーセントがインド人であったと伝えられる。このことからして、我が民族を代表する党からはほど遠いことが分かる。

一方、この質問が宗教という観点に基づいたものだとしたら、3党の宗教活動を見ると、彼らは宗教的実践から逸脱していると言える。その上、もし彼らのなかに(将来独立したときにイスラム法ではなく)他の法を採用する者がいたとしたら、彼らは異教、非道、そして大罪集団と見なされるだろう。コーラン「食卓」の章第41、45、47節や、その他数多くの節の中で、アッラーの下した律法以外は信仰してはならないことが示されている。

我々の指導者となる人物は、信仰心のある者の中から選ばなくてはならない。そうすれば、確実に勝利を得ることができるからだ。信心深い人物は、必ずアッラーの命令に従い、謙虚で、不信を抱くことはない。コーラン「食卓」の章第55節の中で次のような啓示がなされている。

「汝らの保護者は、神と預言者、そして礼拝に努め、喜捨を施し、ひれ伏し拝む信者たちのみである」²³⁾。

使徒ムハンマドはおっしゃった。「もし奴隷であっても、彼が啓典に従ってあなたたちを指導する限り、彼の言葉を聞き、彼に従いなさい」(アーマッド、ムスリムとティルミズィーの伝承によるハディース)

指導者に関して信徒に教示する節は数多くある。その内の一つは次の通りである。

「見よ、汝らは彼らを愛するが、彼らは汝らを愛してはいない。汝らは啓典の全てを信じている。彼らは汝らに会う時、『我々も信じている』と言う。しかし、彼ら仲間うちで語り合うときには、汝らに対して抱く敵意

23)「汝らの本当の伴侶はアッラーとその使徒と、それから正しい信仰を抱き、礼拝を欠かさず行い、定められた喜捨をこころよく出し、常に熱心に跪く(祈りを捧げる)人々を措いてほかにない」(井筒俊彦訳『コーラン』(上) 第5章「食卓」第60(55)節)。

の激しさに指先をかむ」(コーラン「イムラーン一家」の章第118節)²⁴⁾。

この他に、民族意識を基盤とした連帯を禁ずるハディースがいくつかある。そのひとつを挙げる。使徒ムハンマドはおっしゃった。「部族意識を煽り、またはそれを支持して無分別な集団の下で戦って殺された者は、ジャーヒリーヤの死に方をしたのである」(ムスリムの伝承による真正ハディース)

この他にも、その一族がアッラーの律法以外を法として定め、アッラーの教えを守るため以外に働くことをひどく嫌悪し、非難する文言が数多くある。以上の説明が、質問者にとってどの組織に入党するかを選ぶ手引きとなることを願う。我々はただ次のことを進言したい。すなわち、最善の勤めと努力とは、アッラーの教えを守るために働くことであり、それによってのみ成功が得られるということである。

Q.228 (023-06)

ある男性が近親ではない女性を見つめ、彼女のことを妄想していました。その後彼らは結婚しませんでした。彼らは続けて何度も見つめ合っていました。これは法的にはどうなりますか。

A.228

アッラーは次のような啓示をされている。

「男の信者に(女性から)目を伏せるように言ってやりなさい。女の信者にも(男性から)目を伏せるように言ってやりなさい」(コーラン「光り」の章第31節)²⁵⁾。

他にも、男女が見つめ合うことを禁じるハディースがいくつかある。その内の一つは次の通りである。

「ウムム・サラマは伝えている。私はアッラーの御使いと並んで座っておりました。そこにはマイムーナ・ Bint・ハリスもおりました。その時、イブン・ウムム・マクトゥームがやって来て、私たちはヒジャブ[頭髪を覆うベールの一種]を被るよう命じられました。そこで彼は私たちの家に入って来ましたが、その時御使いは次のようにおっしゃいました。『彼から目をそらしなさい。』そこで私たちは答えました。『はい。でも、彼は盲目でございましょう。私たちのことは見えないのではありませんか。』すると御使いはお答えになり

24)「これこれ、そこな者ども、汝らは彼らが好ましい、向うでは汝らのことなど好きでもないのに。汝らは勿論、聖典は全部信じておる。ところが彼らは、汝らに面と向えば『我々も信じている』、などと言うくせに、自分たちだけになると憤怒のあまり汝らに向って指を噛む」(井筒俊彦訳『コーラン』(上) 第3章「イムラーン一家」第115(119)節)。

25)注16参照。

ました。『そなたたち二人も盲目なのか。そなたたちには彼が見えるではないか。』

質問にあるような、男女が見つめ合うことを厳しく禁じるハディースは他にも数多くある。それゆえ、自ら観察すれば、激しい中傷をもたらす明らかな証拠を目にすることができる。上述のような交際はモラルの崩壊や災難な結果をもたらすことを、我々自身目にしている。

Q.229 (023-07)

昼も夜も、ずっと恋人のことが頭に浮んできます。色々好きな事をして十分に気を紛らわそうとしましたが、恋人のことをふと思い出し、より一層涙がこぼれます。恋人を忘れるにはどうしたらいいのでしょうか。

A.229

いつも思考や感情をそのことに集中させてしまうと、たいていは忘れられない記憶や思い出となる。よって、我々を苦しめる思考や感情から逃れるため、この感情をわれわれの思考から消し去り、何もなかったようにして、注意と集中力の全てを別の有益な活動に向けるとよい。もしそのような感情が強くわき起こったら、スナの礼拝を2回行い、我々の感情や思考の全てを悩ます災難から解放されるよう、アッラーに請うのが最善の策である。覚えておかななくてはならないのは、孤独になる、あるいは人付き合いを避けるということは一切してはならないということである。なぜなら、それによってますます想像にふける生活にはまってしまうからである。神の御心ならば、感情を消し去ることができるだろう。

Q.230 (023-08)

『カラム』第11号の21ページに掲載されている写真で、黒いソンコ[男性用の帽子]を被って写っているスワラト農業大臣(カトリック)の宗教は何ですか。

A.230

スワラト氏はスキマン内閣の農業大臣となり、現在はウィロボ内閣で公共事業大臣となった。その時の写真が『カラム』第22号に掲載されている。彼らはインドネシアのカトリック組織の代表であり、宗教は明らかにローマ・カトリック(キリスト教)である。

Q.231 (023-08)

ある人が義務の礼拝を行おうとモスクやスラウに入り、先に礼拝を行っている人の後ろに行き、その人物

の礼拝に追従しました。しかし、前の人物の礼拝がスナの礼拝[1日5回の定められた礼拝の他に行う礼拝]だったことが判明した場合、後から追従した人の礼拝は有効ですか。

A.231

無効である。途中から入って来た人が、礼拝中の人の後ろで礼拝を追従したい場合、右手で礼拝中の人の肩を叩き、追従することを示さなくてはならない。肩を叩かれた人がそれを拒む場合は右手を下げ、自分の礼拝を後ろで追従してはならないことを示す。

Q.232 (023-10)

断食のルーヤ[肉眼での新月の観測]とヒサーブ[数学・天文学的計算]について、どのような説明や論拠がありますか。

A.232

使徒ムハンマドはおっしゃった。「あなた方は新月を見るまでは断食をしてはならない。そして次の新月を見るまで断食を破ってはならない。だが天候が悪くそれがはっきりしない時はそれを算定せよ」(ブハーリーの伝承による真正ハディース)

一般的にはこの文言に従って、断食を開始する時は新月を目視し、断食明けの大祭を迎える日も同様に肉眼で月を観測する。もし天候が曇っていて目視できない場合は、計算をもとに算出する。

ヒサーブを許可する人々は、天候が悪い場合は朔日 を特定するために計算を用いてもよいとされている上記のハディースを根拠として示している。ヒサーブを許可する人々は、以下のハディースも挙げている。

使徒(「彼に神の祝福と平安あれ」)はおっしゃった。「我々信徒は文盲の民である。読み書きも計算もできない。ひと月は29日間の時もあれば30日間の時もある」(ブハーリーの伝承による真正ハディース)

この文言について、ヒサーブを用いる人たちは次のような判断をしている。それは、当時は現在とは違い、多くの信徒はまだ天文学的な計算をする能力がなく、それゆえ肉眼による観測を命じられた、ということである。現在においても目視による観測を強調するウラマーらがいる一方で、断食明けの時間を決定する際は、観測によって確認した太陽の落ちる時間に従っているわけではなく、計算に基づいた結果に従っている。また、彼らは次のようなハディースを挙げている。

「使徒ムハンマドはおっしゃった。あなた方は新月を見るまで、あるいは計算で算出するまでは断食を開始

してはならない。そして、次の新月を見るまで、あるいは計算で算出するまで断食を続けなければならない」(ナサーイの伝承によるハディース)

以上のように、断食月とハリラヤの日時をヒサーブにより決定することは禁止ではなく、それどころか許可されていることがわかる。

■第24号 [Qalam 1952.7: 17-20]

Q.233 (024-01)

女性が馬に乗るのと自転車に乗るのとでは、どういう違いがありますか。この二つの乗り物に乗ると、処女膜を傷つけることになりますか。

A.233

乗り物の種類の違いを除いて、馬と自転車との間に何か違いがあるわけではない。女性が馬や自転車に乗ったり、または走ったり飛び跳ねたりすることで処女を喪失する可能性があるかどうか、医師に尋ねてみた。医師から得た回答では、女性の処女膜は子宮の中にあるので、女性が馬や自転車に乗ったり、または走ったり飛び跳ねたりすることで処女膜を喪失することはないという。このため、子宮の中に何かの物を挿入しない限り処女膜が破られることはなく、そのようなことで起こることはない、というのが医師の見解である。以上の説明で、質問の内容に対し、適切な知識に基づいた的確な回答となったと信じる。

Q.234 (024-02)

ガチョウを飼育することは法的にはどうなりますか。ガチョウを飼う家には天使が近づかないのですか。

A.234

ガチョウを飼育することについての説明はどこにも見当たらない。家に天使が近づかないということについては、ガチョウは食すことが許されており、人が近づくとうるさく騒ぐ動物である。おそらくそれゆえに「天使」が家に近づきたがらないという言葉が生まれたのだろう。おそらく物見高くや他人の家を覗き見することが好きな人がそのような表現をしたのだろう。ガチョウは人が近づくのを見たり、匂いを嗅いだりすると大騒ぎするからだ。

Q.235 (024-03)

時計はとても便利な道具です。最初に時計を使い始めた人物の名前、民族と国名を教えてください。

A.235

1253年、ヘンリー三世が最初に大型の掛け時計を使い始めた。卓上時計は15世紀のドイツで製造された。しかし、この時計は携帯するには大き過ぎた。そこで、ニュルンベルクのピーター・ヘンラインという時計職人が小型の時計を作った。その後、1525年、プラハの街でヤコブ・チェックがその時計を改良した。1658年、ホープという人物がそれよりさらにいい時計を作った。こうして初期の時計が作られてからその後現在に至るまで、様々な人たちによって大きな改良が重ねられている。

Q.236 (024-04)

夫婦喧嘩の最中に妻が夫に離婚してくれとわめいていました。そして夫は「お前に一回離婚宣言を出す」と言いました。2、3日すると、彼らはまた仲睦まじくしていました。これは法的にはどうなりますか。

A.236

大部分のイスラム法学者たちの判断では、離婚宣言が冗談やふざけて出されたものだったとしても、その女性は離婚されたこととなる。その証拠として、以下のハディースが挙げられる。

「アブー・フライラは伝えている。神の御使いはおっしゃった。『冗談であろうと、本当に事実となる事柄が三つある。それは、婚姻、離婚宣言、そして復縁である』」(アーマッド、アブー・ダウード、イブン・マージャ、ティルミズイー、ダル・アル＝カトニ、ハキムの伝承によるハディース)

他にも、上記のハディースとおおよそ同じ内容のものが三つ存在する。これらはタブラニ、ハリス・ビン・ウサマとアブドゥル・ラザクの伝承によるものである。三つの意味や意図は上記のとおりである。しかし、これらのハディースは信憑性が低いとして一部の法学者らはこれを否定する。一番目のハディースを認めているのはイマーム・ハキムだけだが、ハディース学者によるとこのハディースは伝承経路の信憑性が低く、他の三つもまた同様であるという。

もし妻に対する離婚宣言が確実に心から意図して発したものであれば、その妻は離婚宣言が出されたと思わねばならない。しかし、もし怒りにまかせて言葉を吐いたのなら、一部のウラマーらの判断によると、妻に離婚宣言を出したことになる。なぜなら、確固とした決意をもって宣言してはじめて合法となるからである。アッラーは次のように啓示されている。

「もし離婚を決意するならば、まことにアッラーはよく聞き、よく知り給う」(コーラン「牝牛」の章第226節)²⁶⁾。

この節から明らかなように、アッラーが見給うのは、決意を持って出す離婚宣言であり、冗談やふざけて出したものではない。この判断を補強するハディースが他にもいくつかある。その内の一つは次の通りである。

「アーイシャは言った。怒りにまかせて出した離婚宣言は合法ではありません」(アーマッドやアブー・ダウードなどによる伝承)

以上の説明が満足のいくものになったことを願う。そして、我々が忠告したいことはただ、離婚宣言を容易に出したり、それを習慣化したりしてはならないということである。それが普通のこととなれば良からぬ事態を引き起こすだろう。

Q.237 (024-05)

夫婦が性交の前に、病院あるいは村落の呪術医から処方された避妊薬を飲んだ場合、法的にはどうなりますか。

A.237

子供はアッラーからの授かりものである。人間の力が及ぶことではない。百万長者が、あちこちから薬をもらって飲んでも子供ができず、他人の子供を養子にする例を我々はいくつか見てきた。したがって、子供という神からの贈り物を授かることに感謝せねばならず、もしその事実を信じない者がいるとすれば、それは大きな罪である。

しかし、いくつかの国々では子供の数を減らすことを奨励している。その理由は、子供の数が多いと、親が子供を完璧に教育する責任を全うすることができないからである。しかし、そこには別の隠された意図があると我々は考えている。当局の発行したパンフレットから読み取れるように、その主な目的は、将来彼らの面倒を見る国の負担を無くすためである。例えばシンガポールのような大都市においてはなおさらである。我々の理解からすれば、これは物質主義の思想に依存した考えであり、人間に対する神の力や意思を信

26)「しかし(四カ月経って)離婚にきめた場合には(決定的となる)。まことにアッラーはすべてを聞きあらゆることを知り給う」(井筒俊彦訳『コーラン』(上) 第2章「牝牛」第227節)。この節は、「女と縁を切ろうと誓った人は、四カ月の猶予期間を(置く必要がある)。もし(その期間中に)復縁する気になったら、(それも許される)。まことにアッラーは寛大でお情け深くおわします」という節に続くものである。

じていないことになる。

妊娠中絶を禁止する法に関してだが、我々が知る限り、種が既に女性の子宮に付着した後に、あるいは既に胎児として形ができた後に堕胎することは大罪である。毎回性交の前に薬を服用することは、健康にも害を及ぼす。例えば、一時間の間女性の子宮の中で効果が持続し、将来子供となるはずの種を殺す薬を飲むことに関しては、それを禁じる文言はない。しかし、我々の判断では、一切妊娠しないように卵管を縛る手術をしたり、薬を投与したりすることは厳しく禁じられている。パハン州クアラリピス保健局のハジ・ニック・マン氏もこの回答を参照されたい。

Q.238 (024-06)

リングギット貨幣には、「アッラーのご加護」とか「アッラーが長寿を」などと、アッラーの名が刻まれています。しかし、その通貨は外来民族が禁止された物を買うことに使ったり、トイレに持って入ったり、その他様々なことに使われています。これは法的にはどうなりますか。

A.238

この国は、非イスラム政府の統治下にある。造幣するのはその政府である。政府は各州のムフティの承認を得なくてはいけないため、この件をどのように扱うかについては、ムフティらがきちんと関心を払うことが一番である。一方、我々が知る限り、昔イスラムの統治時代に使われた通貨にも、アッラーの御名が刻まれていたことにも注意する必要がある。だが、実際それを我々自身の目で確認したわけではない。

これに関する法についてであるが、質問にあるようなよくない場所にアッラーの御名を持ち込むことはイスラム法上好ましくないことは確かである。この件に関して我々が説明できることはこれだけである。理由はこの回答の冒頭で述べた通りである。最善なのは、ムフティたちが然るべき声明を出すことである。

Q.239 (024-07)

マレー人は地位や職位が高くなると横柄になり、例えば自分の民族のことを気にかけなくなります。他の民族はそうでもないようですが、なぜマレー人はそうなるのでしょうか。

A.239

横柄になるかどうかはそれぞれの人物次第であり、またそれぞれの民族次第である。しかし、全ての人がそ

うだとは言えないだろう。なぜなら、彼らの中にも愛想が良く、謙虚な人は大勢いる。地位が高くなればなるほど、より謙虚になる。その理由はおそらく、彼らは「稲の知恵に従い、実るほどに頭を垂れなさい」という諺にあてはまっているからである。

また、人が横柄で頭が高くなるのは中身がないからである。実りのない稲穂は頭を垂れずにまっすぐ上を向き、風に吹かれるままに揺れるのと同じである。同時に信仰心が足りないからである。つまり、アッラーによって授けられた自分の財産、収入や地位に対し感謝の念がないからである。本来ならば、アッラーにひれ伏し、能力に応じて謙虚になるべきである。

Q.240 (024-08)

ザカートを支払う場所以外へ、例えばAさんがシンガポールからインドへザカートを送ることは許されますか。

A.240

送金することは可能であるが、ザカートの支払いをする場所が必要としている貧しい人々がいないことが条件である。しかし、最優先されるべき人々が多数存在する地域では、ザカートを他の所へ送金してはならない。なぜなら、ザカートは彼や地域の権利ではなく、その地域で受け取る資格があるとされる人々の権利だからである。

我々の見解では、ザカートを国外に送金することは、ザカートの支払いを可能にした自分の収入や利益を得た国に住む人々の権利を奪うことになる。

Q.241 (024-09)

なぜイスラム教徒の女性はウェイトレスになる人が多いのでしょうか。これは法的にはどうなりますか。

A.241

我々が知る限り、大半の女性は生計を立てるためにウェイトレスとして働いている。夫に去られ居場所も与えられないまま子供を育てている女性もいる。また自分の両親や親戚を扶養しなければならない女性もいる。さらに一部には、例えば夫に放っておかれるなどして傷心を抱える女性もいる。こうした女性がウェイトレスとして働くことは許される。なぜなら、知識がないゆえ、その職に就く以外に収入を得る方法がないからである。

もし自尊心と節操を守ることができるなら、生活のためにウェイトレスとして働くこと自体は仕方な

い。しかし一方で、ウェイトレスとなった彼女らの中には、尊厳を売り、一部の者は酒を飲むなど、イスラムで固く禁じられている行為に至る者もいる。

女性たちがこうした職に就きたいきさつを見ると、彼女らは救済が必要とされる人たちに含まれると言える。しかし、この国の宗教行政がザカート徴収に関してイスラムの教えの趣旨と目的を満たすような運営ができていないがゆえに、彼女らを低劣な状態から救い、過ちを悔い改めるような取り組みが実施されていないのである。仕事や教えを与えることで、宗教だけでなく社会一般からも咎められるような仕事から彼女たちを解放できるのである。

Q.242 (024-10)

アッラー（至高なる讃えられるべきお方）も一人、我らが指導者ムハンマドも一人、コーランもひとつしかないのに、なぜイスラム教は4つの学派に分かれ、法も異なるのでしょうか。

A.242

イスラムにおける四法学派は、単に四つの考え方に過ぎない。彼らの法はアッラーの啓典と使徒ムハンマドのスンナに依拠している。ただその意図に関してそれぞれの解釈に相違があるだけである。また、各学派のイマームらは、もし自分の考えや判断がアッラーの啓典や使徒ムハンマドのスンナに反するものだと思ったならその意見は捨て去り、従わなくてもよいと、追従者らに対し注意を促している。ここから分かるように、彼らはアッラーの書の意図から逸脱しているわけではない。

四法学派の間で意見の食い違いが生じたのは、イマームらの追従者たちが無知であり、盲目的にタクリード[信徒がウラマーの見解に従うこと。ウラマーらの権威を盲目的に受容することへの批判を込めて、しばしばタクリード・ブタ(ブタは「盲目」を意味するマレー語)という表現が用いられた]したからである。各イマームらの解釈を慎重に細かく調べると、そこにあるのは、一般的な節の意図に対する解釈の違いだけである。

■第25号 [Qalam 1952.8: 26-28]

Q.243 (025-01)

遺体を運ぶ時、大声でズィクルを行うことは許されますか。

A.243

遺体を運ぶ時に、ズィクル、アッラーへの賛辞やコーラン、預言者ムハンマドを讃える詩などを大声で、あるいはゆっくりと読誦することは預言者ムハンマドの時代に行われたことはなく、また教友らやタービウーン[教友らから直接教えを受けた第二世代のイスラム教徒]、4人のイマームらも行ったことはない。よって、そのような行為は悪しきビドアであり、我々すべてのイスラム教徒は避けなくてはならない。預言者ムハンマドが遺体を運ぶ時に守っていたのは、アッラーのご加護の元へ戻った死者のことを考え、静かに黙ってズィクルを念じ、自分もいずれその場所へ戻ることに自覚することである。

また、使徒ムハンマドのお言葉により命じられていることは次の通りである。

「ザイド・イブン・アルカムは伝えている。使徒ムハンマドはおっしゃった。最も高貴なお方アッラーは、以下三つの際に沈黙を守ることが好まれる。それは、コーランを読む時、戦場での危機的状況の時、そして遺体を運ぶ時である」(タブラニの伝承によるハディース)

もうひとつハディースを挙げる。

「アブー・フライハは伝えている。預言者は次の三つの状況の際に大声を出すことを嫌う。すなわち、遺体を運ぶ時、ズィクルの時、そして戦闘の時である」(アブー・ダウードの伝承による真正ハディース)。

さらにもうひとつ挙げる。

「イブン・ウマルは伝えている。声をあげて遺体を運ぶことを神の御使いは禁じたと聞いた」

以上の説明で、この作り事を根絶できることを願う。

Q.244 (025-02)

なぜ多くの人が共産主義を非難し、その思想と戦うのでしょうか。

A.244

我々イスラム教徒にとって、共産主義思想が物質主義のみにもとづくものであることは明らかである。個人の権利と能力を奪い、イスラムの教えに反するものである。

物質主義だけを規範とするということは、神の力の存在を否定することを意味する。なぜなら、彼らの考えでは「宗教の思想は単なる賛辞に過ぎない」からである。彼らの考えでは、この世で起こることは全て自然現象であり、そこに神の力は存在しない。しかし、彼

らは次のことを忘れている。例えば、もし一脚の椅子を見れば、我々はすぐにそれを作った人がいることが頭に浮かぶ。同じように、我々にも創造主が存在するのである。すなわち、至高なる讃えられるべきお方アッラーである。

また、共産主義のもとでの個人の権利についていえば、個人の権利は廃止される。彼らは産業の共有化の政策をとり、防衛とともに国の権利とする。共産主義がもたらした惨劇について、ここマラヤで出版された著作から見聞きできる。そこでは、彼らは自分たちの理想を実現するため殺害や流血という暴力的手段を行使する。それにより、彼らの地域を支配し、彼らの思想を植え付けるのだ。もし、他国でこのような行動をとったならば、今後彼ら自身が権力を手中に収めたら、彼らはさらになる暴挙に出て、さらに恐ろしいことになるだろう。

また、共産主義はイスラムの教えにも反する。イスラムの教えでは、アッラーが創造したこの世界において真面目に、熱心に繁栄を追求することを人々に奨励し、怠惰な人間を厳しく非難する。しかし、人が財を成した際はザカート・ハルタの支払いが義務づけられている。それはとりわけ貧者や困窮者に、そして一般には社会福祉のために分配される。他にも、同胞を助けるために寛大にサダカを与えることを奨励している。これにより、人類の状況や性質に応じて、自身の努力によって利益を得る自由が公平に与えられる。以上が、多くの人が共産主義思想を非難する理由である。

Q.245 (025-03)

友情を長続きさせるにはどのような方法がありますか。

A.245

友情を長続きさせる方法は、両者が多寡なく分け合うこと。相手にこびるのではなく、お互い助言し合うことである。意見の対立があった時は、自分の考えだけに従って相手に自分の意見を強要してはならない。もし友人の考えが適切で、また宗教の命令に反する行いをもたらしことがなければ、その考えを受け入れればよい。もし友人のためにその希望に従うと背信行為を行うことになるなら、関係を続けてはならない。なぜなら、災難をもたらしからだ。よく注意して友人を選びなさいという老人たちの格言があるが、もし善良な人と友人になれば、多かれ少なかれ自分も善良になれるし、もし盗人と友人になれば、多かれ少なかれ自分も盗人

になる。よって、親交を結ぶべき友人とは、よいことをもたらし、許容し合うことを知り、笑っている時でなく、苦しい時に来てくれる友人でなければならない。

Q.246 (025-04)

[キリスト教の]司祭あるいは[仏教の]僧侶などといった異教徒に、イスラム教が他の宗教より優れているとはどういうことかと聞かれたとします。コーランの節を参照して答えても、彼らに信じてもらえなかった場合、どのような方法をとったらいいでしょうか。

A.246

まず、一番いいのは彼ら異教徒と向き合う人が、彼らの言葉を理解できることである。彼らの言語が理解できれば、より議論がしやすくなる。次に、彼らにコーランの節の文言について説明するのではなく、まずはアダムの時代から遡り、神が創造した宗教の伝承をひとつひとつ説明する(経典の民である異教徒に聞かれた場合)。もしゾロアスター教徒に聞かれた場合は、合理的かつ丁寧に説明し、強要してはならない。ひとつひとつ合理的に説明した後、今度は神の律法がどのようにしてイスラムへと集約されたかを彼らに説明する。そうして初めて、イスラム法及び神の命令の一部をひとつひとつ説明するのである。それらは紛れもなく理にかなっており、正常な理性の持ち主ならば逆らうことができない。「宗教は聡明な人のためにある」という使徒ムハンマドの次の言葉を思い出すといい。

Q.247 (025-05)

健康な夫を持つ99歳の女性がいました。人間の常識と慣例からして、その女性が子供を生むことはありえますか。

A.247

ありえる。シティ・サラの例を見るといい。彼女は既に年老いて、子供をつくることをあきらめていたが、閉経したにもかかわらず神から子供を授かった。よって不可能なことはない。

Q.248 (025-06)

英語を勉強するのとアラビア語勉強するのとでは、どちらがより役立ちますか。

A.248

もし宗教に基づいた回答をするなら、より重要なのはアラビア語である。なぜなら、この言語を理解できれば、より広い宗教上の知識を深めることができるから

だ。とりわけ、非常に重要となるコーランの内容を勉強することができる。しかし、もし質問者が単に世俗に関して尋ねているとしたら、現在の状況にみると、今の時代、我々の生活にとって英語は非常に有用である。それゆえ、ウラマーであろうと庶民であろうと、両方の言語を理解することが不可欠である。それによって見識を広げることができ、また、一般的な議論、さらに宗教の知識について他の民族と意見を交換することができるのである。

Q.249 (025-07)

もともと月経がない女性が夫と離婚した場合、その女性がエッダを待たなかったら法的にはどうなりますか。

A.249

その女性はイッダを完遂するまでは再婚してはならない。エッダは、離婚の場合は3ヶ月、死別の場合は4ヶ月と10日である。

Q.250 (025-08)

なぜ村落の老人は、金曜の早朝に孫が家の掃除をすることを禁ずるのでしょうか。

A.250

それは一部の地域の老人たちが行っている慣習で、他の地域では行われていない。そのようなことは単に彼らがそう信じているだけである。彼らになぜかと尋ねると、タブーだからと言うが、実際にはイスラム教が掃除を禁じることはなく、それどころか自分自身や家などを清潔に保つよう命じている。